

在外事業に必要な経費

京都支部

1. 京都支部

海外事務所

1. ローマ日本文化会館
2. ケルン日本文化会館
3. パリ日本文化会館
4. ソウル日本文化センター
5. 北京日本文化センター
6. ジャカルタ日本文化センター
7. バンコク日本文化センター
8. クアラルンプール日本文化センター
9. ニューデリー日本文化センター
10. シドニー日本文化センター
11. トロント日本文化センター
12. サンパウロ日本文化センター
13. マニラ事務所
14. ニューヨーク事務所
15. ロサンゼルス事務所
16. メキシコ事務所
17. ロンドン事務所
18. ブダペスト事務所
19. カイロ事務所

京都支部

合計額 10,480,159円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
1	【公演】 国際交流の夕べー能と狂言の会	京都市	金剛能楽堂	財団法人 金剛能楽堂財団	07.11.06	海外からの留学生や外国人の方々を対象に日本の伝統文化にふれていただく機会を提供することを目的として毎年秋に開催している。1974年から開催、2007年度で第34回目。演目は、狂言/大蔵流 茂山 千五郎師「蝸牛」、能/金剛流 金剛 永謹 師「羽衣 盤渉」
2	【講演・シンポジウム】 国際交流基金（ジャパンファウンデーション）京都支部 2007年度 第1回 フェローセミナー	京都市	アーバネックス御池ビル東館2階会議室		07.06.15	京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第1回目は、Dinah ROMA-sIANTURI（ディナ・ローマ=シアントゥリ）氏（フィリピン/2006年度基金フェロー）による「郷愁の美学 日本を描いた現代の旅行記」をテーマにセミナーを実施。発表は英語（日本語逐次通訳あり）、入場無料、発表後質疑応答あり。
3	国際交流基金（ジャパンファウンデーション）京都支部 2007年度 第2回 フェローセミナー	京都市	財団法人 京都府国際センター	財団法人 京都府国際センター	07.07.20	京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第2回目は、陳端端（CHEN, Duan Duan）氏（中国/2006年度基金フェロー）による「言語の表現意識から相互理解の道—中日の待遇表現を中心に」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語（通訳なし）、入場無料、発表後質疑応答あり。

京都支部

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
4	国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第3回 フェローセミ ナー	京都市	京都国立近代 美術館	京都国立近代 美術館	07.09.15	京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第3回目は、Kiku Day (デイ・菊壺) 氏 (デンマーク/2006年度基金フェロー) による「尺八の国際的な広がりとその原点回帰の動き」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳なし)、入場無料、発表後質疑応答あり。
5	国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第4回 フェローセミ ナー	京都市	京都精華大学 交流センター	京都精華大学	07.11.29	京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第4回目は、Peter CAVE (ピーター・ケイブ) 氏 (英国/2007年度基金フェロー) による「日本の小・中学校教育をどう考えるか」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳はなし)、入場無料、発表後質疑応答あり。
6	国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第5回 フェローセミ ナー	京都市	京都国立近代 美術館	京都国立近代 美術館	07.12.08	京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第5回目は、Monika BINCSIK (モニカ・ビンチク) 氏 (ハンガリー/2006年度基金フェロー) による「日本漆器のヨーロッパでの受容：ヨーロッパのコレクターと日本の商人」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳なし)、入場無料、発表後質疑応答あり。
7	国際交流基金 (ジャパン ファウンデーション) 京都 支部 2007年 度 第6回 フェローセミ ナー	京都市	関西日仏学館 稲畑ホール	関西日仏学館	08.01.11	京都支部担当フェローの、本人の了承を得られた研究者及び博士課程の学生によるセミナーを開催。帰国前に、他の分野の研究者や市民などとの交流を目的として、滞日中に取得した知見に基づいた発表を依頼。第6回目は、Corinne ATLAN (コリーヌ・アトラン) 氏 (フランス/2007年度基金フェロー) による「日本現代文学はフランスでどう読まれているか」をテーマにセミナーを実施。発表は日本語 (通訳なし)、入場無料、発表後質疑応答あり。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
8	【映画】 外国語字幕付き日本映画上映会	大阪市	財団法人大阪国際交流センター	財団法人大阪国際交流センター	08.01.05～ 08.01.26	映画は、その国の文化風土を理解するうえで有効な手段であると考えられており、日本映画においても、日本人の生活様式や考え方とその変化が凝縮されていることから、外国人の日本文化理解のために役立つものである。日本の生活や文化を外国人に紹介する一助として2006年度から実施し、高い評価と継続開催を望む声が多く、2007年度も開催。今年度は、1/5『羅生門』、1/12『火の鳥2772愛のコスモゾーン』、1/19『細雪』、1/26『楢山節考』を上映。※1/19『細雪』の上映前には、参加者により一層作品への理解を深めてもらうため、文学評論家、文化プロデューサーの河内厚郎氏による作品解説レクチャーを実施。
9	【図書館運営】 国際交流情報コーナー（図書室を含む）運営	京都市	京都支部		07.04.01～ 08.03.31	外国語による日本研究書ならびに基金刊行物を中心に収集、提供。所蔵資料数は、図書資料約6,700、購読雑誌48、日本文化紹介等16ミリ映画フィルム115、日本文化紹介ビデオ110。利用者は関西地区在住の外国人日本研究者、芸術家など。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
10	【後援事業】 国際交流企画 Meet in Kyoto	財団法人 大学コンソーシアム京都	07.06.29	財団法人 大学コンソーシアム京都への後援名義付与事業 京都で研究活動をしている留学生、研究者の相互交流及び京都の大学関係者、国際交流団体との交流をはかることにより、相互のネットワークづくりを行う。
11	2007 京都国際文化協会エッセーコンテスト<<私の見た日本>>	財団法人 京都国際文化協会	07.09.23	財団法人京都国際文化協会への後援名義付与事業 海外から日本を訪れた人々を対象に、1978年から毎年エッセーコンテストを開催。応募作品を日本語、英語の部に分けて選考、京都支部長も選考委員の一員。優秀作品はその全文と要約を財団法人京都国際文化協会のニューズレター及びホームページで公開し、今の日本がどう見られているかを多くの日本人、外国人に知らせることを目的に実施。

京都支部

	事業名	助成団体	期間	事業内容
12	第59回毎日書道展関西展英語作品解説会	財団法人 毎日書道会関西支部	07.08.04	財団法人毎日書道会関西支部への後援名義付与事業 書の国際化の流れを受け、2007年8月1日～8月5日開催の第59回毎日書道展関西展に於て、外国人を対象とする英語による作品解説を実施。日本の伝統文化である書に関心を持つ外国人は少なくない。京都を中心に、関西に住む外国人留学生、研究者らに、書の意義と歴史などを紹介する。
13	京都市国際交流会館2007年度「外国人のための日本語弁論大会」	京都市 総務局 国際化推進室	07.11.25	京都市総務局国際化推進室への後援名義付与事業 世界文化自由都市宣言を行った京都市が、その理想実現のための具体的施策として、1987年以来毎年開催し、今回で20回目。 「日本での経験を生かすため」をテーマに相互理解と国際親善の更なる促進を目的に開催。入場無料。参加者約200名。
14	国際文化フォーラム	財団法人 京都府国際センター	08.01.26	財団法人京都府国際センターへの後援名義付与事業 京都府南部地域の国際化を一層進めるため、財団法人京都府国際センターと京田辺市とが共催で、作家の林望氏による講演会及び講演会終了後に中村順一国立京都国際会館館長との対談を実施。
15	第5回 書と非書の間	特定非営利活動法人 京都藝際交流協会	08.01.15～ 08.01.25	特定法人京都藝際交流協会への後援名義付与事業 「書と絵画の違い」を探る企画展覧会の第5弾。故 中村二柄先生の呼びかけで始まった本展覧会は、墨から生まれる造形の面白さから、文学芸術、絵画的表現へとひろがり、様々な反響が寄せられている。既成概念に捕らわれず、再度『書く（描く）こと』を展覧会形式で検証。会期中作家によるワークショップを実施。
16	きょうと北部21世紀セミナー	財団法人 京都府国際センター	08.03.08	財団法人京都府国際センターへの後援名義付与事業 京都府北部地域の国際化の促進と国際社会を担う人材の育成を図ることを目的にセミナーを開催。地球温暖化対策をテーマに取り上げ、外務省地球環境問題担当大使の小町恭士氏による講演のあと、京都大学大学院地球環境学堂教授の上田和弘氏との対談を須藤真志京都産業大学教授のコーディネートにより実施。

ローマ日本文化会館

合計額 126,170,515円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	天正・慶長遣欧使節とその時代展	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.02.19～ 07.04.20	イエズス会宣教師A・ヴァリニャーノや天正・慶長の遣欧使節団等を通じた日伊の交流をイタリア各地の美術館が所蔵する絵画や漆器・漆家具、古文書などによって紹介する展覧会
2	巡回展日本のクレイワーク	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.05.23～ 07.07.06	日本のみならず世界でも活躍するアーティストによる、ここ30年ほどの日本のクレイワーク作品約40点を紹介する展覧会
3	岡部昌生 展	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館	ローマ大学現代美術ラボラトリー美術館	07.09.08～ 07.10.20	『私たちの過去に、未来はあるのか。』と題し、広島、パリ、ヴェネチアそしてローマのディテールをフロッタージュの技法を使ってよみがえらせる第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展 日本館出展作家岡部昌生の展覧会 コミッショナー港千尋（多摩美術大学教授）らを迎えたシンポジウムも開催
4	巡回展パラレル・ニッポン 現代日本建築展	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.11.07～ 08.01.07	バブル期からポストバブル期にかけてに竣工した日本の建築をその社会文化状況とあわせて写真と模型で紹介する展覧会 同展企画者三宅理一（慶応義塾大学教授）による講演会も開催
5	木版リトグラフ展	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館	フォルメッコ市版画・グラフィックセンター ローマ市美術アカデミー	08.02.02～ 08.03.17	小作青史（多摩美術大学名誉教授）を中心とする25名の作家による、木を使ったリトグラフ作品の展覧会 関連ワークショップをローマ市美術アカデミー、フォルメッコ市版画・グラフィックセンターで開催
	【公演】					
6	室内楽コンサート	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.04.20	岩崎勇（オーボエ、京都市立芸術大学名誉教授）、ミケーレ・インチェンツォ（クラリネット、元サンタ・チェチリア音楽院教授）、喜田ルーフォ容子（ピアノ）によるコンサート
7	ヒダじんぼ パーカッションコンサート	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.05.14	日本を代表するパーカッショニスト、ヒダノ修一（太鼓）、神保彰（ドラムス）によるユニット「ヒダじんぼ」のコンサート

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
8	ジャズ・フロム・ジャパン 2007 クリヤマコト	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.05.28～ 07.05.29	ピアニスト・クリヤマコトの演奏会 初日は、クリヤマコトが音楽ディレクターを務めたアニメーション「NITABOH」を上映、クリヤマコトによるピアノ演奏を実施 二日目は、クリヤマコト、ジャンルカ・レンツイ（ベース）、ニコラ・アンジェルッチ（ドラムス）によるジャズコンサートを実施
9	日唄伊現代音楽コンサート	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館	オーストリア文化会館	07.06.14	杉山洋一（指揮）、イカルス・アンサンブルによる、シェーンベルク、近藤譲、ルカ・ロンバルディの曲のコンサート ロンバルディ氏による曲の紹介と自身の日本体験についてのスピーチを実施
10	JAZZ の探求	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.10.19	アレッサンドロ・カルボナーレ（クラリネット）、黒田亜樹（ピアノ）、ピエールカルロ・サルビア（サクソフォン・クラリネット・ピアノ）によるコンサート ストラビンスキー、ブラームスの作品のジャズ編曲版などを演奏
11	自然の声 邦楽コンサート	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.11.19	田嶋直士（尺八）、田嶋謙一（尺八）、平田紀子（箏）、菊央雄司（三絃）による邦楽コンサート
12	伝統とテクノロジーの狭間 トランペットコンサート	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		08.01.30	曾我部清典（トランペット）、阿部加奈子（ピアノ）によるトランペットの名曲やポップス、コンピュータグラフィックと合わせた実験的な曲のコンサート
13	愛の詩歌と空の歌声 カウンターテナーコンサート	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		08.03.17	彌勒忠史（カウンターテナー）によるイタリア古典歌曲コンサートを開催。 伴奏は、シルビア・ランバルディ（チェンバロ）
14	アルバニア国立放送交響楽団公演	ティラナ	芸術アカデミーホール		07.05.18	アルバニア国立放送交響楽団演奏会に柳澤寿男（指揮者）、塩田純子（ピアノ）が客演するにあたり協力
	【講演・シンポジウム】					
15	フォスコ・マラーニ『日本』イタリア語版 出版記念会	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.04.23	フォスコ・マラーニの著作『日本』のイタリア語版の出版を記念しての講演会 講演者は、ジャン・カルロ・カルツァ（ヴェネチア大学カ・フォスカリ教授）、ジョルジョ・アミトラノ（ナポリ大学オリエンターレ教授）、フランコ・マルコアルディ（評論家）

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
16	欧州日本研究 図書館会議	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.09.21～ 07.09.24	ヨーロッパにある日本研究資料を所蔵 する図書館の関係者が一堂に会し、研 究発表を行なう会議を開催
17	「日本のテキ スタイル文 化」講演会	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.09.24～ 07.09.29	シルクロードをたどりつつ、日本で発 展した染織文化を紹介する『シルク ロードプロジェクト』の記念事業とし て、「日本のテキスタイル文化」と題す るわたなべひろこ（多摩美術大学名誉 教授）の講演会を開催 あわせて 「Fiber As Art」 ミニアチュール展と 風呂敷ワークショップを実施
18	朝倉 摂 講演 会	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.10.12	日本を代表する舞台美術家である朝倉 摂による講演会を開催。これまで携 わってきた舞台の映像を紹介しなが ら、自身の舞台美術制作に関する講演 を実施
19	「J-DANCE SPECIAL：日本 のコンテンポ ラリーダンス —その背景 と現在」講演 会	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館	ローマ・ヨー ロッパ・フェ スティバル財 団	07.12.03	日本のコンテンポラリーダンス公演 「J-DANCE SPECIAL」がローマ・ヨー ロッパ・フェスティバルにおいて開催 されるのに際して、國吉和子（舞踏評 論家）による日本のコンテンポラリー ダンスの歴史をたどる講演会を実施
20	「21世紀の日 本のアニメー ション」講演 会	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館	在イタリア大 使館	07.12.14	櫻井孝昌（デジタルハリウッド大学・ 大学院教授）による日本のアニメー ションに関する講演会。日本のアニ メーションの特徴やアニメーション産 業の現状について解説
21	「北野武 ひ とつの神話の 歴史 ひとつ の歴史の神 話」シンポジ ウム	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館	ミネルバ・ラ ロビデオ出版 グループ	08.02.12	ローマ日本文化会館日本映画特集「エ キセントリック・ヴィジョン」関連事 業として、映画監督北野武をテーマに したシンポジウムを開催 S・クル ティ（ミネルバ・ラロビデオ出版グ ループ）、E・ゲッツィ（映画評論家）、 D・フマロラ（イタリア国営放送RAI）、 C・ヒンターマン（映画評論家）、D・ ヴィッラ（映画評論家）が参加
22	『小津の反映 画』シンポジ ウム	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館	ミネルバ・ラ ロビデオ出版 グループ	08.03.11	ローマ日本文化会館日本映画特集「エ キセントリック・ヴィジョン」関連事 業として、吉田喜重著『小津の反映画』 イタリア語版の出版を記念し、小津安 二郎に関するシンポジウムを開催。吉 田喜重（映画監督）、岡田茉莉子（女 優）、E・ゲッツィ（映画評論家）、土肥 秀行（東京大学助手）が参加

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
23	草月流 創流 80周年記念イ ベント	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館	Sogetsu Italia	07.05.09～ 07.05.11	草月流の創流80周年を記念して、リー ナ・アリチノ（ローマ草月流支部）ら によるいけばなデモンストレーション を実施 あわせて作品の展示も実施
	【映画】					
24	石井 聰互監 督特集	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.04.01～ 07.04.26	前年度開始事業 石井聰互作品「狂い 咲きサンダーロード」、「ELECTRIC DRAGON 80000V」、「逆噴射家族」、 「水の中の八月」、「五条霊戦記」、 「DEAD END RUN」の5作品を上映
25	成瀬 巳喜男 監督特集	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.10.02～ 08.01.29	成瀬巳喜男監督の作品の映画上映会を 開催。2003年に行なった成瀬巳喜男監 督回顧上映会に続き、前回紹介できな かった作品を含め、「めし」「山の音」 など30本の作品を上映
26	「エキセント リック ビ ジョン」日本 映画上映会	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館	ミネルバラ ロビデオ 出 版グループ	08.02.12～ 08.04.08	ラロビデオ社の協力により同社の DVDと国際交流基金本部およびロー マ・フィルムライブラリー所蔵プリン トを用いた日本映画上映会を実施。北 野武、吉田喜重、小津安二郎等の11作 品を上映
	【日本語教育】					
27	日本語普及講 座運営	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.04.01～ 08.03.31	2007年6月まで前年度開講の4年制コー スと入門48時間コース、入門24時間 コースを開講 10月からは4年制コー ス、入門24時間コース、入門48時間コー スを改編した夜間コースを開講。ま た、上級者向け4コースも開講
28	日本語講座拡 充	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.04.01～ 08.01.31	日本語講座の拡充に必要な教室の整備 を実施
29	欧州日本語教 師研修	コルマール	アルザス日本 学研究所	アルザス日本 学研究所	07.06.01～ 07.08.31	フランスのアルザス日本学研究所にお いて行なわれた欧州の日本語教師に対 する研修会。5名の日本語教師を派遣
30	ロンバルディ ア州高等学校 日本語教育セ ミナー	ミラノ	ロンバルディ ア州教育庁		07.04.01～ 08.03.31	ロンバルディア州で実施されている高 校における日本語教育を支援するた め、教師向けセミナーを実施
31	日本語会話会	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文 化会館		07.04.01～ 08.03.31	ローマ日本文化会館日本語講座の受講 生とローマ在住の日本人が日本語会話 の練習を行なう会を月に1度開催

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【図書館運営】					
32	図書館運営	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.04.01～ 08.03.31	イタリアの日本研究図書館およびインフォメーション・センターとしての役割を担う 日本文学、演劇、社会科学、歴史などの分野を中心とした、大学講座関係の洋書の収集に重点を置き、一般和書については、近年、最新の日本文学の潮流や社会事情を知ることのできる書籍の充実も目指す インフォメーション・センターとしては、辞書・事典・辞典・人名録・各種年鑑や団体便覧等の参考資料の収集と同時に、有料データベースやCD-ROM、インターネットなどの検索ツールの積極的な活用を目指す 蔵書数は日本語19,492冊、外国語12,993冊、視聴覚資料1,735冊、登録会員数5,831名、来館者数236名
	【出版・広報】					
33	ホームページ 運営管理	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.04.01～ 08.03.31	会館案内ホームページの運営管理
34	月例事業案内	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.04.01～ 08.03.31	会館事業を紹介するプログラム（事業案内）を年4回、各回3000部を発行
35	年報	ローマ	国際交流基金 ローマ日本文化会館		07.11.01～ 08.03.31	平成17年度、平成18年度の会館事業を総括する年報を作成
	【本部事業受入】					
36	ヴェネチア・ ビエンナーレ	ヴェネツィア	ヴェチアピエンナーレ日本館		07.06.10～ 07.11.21	第52回ヴェネチア・ビエンナーレ美術展において、『私たちの過去に、未来はあるのか。』と題し、岡部昌生の作品を展示 コミッショナーは、港千尋（多摩美術大学教授）
37	茂山狂言公演	ボローニャ ローマ	ボローニャ・ ヴィータ劇場 ローマ オー ディトリウム	シンバレイ ン文化協会	07.04.11～ 07.04.15	茂山千之丞ほか茂山家による狂言公演を開催 演目は『棒縛り』『濯ぎ川』
38	BATIK公演	ローマ	パラディウム 劇場		07.06.19	コンテンポラリー・ダンスグループBATIKの公演を開催 演目は、『SHOKU』

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
39	「日本月間」Is IAOエミリアロマーニヤ支部助成	Is IAOエミリアロマーニヤ支部	07.06.29～ 07.06.30	Is IAOエミリアロマーニヤ支部実施の日本紹介事業に対して助成
40	「TRAMEDAUTORE 演劇祭」助成	TRAMEDAUTORE 演劇祭	07.09.13～ 07.09.23	TRAMEDAUTORE演劇祭の日本特集に助成
41	「COMICON マンガ・アニメ国際展」助成	COMICON マンガ・アニメ国際展	07.04.27～ 07.04.29	COMICON マンガ・アニメ国際展において、日本の漫画家を招へいするにあたり助成
	【会場提供】			
42	俳句賞授賞式	イタリア俳句友の会 / 裏千家ローマ出張所	07.05.15	イタリア俳句友の会及び裏千家ローマ出張所による第20回俳句賞授賞式に協力

ケルン日本文化会館

合計額 141,813,041円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	新世代アーティスト展	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.03.09～ 07.05.18	本部巡回展。1990年以降大きな注目を集めた11名の現代美術作家による展覧会。本部巡回展。
2	対話展 佐藤・Schellhorn	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.06.15～ 07.07.31	日独の若手作家、佐藤、Schellhornによる2人展。人間と自然、都会をテーマにした写真作品を紹介。
3	日本の現代写真展	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.09.07～ 07.11.16	1970年代以降の現代写真を、人物像と風景というふたつの枠組みから紹介する。23名の写真家の作品により時代の息吹と日本社会の変容が浮かび上がる。本部巡回展。
4	対話展 鈴木・Schniotalla	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館	altropol	07.11.30～ 08.01.11	日独の若手作家、鈴木、Schniotallaによる2人展。ともに1976年生まれで「空間」を重要なコンセプトとした作品を紹介する。
5	ケルン美術館の長い夜	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館	ケルン市	07.11.03～ 07.11.04	9月7日から開催中の「日本の現代写真1970年代から今日まで－同時代へのまなざし」展の他に合気道と剣道のデモンストレーション、柔道に関する映画の上映等を実施。
6	パラレルニッポン展	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		08.01.23～ 08.03.31	本部巡回展。90年代から2000年代初期までの日本の現代建築を日本社会の変貌と建築との関係という観点から取り上げる。関連企画として、出品建築家の一人藤本壮介の講演会を開催。
	【公演】					
7	ケルン音楽トリエンナーレ	ケルン	Kulturbunker Muelheim	Kulturbunker Muelheim	07.04.28～ 07.05.18	ケルンで行われる音楽祭に、日本から灰野敬二が参加。
8	ヒダじんぼ ドラム・デュオ公演	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.05.16	日本を代表するパーカッションニスト、ヒダノ修一、神保章が和太鼓とドラムの新しいパーカッションスタイルを披露。
9	上々颱風	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.06.01	日本の人気ポップ・グループ上々颱風欧州ツアー。デュッセルドルフ日本デーにも参加。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
10	ホイテング・グレーマーフルート・打楽器コンサート	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.06.26	ケルン在住のフルート奏者カミラ・ホイテングを中心としたアンサンブルのコンサート。日本の現代音楽作曲家らによる新作を上演。
11	ReflexionK	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会	07.07.20	Reflexion Kが音楽（聴覚）、カリグラフィ（視覚）を媒体として一つの作品の生成過程を紹介。また、アンサンブルの主宰者ペーター・ガーンによるワークショップも実施された。
12	津軽三味線コンサート	ケルン、ミュンヘン、ベルリン	国際交流基金ケルン日本文化会館、Akademie der Wissenschaften、Kuenstlerhaus am Leimbach Platz	ブラザー、ミュンヘン総領事館	07.10.15～07.10.21	津軽三味線演奏の若手第一人者が南部地方の伝統曲を演奏。
13	グループ「日本の音」コンサート	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.11.16	尺八と箏のアンサンブルによる現代邦楽公演。
14	燐光群公演「屋根裏」	フランクフルト	ガルス劇場	ガルス劇場	08.02.15～08.02.16	坂手洋二率いる燐光群の「屋根裏」のドイツ公演。
15	日本の春コンサート	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館	ケルン現代音楽協会	08.03.18	アーヘン現代音楽アンサンブルによる日本の現代音楽の室内楽曲の紹介。
【講演・シンポジウム】						
16	辻仁成講演会	ケルン ベルリン ミュンヘン	国際交流基金ケルン日本文化会館 森鷗外記念館 ミュンヘン文学の家	文学の家（ケルン+ミュンヘン）、ミュンヘン大学、森鷗外記念館、ミュンヘン・ピーパー出版社、在独日本国大使館、ミュンヘン日本国総領事館、JTI	07.05.07～07.05.09	日本現代文学紹介の一環として、辻仁成著「太陽待ち」の翻訳が昨年出版されたのを機に辻仁成を招き講演会を実施。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
17	金井勝監督講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館	オーバーハウゼン国際短編映画祭	07.05.10	シュールレアリスムの映像詩人といわれる金井監督の作品を上映するとともに、同監督の講演会を開催。
18	日本建築についての講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.06.29	アーヘン大学シュパイデル教授による講演会。20世紀ドイツの建築に、日本建築がどのような影響を与えたかを紹介。
19	戦後日本政治に関する講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.09.18	箕原俊洋神戸大学教授が日米関係の歴史、イラク戦争や9.11同時多発テロ事件の日米外交関係にもたらした影響、今後の日米外交関係の展望等につき講演。
20	ダムタイプ高谷史郎講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.11.30	ダムタイプのリーダーである高谷史郎がダムタイプ及び自作を紹介しつつ、日本のデジタルアートについて講演。
21	漆とライフスタイルの変遷講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.11.09	ケルン東アジア美術館日本部長正野スラーデクによる日本の漆工芸についての講演会。
22	日本文学講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.11.30	ベルリン自由大学日本研究学科長日地谷キルシュネライトの朗読により代表的な日本文学を紹介。
23	パンツァー講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館	ケルン日独協会	08.01.25	日本近代史研究者ペーター・パンツァーがプロイセン王国公使として来日したカール・フォン・アイゼンデッヒャーの足跡と生涯を辿る。
24	クリストフ講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		08.02.08	デュッセルドルフのK21のキュレーターのクリストフが文化人として日本に招へいされたことを機会に視察した日本の現代美術、建築を紹介。
25	藤本壮介講演会	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		08.03.07	若手建築家の藤本壮介が建築を設計する上の哲学及び最新作を含む自作を語る。
	【映画】					
26	新着映画特集	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.03.01～07.04.30	平成18年度に新規ケルンFLに購送された作品の紹介
27	北野武監督特集	ケルン	国際交流基金ケルン日本文化会館		07.05.03～07.07.30	北野武監督の作品特集

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
28	森山大道特集	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館	SK財団	07.09.10～ 07.10.29	SK財団にて個展を開催中の森山大道が選定する映像上映会。自らに影響を与えた作品、自身のドキュメンタリー作品などの映画作品を上映。SK財団森山大道展関連企画。
29	アニメーション特集	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.11.05～ 07.12.20	戦後すぐから現代に至るまでの芸術的なアニメーション映画の特集
30	新着映画特集	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		08.01.07～ 08.02.29	平成19年度に新規ケルンFLに購送された作品の紹介
31	五所平之助特集	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		08.02.01～ 08.06.30	五所平之助監督24作品の特集
32	ベルリン図書館シンポジウム	ベルリン	ベルリン日独センター	ベルリン日独センター	08.02.22	アジア関連の文献を有している図書館の司書等関係者の参加で、レファレンスの向上を重点に据えたシンポジウム・討論を実施。
【日本語教育】						
33	日本語通訳セミナー	ケルン	マインツ大学	マインツ大学、ベルリン日独センター	07.08.13～ 07.08.24	マインツ大学応用言語学・文化学部の主催、当館、ベルリン日独センターの共催。企画開発型助成の枠組みで同大学における日独通訳者養成夏期集中セミナーを実施した。
34	ヨーロッパ日本語教育研修会				07.09.05～ 07.09.08	ロンドンで行われたヨーロッパ日本語教師会に参加。
35	日本語講座	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館			初級～上級まで9レベル11クラス（半期制）を開講。2007年度は延べ311人が受講した。
36	ベルリン日本語教師研修会	ベルリン	ベルリン日独センター	ベルリン日独センター	08.02.01～ 08.02.02	日本語教師のネットワーク化が必要とされている旧東独地域の日本語教師を対象に、学習者層ごとの教授法に関するアドバイス、最新の日本語教材とその活用法等を紹介。
37	Expedition Colonia 日本語入門講座	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館	ケルン市	08.03.28	ケルン市主催の大型文化事業への参加。挨拶、自己紹介等簡単な日本語表現に触れるとともに、和紙による箸置き作成など、日本の生活文化も体験。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【図書館運営】					
38	図書館運営	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.04.01～ 08.03.31	図書の貸出、参考調査（521件）。収蔵資料数：書籍20,525冊、雑誌246タイトル、視聴覚資料7,292点。入館者数：3,270名。貸出図書冊数：3,231冊、貸出視聴覚資料：1,022点。新規貸出登録者：214名
	【出版・広報】					
39	会館催し物案内発行	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.04.01～ 08.03.31	会館の催し物、日本語講座、図書館、助成・協力事業について、事業案内パンフレットを隔月毎に年5回発行（毎回8,000部）。
40	日独翻訳賞調査	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.04.01～ 08.03.31	日独翻訳賞選考のため、近年ドイツ語圏において翻訳・出版された日本語の書籍について調査。
	【本部事業受入】					
41	茂山千之丞狂言公演	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館		07.04.03	茂山グループ狂言の欧州公演の一環。新作「濯ぎ川（すすぎがわ）」と古典の名作「棒縛（ぼうしばり）」を上演。
42	横浜トリエンナーレ					ドイツで開催されたトリエンナーレ会議に対する協力
43	情報収集プロジェクト	ケルン	国際交流基金 ケルン日本文化会館			ドイツにおける文化情報関連収集（本部事業）
44	日本語能力試験					本部事業

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成・協力事業】			
45	現地文化事業参加 5-7-5展	Hamburg Kusthaus	07.05.06～ 07.05.20	ハンブルクのクンストハレで日本若手作家の展覧会
46	現地文化事業参加 Ohayo Japan演劇祭	Ohayo Japan	07.06.11～ 07.06.21	ライブツッヒで開催される日本のパフォーマンスを紹介する演劇祭。
47	現地文化事業参加 T.A. Art Projects	Cultural Forum for Photography Berlin	07.09.10～ 07.09.23	折本立身による展覧会とパフォーマンス

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
48	現地文化事業参加 北島敬三写真ワーク ショップ	Ostkreuzschule fuer Fotografie und Gestaltung	07.10.12	写真家北島敬三によるワークショップ
49	現地文化事業参加 Ernst Barlach展	Ernst Barlach Haus	07.09.02～ 07.11.28	バルラッハと日本人写真家の写真展
50	現地文化事業参加 8コンテナ展	Kunst im Hafen e.V.	07.08.24～ 07.09.02	デュッセルドルフ在住の若手作家8名によるコンテナ を展示スペースとして利用した展覧会
51	現地文化事業参加 go4school	go4School e.V.	06.09.22～ 06.09.24	2006年実施事業。キャラクターデザイン等に関する国際 会議。
52	現地文化事業参加 e-mex neue musik ensemble	e-max neue musik ensemble	07.03.26～ 07.03.27	2006年度事業。現代音楽のコンサート
53	宇高会	文化庁、JTI、 トヨタ、 Staatsschauspiel Dresden, RBB Kulturradio, ベル リン日独協会、		協力事業。宇高会のドイツにおける公演につき、実施受 入機関との調整、ツアーのアテンドおよび公演時の解説 を行った。
54	Tage der Neuen Musik 2007 "Zipangu"	ヴェルツブルク音楽 大学、シーボルト博 物館	07.05.06～ 07.05.11	20年来続いている現代音楽フェスティバル。日本の伝統 音楽と 現代音楽のコンサート（吉村七重ほか）とワークショッ プ、 ディスカッションなど。
	【会場提供】			
55	ケルン音楽の夜	ケルン市	07.09.15	ケルン市内の20を越える会場で催される「ケルン音楽の 夜2007」に参加。
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
56	フィルムライブラ リー		07.04.01～ 08.03.31	ケルン日本文化会館が所蔵する劇映画（167作品）および 文化映画（117作品）を、ドイツ語圏の大学や博物館等外 部機関における非営利上映のために提供した。外部施設 での上映回数は109回、のべ109本。
57	所蔵展覧会貸出		07.04.01～ 08.03.31	ケルン日本文化会館が所有する展覧会セット（日本人形 展、「大和路」展、世界遺産展等6セット）の貸出し。貸 出し先は、エッセン大学1件。
58	Buddhistische Skulpturen aus Yamato	Eko Haus	07.10.21	ローマ文化会館所蔵の『大和の仏像』展をデュッセルド ルフに巡回展示。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
59	Pracht und Askese, Buddhismus in Japan	Museum Villa Rot	07.08.05	ローマ文化会館所蔵の『大和の仏像』展を巡回展示。

パリ日本文化会館

合計額 613,311,283円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	棟方志功展	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール	大原美術館	07.03.07～ 07.04.07	大原美術館コレクションによる棟方志功の版画、屏風、襖絵、水彩等の肉筆画を含む多彩な作品を紹介。
2	アジアのキュビズム展	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール	東京国立近代美術館、韓国国立現代美術館、シンガポール美術館	07.05.16～ 07.07.07	パリで20世紀初頭に始まったキュビズムをテーマに、日本を始め、中国、インド、インドネシア、韓国、シンガポール、マレーシア、スリランカ、フィリピン、タイ、ベトナムの計11カ国のアジア作品を紹介することにより、アジアの近代美術を歴史的に回顧し、アジア各国で欧州の文化運動がどのように受容され変貌を遂げたかを紹介する展覧会。
3	黒田清輝から藤田嗣治まで パリに学んだ 洋画家たち展	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール	東京藝術大学	07.10.24～ 08.01.26	日本の洋画の近代化に功のあった黒田清輝から藤田嗣治まで、フランスに留学した洋画家たち12名の滞欧中の作品と帰国後の作品約50点を4部構成で紹介・展示する、フランスでは初めての企画。
4	能面展	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館フォワイエ	宇高会	07.12.07～ 07.12.09	金剛流宇高能公演にあわせて能面30点を展示。
5	在仏日本人会 アーティスト クラブ25周年 記念展	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館展示ホール	在仏日本人会 アーティスト クラブ	08.02.13～ 08.02.23	在仏日本人会アーティストクラブの設立25周年を記念した、アーティスト会員による作品展。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
6	ベケットと狂言	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.04.06～ 07.04.07	生誕100周年を迎えるサミュエル・ベケットをめぐるパリ・ベケット・フェスティバル参加企画。論文「ベケットと能」(高橋康也)で指摘されているベケット劇と能の差異と形式的・構造的類似性を出発点に、同論文でも挙げられている『私じゃない』(バーバラ・ユット演出、茂山逸平出演)と、狂言方の茂山あきら・童司による『言葉なき行為Ⅰ、Ⅱ』を上演。アフター・トークでベケット劇と能・狂言めぐり意見を交わした(本部主催派遣事業)
7	水曜日のミニ・コンサート	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール		07.04.18～ 08.02.27	毎月第4水曜日の定期コンサート。4月18日:ヴァイオリニスト梁美沙。5月23日:ピアニスト橘高昌男。6月27日:ユーフォニアム奏者の岩黒綾乃。10月17日:琴奏者の日原史絵。11月28日:竹本越孝(浄瑠璃)、鶴澤三寿々(三味線)による女流義太夫節。12月19日:ジャズの水口恵美子(ピアノ)トリオ。1月16日:曾我部清典(トランペット)と阿部加奈子(ピアノ)の競演と、カルテット・アポリネールによる演奏。2月27日:小林真理(メゾソプラノ)公演。
8	東京藝大附属 高校オーケストラの演奏会	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	CNSM de Paris、東京 藝術大学附属 高校	07.04.25	東京藝術大学音楽学部附属高等学校オーケストラの演奏会。尾高忠明指揮。バッハ「ブランデンブルグ協奏曲4番」、レスピーギ「リュートのための古風な舞曲とアリア」、ドヴォルジャーク「交響曲第8番」。ユネスコでの公演に引き続きパリ日本文化会館でも好評を博した。
9	ヒダじんぼ	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.05.11～ 07.05.12	ともに日本を代表するパーカッショニスト、ヒダノ修一(太鼓)、神保彰(ドラムス、DTXTREMEドラムトリガーシステム)が組んだ二人組のユニット「ヒダじんぼ」。超絶技巧のテクニックにより、和太鼓とドラムという和と洋の融合を果たした新しいパーカッションスタイルのコンサート(本部主催派遣事業)

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
10	チェルフィッ チュ『3月の 五日間』	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	チェルフィッ チュ（岡田利 規）	07.05.24～ 07.05.26	現代若者言葉を駆使しつつ登場人物が複雑に変化する脚本と、日常的な動作を取り入れた独特な身体表現で、日本の演劇界・ダンス界双方から今最も注目され、2007年5月にはベルギーのクンステン・フェスティバルに参加する、岡田利規率いるチェルフィッチュによる公演。第49回岸田國士戯曲賞受賞作『3月の五日間』を上演。渋谷のイラク派兵反対デモとラブ・ホテルに5日間泊まってしまう若者らの日常が交錯するという筋で、注目を浴びた。
11	演歌の歌姫 キム・ヨン ジャ・コン サート	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.06.21～ 07.06.22	フランス全土を挙げての音楽の祭典参加企画。日本の代表的演歌歌手であるキム・ヨンジャによるコンサート。日本の大衆歌謡曲である演歌を紹介。翌日の22日は、会館会員向けの特別コンサートとして実施。
12	金井圭介 『スーパー・ シルク』	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.09.12～ 07.09.13	70年代にフランスで生まれたスーパー・シルク（現代サーカス）。この分野で、フランスはもとより欧州各国で目覚ましい活躍をしている金井圭介が新作Gai-Kotsu（ガイ・コツ）を披露。幻想で滑稽な不思議な世界を表現。
13	Jazz in Japan special 渋さ知らズ	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	渋さ知らズ オーケストラ	07.09.28～ 07.09.29	ジャズ・ベーシスト不破大輔を中心に結成された、ジャズを出発点としたクロス・ジャンルなビッグ・バンド。十数名の管楽器隊に加え、ギターやキーボード、キャバレー・ダンサーに舞踏家まで参加。ドイツを中心に欧州でも多くのツアーを実施し高い評価を得てきたが、今回ナント市で初めてのフランス公演を実施する機会に、パリ日本文化会館でも公演を実施。
14	大駱駝艦壺中 天『2001年壺 宙の旅』	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	大駱駝艦	07.10.04～ 07.10.06	磨赤児率いる大駱駝艦の若手グループ壺中天による『2001年壺宙の旅』公演。向雲太郎振舞・舞態、磨赤児総監修。舞踏第一世代である磨赤児の舞踏を継承しつつ乗り越える若手舞踏家の作品。パリ日本文化会館10周年とNYのジャパン・ソサエティ100周年を設立35周年の大駱駝艦がつないだ企画。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
15	宇高会能公演	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	金剛流宇高会	07.11.06～ 07.11.09	金剛流能楽師の宇高通成率いる宇高会による能公演。日毎に、古典『葵上』『船弁慶』、新作『祈り』を、狂言『隠狸』『附子』『梟』と併せて上演。併せて、能のワークショップを実施するとともに、能面師でもある宇高氏のコレクションによる能面展を開催し、日本を代表する古典芸能である能楽を多角的に紹介。
16	Jazzycolors 椎名誠トリオ	パリ	セルビア文化 センター	椎名誠トリオ	07.11.26	在パリ外国文化機関有志共催、チェコ文化センター・エストニア文化センター・ハンガリー文化センター・スウェーデン文化センターを会場に、各国のミュージシャンが出演する、今年5回目の国際色豊かなジャズ週間企画。日本からは椎名豊トリオが出演。
17	J-Dance 07 solos	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.11.30～ 07.12.08	日本のコンテンポラリー・ダンスを紹介する企画。会館10周年を記念して、舞踏から今日までの流れを、男性と女性のソロを通じて俯瞰する。出演は、山田せつこ、黒田育代、白河直子、笠井叡、山崎広太、梅田宏明。併せて、舞踊評論家の國吉和子による日本のコンテンポラリー・ダンスに関する講演会を実施。
18	江戸糸操り人 形『牡丹燈籠』	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	結城座	07.12.13～ 07.12.15	370年の歴史を持つ江戸糸操り人形の一座である結城座出身の結城一糸を中心に結成された江戸糸操り人形座による新作『牡丹燈籠』公演。生き生きとした人形達が、美しくも恐ろしい怪談を物語る。大久保昌一良演出、稲葉明德・Yas-Kaz・GOTH-TRAD音楽、中島知子出演。紅白歌合戦にもこの後出場した中村中（あたる）が歌い手として全編登場。
19	ミュージカル 『羽衣伝説』	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	羽衣プロジェ クト	08.01.24～ 08.01.26	福島の子供向けミュージカル。大画面CGと舞台上の役者やセットの融合を図る。日本の最先端技術を用いた企画であり、また従来より指摘を受けながらなかなか実施に至らなかった子供向け企画のひとつとして実施し、好評を博した。
20	『屋根裏』公 演	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	燐光群	08.02.07～ 08.02.09	会風刺的な作風で知られる劇団「燐光群」のフランス初公演。90年代社会現象となった「引きこもり」をテーマに複数のスケッチを組み合わせて、現代日本社会を浮き彫りにする。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
21	日本の音楽の若き才能	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	ヤマハ・フラン ス	08.02.15～ 08.02.16	ヨーロッパで活躍している若手日本人演奏家によるクラシック・コンサート。ヤマハフランスと共催でピアノや管楽器を中心に、ソロやアンサンブルなど様々な形態で、将来有望な演奏家を紹介する企画の3回目。栗原麻樹（ピアノ）、吉田杏奈（フルート）、林美里（マリンバ）、河村尚子（ピアノ）、矢野玲子（ヴァイオリン）、山本亜希子（ピアノ）の出演。
22	穂吉敏子ジャズコンサート	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		08.02.22～ 08.02.23	ニューヨーク在住の日本を代表するジャズ・ピアニスト穂吉敏子のコンサート。2月23日はパリ国立高等音楽院ジャズ科の学生達とのコラボレーション
23	文楽公演	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		08.03.05～ 08.03.08	日本の3大伝統芸能にしてパリ日本文化会館で一度も上演されたことのない文楽の初めての本格的公演。『二人三番叟』、『本朝廿四孝』ほか。桐竹勘十郎ほか出演。本部主催公演事業
24	『椿－カメラリア』公演	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	カンパニー・デ・ルシオル	08.03.28～ 08.03.29	カンパニー・デ・ルシオルによる、カナダ人作家島崎アキによる同名小説の戯曲化。日本人俳優、仏人俳優が「能楽」に着想を得た演出、斬新なビデオワークで、幻想的な舞台を作り上げる。
【講演・シンポジウム】						
25	坂手洋二講演会	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール		07.04.10～ 07.04.11	文化庁派遣でパリ滞在中の戯曲家・演出家の坂手洋二が、2日間にわたり小ホールにて、『屋根裏』を始めとする自作の演劇のDVD映像を交えて、日本の現代演劇について語る講演会。
26	辻仁成、ダニエル・アルサン朗読会「文学の音が響かせるもの」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.04.27	現在パリ在住の作家・辻仁成（つじ・ひとり）氏が、自著『アカシア』に収録されている作品の抜粋を日仏語で朗読し、編集者であり文学批評家であるダニエル・アルサン氏と語る形式の朗読会・講演会。
27	「アジアのキュビズム」展関連シンポジウム	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.05.16	当館で開催される「アジアのキュビズム」展のオープニングシンポジウム。同展覧会のコミッショナーを始め、欧州、アジアから専門家が参加し、アジアにおけるキュビズムについて、英仏語同時通訳付きで討論。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
28	小山裕久講演会及びデモンストレーション	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール (講演会) 及 び厨房(デモ)	N P O日本料 理文化交流協 会	07.09.14～ 07.09.15	和食の伝統を維持しつつも、従来の枠に囚われない洗練された料理で常に新しい和食の流れを作り出している、著名な日本料理人・小山裕久氏による日本食文化に関する講演会及びレクチャー・デモンストレーション。「日本の食文化を探る」というテーマで、「日本の風味」と題して日本料理の真髄について語るとともに、2007年6月に完成したばかりの日本文化会館5階厨房で初めての茶懐石のデモンストレーションを実施。
29	沖方丁講演会「アニメーション・漫画・小説」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール	在フランス日 本大使館	07.09.25	小説「マルドゥック・スクランブル」で第24回日本SF大賞を受賞し、近年アニメーション原作・原案、漫画原作など幅広い活動を行っている新進気鋭のSF作家による日本発コンテンツの解説。沖方氏とプロダクションI.Gの共同原作によるテレビアニメ『シュヴァリエ』は、18世紀フランスに実在した美貌の天才騎士《デオン・ド・ポーモン》の生涯を描く歴史ロマン(外務省主催派遣事業)
30	いせひでこ&柳田邦男講演会「絵本をめぐる」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール	在仏商工会議 所	07.09.26	画家・絵本作家いせひでこ氏と、ノンフィクション作家の柳田邦男氏による講演会。絵本をテーマに子供や青少年の成長、教育について議論。
31	国際シンポジウム「日本の文化政策のニューアプローチ」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	UNESCO	07.10.13	マンガ、アニメ等世界各地で「COOL」と受け止められ、若者たちの間で広まった日本のポップカルチャーと、ポップカルチャーをめぐる最近の日本の文化政策について、日本、フランス、韓国、シンガポールの各研究者が討論する英仏語による国際シンポジウム。ユネスコ文化政策課との共催。
32	家庭料理デモンストレーション・セミナー	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館厨房		07.10.20～ 07.12.08	日本で料理研究家として活躍している塩田ノア氏を講師に迎え、フランスで調達できる食材で作れる日本の家庭料理を紹介。第1回目は焼き魚料理、炊き込みご飯。第2回目は鯛丼などのデモンストレーション。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
33	「パリに学んだ洋画家たち」展関連シンポジウム 「日本近代洋画の軌跡」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.10.24	10月24日から開催される「黒田清輝から藤田嗣治まで～パリに学んだ洋画家たち～」展のオープニングシンポジウムとして開催した。パネラーは同展コミッショナーの新関公子・東京藝大大学美術館館長、林洋子・京都造形芸術大学助教授、モデレーターとしてミカエル・リュッケンINALCO教授。
34	「現代薩摩の陶芸パリ展」およびシンポジウム 「SATSUMAフォーラム in パリ」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館フォワイエ（展覧会） および大ホール（シンポジウム）	鹿児島県陶業 協同組合	07.11.21～ 07.12.15	セーブル美術館で開催される「薩摩焼パリ伝統美展」と同時期に当館地下3階フォワイエにて現代薩摩焼展も実施。それらのオープニング事業としてシンポジウムを実施。日仏語シンポジウム、日仏語同時通訳付。
35	コンテンポラリーダンス講演会「暗黒舞踏からJ-DANCEまで」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール		07.12.01	J-Dance special solosに併せて日本のコンテンポラリーダンスを舞踏評論家の國吉和子が解説・紹介。（本部主催派遣事業）
36	国立民族学博物館30周年記念シンポジウム「文化資源という思想：21世紀の知、文化、社会」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	国立民族学博 物館、東京大 学、朝日新聞	07.12.21	従来個別に扱われてきた歴史や芸術といった分野を総合的に捉え直すため、文化資源という新しい概念を掲げ、研究を重ねる民博と、人間文化を根源的なレベルから見直そうとする東京大学によるシンポジウム。大ホールで同時通訳により21世紀の知、文化、社会の相互の在り様を巡って広く意見交換を実施。
37	アンヌ・ル・ディベルデル講演会「比類なき画家フジタ」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール		08.01.17	「黒田清輝から藤田嗣治まで～パリに学んだ洋画家たち～」展に合せ、フジタについてエソンヌ県学芸員のアンヌ・ル・ディベルデル氏が語る。仏語講演会。
38	羽衣伝説公演関連シンポジウム「羽衣プロジェクトに内在するテーマの考察」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール	羽衣プロジェ クト	08.01.22～ 08.01.23	1月の羽衣伝説公演に合せ、シンポジウムを開催。第1日目は「日仏CG先端技術と芸術への応用～その現状と可能性～」、第2日目は「日仏の民話を通じた情操教育の実践～具体例を基にした考察」と題し、日仏パネリストが意見交換する。日仏語同時通訳付。
39	アトリエ「日仏子供交流茶会」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館茶室	裏千家	08.02.13	裏千家家元・千宗室16世が日仏の子供たち向けに交流茶会を実施。茶道の歴史や文化を学び、実際の茶道体験も実施。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
40	小山裕久講演会及びデモンストレーション「古今料理法とは」「魚について」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール (講演会) お よび厨房 (デ モンストレー ション)	N P O日本料 理文化交流協 会	08.02.28～ 08.03.01	料理人・小山裕久氏が古今の料理の違いについて語る。また魚に関するレクチャー・デモンストレーションを実施。
41	こどものための文楽アトリエ	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		08.03.05	文化会館初の文楽公演に併せて、わかりやすく文楽について解説・紹介。(本部事業)
42	鳥越文蔵講演会「文楽が世界無形文化遺産に値する意味」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール		08.03.08	鳥越文蔵氏が世界無形文化遺産に指定されている文楽の文化遺産としての価値について語る講演会。(本部事業)
43	国際シンポジウム「マンガ、60年を経て…第一部：少女漫画とオタク」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール	パリ政治学院 国際研究所 (CERI)	08.03.15	日本研究リサーチ・会議等助成プログラムで助成を受けているパリ政治学院の国際研究所 (CERI) と共催で、英仏の同時通訳付きで行った公開シンポジウム。マンガ誕生から60年を経て、少女漫画というジャンル、またオタクという現象について日仏伊の研究者が発表、討論を実施。
44	ネットワーク強化シンポジウム (パリ政治学院国際研究所=CERI主催)	パリ	パリ政治学院 国際研究所 (CERI)	パリ政治学院 国際研究所 (CERI)	08.03.16	日本研究リサーチ・会議等助成プログラムで助成を受けているパリ政治学院の国際研究所 (CERI) と共催で、英仏の同時通訳付きで行った国際セミナー。フランスを始めとする欧州各国の若年層に圧倒的な普及度を誇る日本のマンガについて、主に欧州各国の受容の観点から発表。
45	黛まどか講演会&コンサート「四季彩々」	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール		08.03.21	俳人として著名な黛まどか氏が世界一短い詩・俳句の世界について語る。琴奏者の榎戸二幸氏も招き、俳句がつづる言葉と琴が奏でる音を同時に味わうコンサートも実施。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【映画】					
46	鈴木清順監督 特集	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール		07.05.31～ 07.06.30	『港の乾杯・勝利をわが手に』、『暗黒街の美女』、『影なき声』、『らぶれたあ』、『くたばれ愚連隊』、『百万弗を叩き出せ』、『俺に賭けた奴ら』、『探偵事務局23くたばれ悪党ども』、『野獣の青春』、『悪太郎』、『関東無宿』、『花と怒濤』、『肉体の門』、『俺たちの血が許さない』、『刺青一代』、『春婦伝』、『悪太郎伝 悪い星の下でも』、『河内カルメン』、『東京流れ者』、『けんかえれじい』、『殺しの烙印』、『悲愁物語』、『ツイゴイネルワイゼン』、『陽炎座』、『夢二』、『ピストルオペラ』、『オペレッタ狸御殿』を上映。
47	フジテレビ映 画シリーズ in Paris	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール	フジサケン イ・コミュニ ケーション ズ・インター ナショナル	07.07.04～ 07.07.13	フジテレビが21世紀に入ってから製作した4作品を、英語字幕付き35mmプリントで小ホールにて上映。テレビドラマとしても有名な『踊る大捜査線 THE MOVIE 2』や『ウォーターボーイズ』、あるいは三谷幸喜監督作品、2006年の新作等の話題作を集めた現代映画小特集。
48	外国文化週間 参加・河瀬直 美監督『萌の 朱雀』上映会	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館小ホール	FICEP (パリ 外国文化週間 事務局)	07.09.29	パリの外国文化センターが参加する外国文化週間参加事業として、2007年5月のカンヌ国際映画祭でグランプリを獲得した河瀬直美監督による『萌の朱雀』(1997年、1時間39分)を上映。
49	日本映画回顧 上映会『日活 の歴史』	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール 及び小ホール	日活株式会社	07.10.02～ 07.10.27	戦前の向島撮影所で作られた名作から、にっかつロマンポルノを経て、昔の呼称である「日活」を取り戻すまで、文字通りその名が映画史をなぞった日活の作品を歴史的に紹介。
50	第二回 KINOTAYO 映画祭	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館大ホール 及び小ホール	KINOTAYO 映画祭事務局	07.11.13～ 07.11.17	2006年から2007年にかけて製作された最近作の中で、フランスで未公開のアート系作品を上映した。女優でもある桃井かおり監督が当館で舞台挨拶。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【日本語教育】					
51	欧州日本語教師研修会	キーンツハイム	CEEJA	アルザス・欧州日本学研究所（CEEJA）	07.07.02～ 07.07.13	フランス東部アルザス地方にある日仏交流のために設立された公的機関アルザス欧州日本学研究所（CEEJA）との共催で実現した現職教師向けの日本語教育法に関する研修会。欧州14ヵ国から計38名の受講者を集め、2週間にわたって教育法に関する研修会を合宿形式で行なった。講師陣は在欧基金事務所の派遣専門家6名のほか、日本語国際センターの主任講師も参加
52	エクスポラング（語学見本市）	パリ	パリ15区パルク・デゼクスポジション	フランス日本語教師会	08.02.06～ 08.02.09	国内最大の語学見本市に、日本語ブースをフランス日本語教師会や在フランスの日本語教育機関と協力して出展。フランスにおける日本語教育に関する情報を学習者・教育関係者に提供。（本部事業）
53	全仏日本語スピーチコンテスト	パリ	国際交流基金パリ日本文化会館大ホール		08.03.22	当館主催によるフランスにおける唯一の日本語弁論大会。中・高校生部門と成人部門（大学生以上）の二部門からなる。出場者は中・高校生部門5名、成人部門は10名
	【図書館運営】					
54	図書館運営	パリ	国際交流基金パリ日本文化会館		07.04.01～ 08.03.31	1. 入館者数 14,242名 2. 貸し出し数 (1) 書籍 2,245冊 (2) 視聴覚資料 2,056点 3. 所蔵資料数（2008年3月末現在） (1) 書籍 23,731冊 (2) 視聴覚資料 2,298点 4. レファレンス件数 2,505件
	【教室事業】					
55	茶道デモンストラーション	パリ	国際交流基金パリ日本文化会館茶室	パリ裏千家	07.04.01～ 08.03.31	裏千家が担当する茶道デモンストラーション
56	茶道入門教室	パリ	国際交流基金パリ日本文化会館茶室	パリ裏千家	07.04.01～ 08.03.31	定員10名の茶道教室（16回授業）

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
57	書道入門教室	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館教室	ASSOCIATION HIMAWARI、 ASSOCIATION TANOSHI	07.04.01～ 08.03.31	フランス在住の書道講師・大島妙子及 び武井真紀子（後者は2007年6月まで で終了）による書道教室。
58	生花教室	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館教室	いけばなイン ターナショナル IKEBANA INTERNATIONAL	07.04.01～ 08.03.31	小原・草月・池坊各流派による生花指 導。定期的にデモンストレーション、 玄関ホールにおける展示も実施。
59	囲碁教室	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館教室	フランス囲碁 連盟イル・ド・ フランス囲碁 リーグ	07.04.01～ 08.03.31	初心者から上級者までを対象とする囲 碁教室。10回授業コース制。
60	折り紙アトリ エ	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館教室		07.04.01～ 08.03.31	子供向け事業。月1回で、6歳～9歳、 10歳以上(大人も受講可)の2クラスを 設けた。講師はフランス全国で折り紙 アーティストとして活躍しているエ リック・ジョワゼル。
61	香道デモン ストレーション	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館5階レセ プションホール 及び茶室	株式会社松栄 堂	07.11.15～ 07.11.17	志野流香道のデモンストレーション。 師範として香の老舗・京都の松栄堂の 社長を迎え、香道に関するミニセミ ナー後、茶室で組香という香り当て ゲームを参加者に実際に体験してもら う企画。
62	漫画入門教室	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館教室	IAF ASSOCIATION	08.01.19～ 08.03.29	新村ケンによる漫画ワークショップ。 パリ日本文化会館として初めてマンガ 創作の講座を開設。
63	折り紙雑貨教 室	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館教室		07.10.13～ 08.03.25	大島妙子が、折り紙を用いて和風ボッ クス等の雑貨を作る技術を指導。
	【本部事業受入】					
64	在欧日本専門 家中東・北ア フリカ派遣プ ログラム (チュニジア)			在チュニジア 日本大使館、 第13回カルタ ゴ10月音楽祭 実行委員会	07.10.21～ 07.10.23	第13回カルタゴ10月音楽祭における欧 州在住の邦人ピアニスト吉田友昭によ るリサイタル。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
65	在欧日本専門 家中東・北ア フリカ派遣プ ログラム（ア ルジェリア）			ソフィテル・ ホテル アル ジェリア、在 アルジェリア 日本大使館	07.11.26～ 07.12.02	在アルジェリア日本大使館主催、ソ フィテル・ホテル協力のもと、アルジェ リア文化大臣の後援を受け、「2007年 アルジェ・アラブ文化首都」参加行事 として、在仏「いけばなインターナシ ョナル」の講師3名を派遣。各流派の基 本的な様式や、エッセンスにつきいけ ばなレクチャー及びデモンストレー ションを実施。また終了後にアトリエ を実施し、参加者にも実際にいけばな を体験してもらう事業。
66	在欧日本専門 家中東派遣プ ログラム（ト ルコ）			在 이스タ ンブル総領事 館、在トルコ 大使館	08.03.26～ 08.03.31	アンカラ及びイスタンブールにてボル ドー在住の琴演奏者・みやざきみえこ 及びManuel SOLANSによる琴とバイ オリンのデュオ演奏会を実施。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
67	PAJ : Iru - Dance in illusion	Cirko	07.01.08～ 07.09.23	Tatu Tyniによるイリュージョンやマジックなどの要素 を織り込んだコンテンポラリーダンス公演。ヘルシンキ 他、フィンランド国内5カ所のツアー。
68	海外事務所現地助成 プログラム	フランス日本語教師 会	07.04.01～ 08.03.31	平成19年度にフランス日本語教師会が実施するシンポ ジウムに関し、フランス国内の日本語教師の連携及び向 上を促進するための助成を実施。
69	PAJ : Five Days in march	Kunstenfestivaldesarts	07.05.16～ 07.05.20	岡田利規の新作Free TimeのKunsten Festival(ブ リュッセル) およびWiener Festwochen (ウイーン) で の公演。Uovo performing arts festival (ミラノ) では Air-Conditionerを上演。
70	PAJ : Trance by Shoji Kokami, translated by Amy Kasai	The Alternative Theatre Company Ltd (The Bush Theatre)	07.06.06～ 07.06.30	鴻上尚史とロンドンのBush Theatreの共同制作に る、鴻上氏脚本の作品「Trance」の英語での上演。
71	PAJ : Focus on Japanese New Dance	Fondazione La Biennale di Venezia	07.06.14～ 07.06.17	Focus on Japanese New Danceでは、日本のコンテン ポラリーダンスを紹介。イタリアのLa Biennale di Veneziaと日本のBatikによる共同制作作品を2本、日 本の森山開次による作品を1本の合計3作品を上演。
72	PAJ : Scenofest 2007 - Tea Pavillion	OISTAT	07.06.14～ 07.06.24	プラハで開催のInternational Exhibition of Scenography and Theatre Architecture Prague Quadriennial に、文楽の技術と現代の技術を融合させ た操り人形をテーマとした「Tea Pavillion」と名付けら れたプロジェクト。公演と同時にワークショップも実施。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
73	PAJ : Shibusa Shirazu Orchestra	Moers Music GmbH	07.08.15～ 07.10.01	管楽器を中心にジャズやロックのミュージシャンと、さらに多数のダンサーや舞踏家など渾然として舞台をみせる「洪さ知らズオーケストラ」によるイタリア、フランス、オランダの3カ国ツアー。
74	PAJ : Beckett Butoh Notation 07	The Cultural Centre of Novi Sad	07.09.04～ 07.11.12	舞踏家桂勘氏の監督により、セルビア、スロバニア、フランス、日本人ダンサーが参加する、Michael Endeの'Mirror in the mirror'を原作とした「fable in the mirror」公演。セルビア国内4カ所のツアー。
75	PAJ : Japan Now-modern performing arts festival 2007	Theaterhaus Mitte	07.09.10～ 07.09.25	「Japan Now」は日本のパフォーマンス、ダンス、演劇などを総合的に紹介するフェスティバル。はじめにベルリンでの開催し、その後、フェスティバル全体をクラコフ、シュチェチンなどに巡回。
76	PAJ : Emaki - stories Artolate	laminarie	07.09.19～ 07.09.23	ボローニャでのInternational Children's Bookfair.にあわせて、子供から大人までを対象としたリーディングを、サラボルサ図書館で開催。
77	PAJ : Lady Sarashina	Opera national de Lyon	08.03.01～ 08.03.31	天児牛大が演出、振付を担当しハンガリー人作曲家 Peter Eotvosと共に、新作オペラLady Sarashinaを共同制作。リヨン、パリの劇場およびEdinburgh International Festivalで公演。
78	PAJ : Twin Stars	Caryl Jenner Productions Limited (Unicorn Theatre)	08.03.14～ 08.04.06	宮沢賢治の世界をテーマとした、藪田 洋嗣による「Twin Stars」という作品の公演。ロンドンのUnicorn Theatreにて上演。
	【会場提供】			
79	日本酒試飲会	日本八壺会	07.06.22	老舗蔵元の若手が結成した八壺会の協力を得て、毎年好評を博している日本酒セミナー。レセプションホールにて着席型で実施。プレス対象試飲会も継続して実施。
80	JMAセミナー	日本能率協会	07.07.03	日本能率協会が毎年各地で開催しているグローバル・ビジネスリーダーコース。去年に引き続き今年も当館に来館してもらい、当館館長より会館の設立趣旨及び活動内容を参加者に説明し、講義を実施。
81	世界文化賞	フジサンケイ・コミュニケーションズ・インターナショナル	07.09.20	フジサンケイグループが中心となり、毎年「高松宮記念」の名の下に芸術の各分野から国籍を問わず表彰するセレモニーを行なうもの。日本から常陸宮ご夫妻が参加され、第ホールで華やかな表彰式が行なわれ、新聞・テレビにも会館が登場。
82	料理デモンストレーション「和食入門ーご飯とだし」	味の素ヨーロッパ	07.10.06	味の素ヨーロッパ社主催の和食の基本講座。ご飯の炊き方と出汁の取り方を学ぶ。簡単な試食有り。会館厨房にて実施。
83	日立レセプション	日立ヨーロッパ	07.10.08	日立ヨーロッパの会長がフランス政府から勲章を受けたのを記念し、日立の顧客を集めてレセプションを実施。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
84	羽衣伝説プロジェクト（子供向け事業）	株式会社トータルプランニングオフィス（TPO）	07.10.25～ 07.10.26	2008年1月の『羽衣伝説』上演前のプレイベントとして、①料理体験教室、②折紙教室、③日本語入門講座の3つのアトリエに、フランス人の子供たちが参加。
85	三菱東京UFJ銀行イベント	三菱東京UFJ銀行	08.01.15	1月26日まで開催中の「黒田清輝から藤田嗣治まで」展に関連して、同銀行の顧客等を集め、モワンス前田による解説講演会、展覧会見学及びカクテルを実施。
86	源氏物語フォーラム	JCOM	08.03.11	源氏物語に関するプライベート講演会への施設提供。

ソウル日本文化センター

合計額 251,222,700円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	『横尾 忠則 ポスター』展	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター、 国民大学校ゼロワン・デザインセンター	国民大学校ゼロワン・デザインセンター	07.09.01～ 07.09.30	1960年代にデビューし、グラフィックデザイナーとして世界から注目を集めた日本を代表するアーティスト、横尾忠則の個展を開催。片岸 昭二（富山県立近代美術館主任学芸員）を招へいし、イム・クンジュン（評論家）との対談も実施
2	『なんせん ちょうむ』展	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター	韓日未来 フォーラム、 小川裕司	07.10.10～ 07.10.31	日韓文化交流をテーマとした小川 裕司の写真展。同氏の「歴史の旅」の始まりとして、数点をフォトエッセイの形で紹介。展示は同氏のエッセイに対し、鄭 在貞（ソウル市立大学校教授）が歴史の背景を解説
	【公演】					
3	柳家さん喬師 匠落語会	ソウル	在大韓民国大使館公報文化院	筑波大学、在大韓民国大使館公報文化院	07.09.19	日本語学習者を対象とした柳家さん喬の落語会を開催。筑波大学で研修を受けた教師やソウル日本文化センター日本語講座学習者が参加
	【映画】					
4	日本映画上映会「日本青春残酷物語」	ソウル	成均館大学校	韓国シネマテーク協議会	07.05.07～ 07.05.09	韓国シネマテーク協議会との共催で、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーのうち、『八月の濡れた砂』等6作品を提供し、成均館大学校の学校祭開催期間中に上映会を実施
5	日本映画上映会「今村 昌平監督特集」	ソウル	建国大学校	建国大学校	07.05.29～ 07.06.01	建国大学校映画芸術学科の学生や一般市民を対象に、建国大学校芸術大学の小劇場にて、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から2006年に逝去した今村 昌平の作品を中心に8作品を上映
6	CQN日本映画傑作選① 「今村 昌平監督回顧展」	ソウル	C Q N明洞	シネカノン・コリア	07.09.11～ 07.10.26	シネカノン・コリアと共催でソウル日本文化センターのフィルムライブラリー作品を上映。第1弾として、日本を代表する映画監督、今村 昌平の8作品を上映。8月31日にはオープニングイベントとして記者向けの試写会を実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
7	第46回耽羅文化祭－海女民俗祝祭	済州	済州海女博物館	済州海女博物館	07.10.08～ 07.10.10	海女の生い立ちと海女文化に対する理解を深めるため、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『海女のリャンさん』を上映
8	Invest KOREA Movie Night 日本映画上映会①	ソウル	KOTRA（大韓貿易投資振興公社） Invest Korea Plaza	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）	07.10.25	KOTRAが所有する施設を活用し、地域住民を対象に日本文化への理解を深めるため、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『森の学校』を上映
9	CQN日本映画傑作選② 「鈴木 清順 監督特別展」	ソウル	C Q N明洞	シネカノン・コリア	07.11.02～ 07.12.28	ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの作品をシネカノン・コリアと共催で上映する事業。「今村 昌平監督回顧展」に続く第2弾として、独特の作風で名を馳せた鈴木 清順の9作品を上映
10	住民と共にする世界文学散策－東アジア文学との出会い（『砂の女』上映会）	ソウル	淑明女子大学校	淑明女子大学校	07.11.05	日本、中国、韓国を中心とした「東アジア圏」文学の文人と作品・文化を扱った展示及び体験行事の中で、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『砂の女』を上映
11	「家族映画」上映会	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター		07.11.05～ 07.11.14	ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から学校や家族をテーマとした作品を上映。イオンホールにて07.11.05から07.11.07、07.11.12から07.11.14の2回に分けて40人規模で上映会を実施
12	漢陽大学校日本映画上映会	ソウル	漢陽大学校	漢陽大学校	07.12.17～ 07.12.20	ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から1950、60年代の名作と呼ばれる作品を選び、①戦争の記憶と平和の願い、②激動する戦後社会と民衆の姿、③新しい映画的表现への試みというテーマを設けた日本映画上映会を実施。
13	Invest KOREA Movie Night 日本映画上映会②	ソウル	KOTRA（大韓貿易投資振興公社） Invest Korea Plaza	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）	07.12.27	KOTRAが所有する施設を活用し、地域住民を対象に日本文化への理解を深めるため、ソウル日本文化センターのフィルムライブラリーの中から『長靴をはいた猫』を上映
14	C Q N日本映画傑作選③ 「毎週火曜日 未知の傑作と出会う」	ソウル	C Q N明洞	シネカノン・コリア	08.01.22～ 08.03.25	ソウル日本文化センターのフィルムライブラリー所蔵作品を、シネカノン・コリアと共催で上映。第3弾として、1960年代から80年にかけての代表作10作品を毎週火曜日20時30分から上映

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
15	大邱日本映画傑作選	大邱	東城アートホール		08.03.20～ 08.03.23	ソウル日本文化センターのフィルムライブラリー所蔵作品による地方上映会。C Q N日本映画傑作選で上映された8作品を大邱の東城アートホール(芸術専用映画館)で4日間にわたって2回ずつ上映
	【日本語教育】					
16	ニューズレター作成・発行				07.04.01～ 08.03.31	韓国の日本語学習者を対象に、インターネット上で配信するニューズレター『カチの声』第16～18号を発行
17	ホームページ連載企画				07.04.01～ 08.03.31	初級を修了した頃から難しいと感じる日本語の表現を、月2回一つずつ取り上げ例文を中心に使い方を解説するコーナー「今すぐ使える日本語」(第19～41回)と、授業中に短い時間でできる日本事情クイズとその解説からなるコーナー「一口文化クイズ」(第1～9回)をウェブサイトに掲載
18	留学生ボランティア派遣プログラム	ソウル、仁川、京畿道	ソウル、仁川、京畿道の高校および中学校	ソウル、仁川、京畿道の高校および中学校	07.04.01～ 08.03.01	ソウルに日本から留学している日本語ネイティブ留学生を、ソウル、仁川および京畿道内の、高校、中学校にボランティアとして派遣し、日本語授業のゲストとして参加させた。年間で53回の授業にボランティアを派遣し、およそ3800名(延べ)の生徒が授業を体験
19	2007年度前期日本語講座	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター		07.04.01～ 07.06.01	日本語能力試験1級に合格した一般学習者向けに、9クラス、週2コマの日本語講座を開講
20	日本語教材図書・ビデオライブラリー	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター		07.04.01～ 08.03.01	日本語教師への情報提供サービスとして、各種教材・ビデオ等を収集。
21	釜山在勤日本語教育専門家活動	釜山	国際交流基金ソウル日本文化センター、社団法人釜山韓日文化交流協会	社団法人釜山韓日文化交流協会、在釜山総領事館	07.04.01～ 08.03.01	日本語教師対象日本語講座(A、B、Cクラスそれぞれ全15回30時間)を開講したほか、地方教師会等への出講、各種日本語コンテスト審査員などに協力
22	日本語教育研究講座高校日本語教師研修コース	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター		07.04.11～ 07.06.20	高校の日本語教師を対象とする研修を週1回、全10回(総20時間)実施。ソウル市教育庁が職務研修として認定

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
23	日本語教育研究講座中学校日本語教師研修コース	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター		07.04.11～ 07.06.20	中学校の日本語教師を対象とする研修を週1回、全10回（総20時間）実施。ソウル市教育庁が職務研修として認定
24	日本語教師サロン	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	資格や経歴を問わず広く日本語教師を対象として開催する日本語教授法についてのワークショップを年8回開催。教材および授業内容等について講義
25	鍾路産業情報高校来訪	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター	鍾路産業情報高校	07.05.09	ソウル日本文化センターを訪問した鍾路産業情報高校の生徒に対し、センター紹介、日本留学案内、日本語授業等を実施
26	梨花女子大学校併設メディア高校来訪	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター	梨花女子大学校併設メディア高校	07.05.23	ソウル日本文化センターを訪問した梨花女子大学校併設メディア高校の生徒に対し、センター及び、すしテストの紹介、日本語授業等を実施
27	夏季中等日本語教師集中研修（釜山）	釜山	社団法人釜山韓日文化交流協会	社団法人釜山韓日文化交流協会、在釜山総領事館	07.07.30～ 07.08.03	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。目標は、「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」等
28	夏季中等日本語教師集中研修（ソウル）	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター		07.08.06～ 07.08.10	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。目標は、「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」「参加者間の情報および意見交換を促進し、ネットワークの構築を図る」等
29	チョンダム中学校来訪	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター	チョンダム中学校	07.08.21	ソウル日本文化センターを訪問したチョンダム中学校の生徒に対して、センター、日本文化（日本料理）、日本語ゲーム等を紹介。生徒25名、引率教員2名が参加
30	2007年度後期日本語講座	ソウル	国際交流基金ソウル日本文化センター		07.09.06～ 07.11.30	日本語能力試験1級に合格した一般学習者向けに、9クラス、週2コマの日本語講座を開講

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
31	北陸大学学生来訪	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター	北陸大学	07.09.13	大学の研修プログラムの一環として訪韓した北陸大学の学生10名および引率の教職員2名に対し、ソウル日本文化センター紹介と日本語講座への参加からなるプログラムを提供
32	陸軍情報学校来訪	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター	陸軍情報学校	07.09.20	陸軍情報学校で日本語を学習している学生22人に対して、ソウル日本文化センターを日本語で紹介、イオンホールの展示会見学、文化情報室利用法等を説明
33	日本語教育研究講座2007年度後期高校日本語教師研修コース	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター		07.10.10～ 07.12.12	高等学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全10回（総20時間）開催
34	日本語教育研究講座2007年度後期中学校日本語教師研修コース	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター		07.10.10～ 07.12.12	中学校日本語教師対象の教授法講座。週1回、全10回（総20時間）開催
35	冬季中等日本語教師集中研修（釜山）	釜山	社団法人釜山韓日文化交流協会	社団法人釜山韓日文化交流協会、在釜山総領事館	08.01.07～ 08.01.11	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」等を目標とした。具体的な内容としては、「打ち解け活動」「アイデア交換」「教科書分析」「教室活動について考える」等や日本文化体験を実施
36	冬季中等日本語教師集中研修（ソウル）	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター		08.01.14～ 08.01.18	中等日本語教師を対象とした、教授法中心の5日間の集中研修。1日6時間、総30時間実施。「自分の授業を振り返り、第七次教育課程に沿った授業の目標および活動を再考する」「コミュニケーション能力を伸ばす授業方法を具体的に考える」等を目標とした。具体的な内容としては、「打ち解け活動」「アイデア交換」「教科書分析」「教室活動について考える」等や日本文化体験を実施
37	2008年度前期日本語講座	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター		08.03.03～ 08.03.31	日本語能力試験1級に合格した一般学習者向けに、9クラス、週2コマの日本語講座を開講

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【図書館運営】					
38	文化情報室 (図書館) 運営	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	蔵書合計：合計17,239点（書籍12,037点、雑誌1,175点、その他661点、視聴覚資料3,366点）、会員数：10,375名（2008.03.31現在）
	【出版・広報】					
39	ホームページ 運営				07.04.01～ 08.03.31	ソウル日本文化センターを紹介するホームページを運営管理。ホームページは各種事業案内、特集記事、連載企画等で構成。主な使用言語は韓国語で、一部は日本語と英語でも掲載。アクセス数：1,405,845名（2007.4.1～2008.3.31）、メーリングリスト数：3,853名（図書館会員を除く）
	【その他】					
40	海外アドバイザー運営	光州			07.04.01～ 08.03.31	全羅南北道・光州市を管轄地域とする海外アドバイザーを池 炯源に委嘱
41	日韓交流ネットワーク	ソウル等			07.04.01～ 08.03.31	日本と韓国の交流事業活性化のため、助成プログラムや交流相手など事業実施に必要なさまざまな情報を提供するサイトを、ホームページリニューアルの一環として2006年に設置し、そのサイトの管理にあたる臨時職員を雇用。日韓フレンドシップコミュニティサイトも構築
42	立命館大学政策科学部来訪	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター	立命館大学政策科学部	07.10.01	勝村誠（立命館大学教授）ほか学生7名の計9名に対し、国際交流基金の活動紹介を行い、ソウル日本文化センター事業を紹介するDVDを上映、ホール・文化情報室等について説明
43	淑明女子大学来訪	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター	淑明女子大学	07.11.08	ソウル日本文化センター事業紹介DVDを上映しながら、国際交流基金の活動紹介を行い、文化情報室等について説明
44	「李 秀賢氏 記念韓国青少年招へい事業」同窓会	ソウル、釜山	国際交流基金 ソウル日本文化センター等		08.02.26～ 08.03.25	関西国際センター主催「李 秀賢氏記念韓国青少年招聘事業」の過去の参加者たちの、参加年度を越えたネットワーク形成のための会議を開催。また、参加者代表9名が李 秀賢のお墓参りや母校を訪問、両親を表敬

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
45	日本研究フェローシップ参加者データベース作成	ソウル	国際交流基金 ソウル日本文化センター		08.03.17～ 08.03.31	ソウル日本文化センターの基礎資料として、過去の日本研究フェローシップ参加者のデータベースを作成

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成】			
46	次世代日本専門家ネットワーク月例会(助成/施設貸出)	次世代日本専門家ネットワーク	07.04.01～ 08.03.31	日本研究専攻の大学院生による研究成果と情報を共有するためのネットワークに平成19年度を通して助成。ソウル日本文化センターで月例会を開催、日本研究分野の教授による講演と参加者による討論が行われた。国民大学校、ソウル大学校、ソウル市立大学校、延世大学校、梨花女子大学校、韓国外大学校、漢陽大学校等が参加。4月21日、6月2日、9月1日、12月15日、2月23日、3月22日の合計6回実施
47	韓日国会議員フォーラム	社団法人韓日未来フォーラム	07.05.03	「21世紀韓日両国間の葛藤の管理、および協力体制の構築」をテーマに、日韓両国の国会議員、マスコミ関係者、研究者がソウルに集まって開かれた会議に助成
48	韓国日本語文化学会2007年度春季国際学術大会	韓国日本語文化学会	07.05.12	大嶋 仁（福岡大学教授）による講演、各分科会における24の研究発表からなる大会に助成
49	第4回ソウル環境映画祭	財団法人環境財団	07.05.17～ 07.05.23	「環境」をテーマに毎年開催されている映画祭に助成。「地球の温暖化防止」がスローガンとなり、山本 修治（NHKプロデューサー）による講演会（テーマ「地球温暖化と気候の災難」）を開催
50	韓国日語教育学会第11回学術発表大会	韓国日語教育学会	07.06.02～ 07.06.02	「日本語能力評価 どのようにするのか」をテーマに、加藤 清方（東京学芸大学教授）、大隅 敦子（国際交流基金研究員）が基調講演し、その他10名が発表した学会に助成
51	『A.L.I.C.E. Museum』展	芸術の殿堂、アートセンターナビ	07.06.02～ 07.06.22	遊び場、庭、カフェ、劇場などを子ども達が直接体験することにより、新しい世界の発見とその表現力・想像力を育てることを目的として、韓国内外のメディア・アーティストとデザイナー20余名が参加し、開催された体験型展覧会に助成
52	鎌田 敏夫招へい講演会	株式会社アゴカンパニー	07.06.20	「One Source-Multi Use」の代表的な例である映画「シングルス」のミュージカル制作を記念し、原作者の鎌田敏夫を招へいする事業に助成。ジョ・ジンクック（韓国人作家）とのパネル講演会および観客とのトークを開催
53	国際シンポジウム「2.13合意以後の北朝鮮の体制変化を予測し準備する」	平和財団	07.06.19	韓国、日本および中国の学者がソウルに集まって、北東アジア情勢および北朝鮮の状況を分析し、同地域の平和のための対応方法を模索するシンポジウムに助成

	事業名	助成団体	期間	事業内容
54	『2007 大田FAST : Mosaic City』展	大田市立美術館	07.07.25～ 07.10.07	さまざまな要素が複雑に絡み合っている都市をモザイクと想定し、科学と芸術の結合による新しい未来をテーマに大田市をキャンパスに想定して描くメディアアート展。高橋 匡太（作家）の招へい費を助成
55	第22回韓日学生会議 ソウル会議（助成/ 施設貸出）	韓日学生会議	07.08.03～ 07.08.17	日韓両国の大学生が中心になって毎年東京とソウルで交互に大会を行っている「学生会議」に助成、協力。今年は第22回を迎えてソウルで開催
56	韓国日本語教育研究会 授業発表・自律研修	韓国日本語教育研究会	07.08.13～ 07.08.14	韓国日本語教育研究会が毎年実施している事業に助成。最近の日本語授業の流れや情報を得るため、全国から中等日本語教師が集まり各地域から選ばれた教師が実践授業を発表
57	光州国際公演芸術祭 (BATI-HOLIC公演)	光州国際公演芸術祭 組織委員会	07.08.29	光州国際公演芸術祭組織委員会が招へいしたBATI-HOLICによる和太鼓公演の渡航費の一部を助成。BATI-HOLICは日本の伝統民族音楽と現代音楽のフュージョングループ
58	第8回ソウル国際映画祭 「河瀬 直美監督招へい」	ソウル国際映画祭執行 委員会	07.09.07～ 07.09.16	第8回ソウル国際映画祭が開幕作品『殞の森』の上映に合わせて、「観客との対話」プログラム等を実施するため招へいした河瀬 直美（映画監督）の渡航費を助成。同作品は2007年カンヌ国際映画祭のグランプリを受賞
59	日本「子供のための シェイクスピア・カンパニー」 招へい～ 演劇『夏の夜の夢』 来韓公演	トンスン・アートセンター	07.09.15～ 07.09.16	「子供のためのシェイクスピアカンパニー」の韓国初公演に助成。日本で人気の高かった『夏の夜の夢』を、演出、俳優などはそのままに、韓国語字幕で上演
60	第10回ソウル世界舞踊祭 (SIDance Festival)	国際舞踊協会韓国本部	07.10.05～ 07.10.27	国際舞踊協会韓国本部が毎年主催する世界舞踊フェスティバルに助成。ジョン・ミスック、黒田 育世、キット・ジョンソンの3人の女性振付家が制作した公演『Les Dames』に出演する黒田 育世を招へい
61	『Dis Communication』展	省谷美術館	07.10.11～ 07.12.30	日本人アーティスト（鳥光 桃代、佐々木 里加、阿部 乳坊）による現代アートの競演。渡航費を助成
62	慶應義塾大学小此木 政夫教授講演会	韓日文化交流会議、 韓日未来フォーラム	07.11.02	日本における韓半島問題の最高の専門家と称される小此木 政夫（慶應義塾大学教授）の特別講演会に助成。最近の日本政権交替と南北会談が今後の日韓関係に与える影響について発表。聴講者は日韓関係を研究する専門家、学生・大学生、言論人等を中心に約100名
63	東アジアの日本文学 研究	韓国外国語大学校日 本研究所、立教大学 日文学研究所	07.11.02～ 07.11.03	東アジアにおける日本文学の研究状況を総合的に取上げ、今後の日本文学研究の方向を模索するためのシンポジウムに助成。漢字文化圏、宗教と学会、イメージと文芸の3分野に分けられ、多様な観点からのアプローチを考察。韓国内における日本文学研究者に、今後の東アジアにおける日本研究の未来像を提示。聴講者は約150名

	事業名	助成団体	期間	事業内容
64	近代建築史の再照明 VI 「Vitruviusの建築十書と近代日本建築」	ソウル産業大学校建築学部	07.11.16	竺 覚暁（金沢工業大学教授）が非西欧圏の西欧文化への接近方法について発表し、日本近代建築との関係性について韓国の専門家と討議する講演会に助成。日本近代建築の形成に大きな影響を与えたVitruvius（建築家）の建築論を、東京・大阪等に現存する古典主義建築物と比較・考察
65	2007現代戯曲リーディングおよびシンポジウム	韓日演劇交流協議会	07.11.29～ 07.12.02	戯曲を通じた日本と韓国の演劇交流を図るとともに、戯曲の翻訳およびリーディングを通じて日本現代演劇の普及を図るため開催されたシンポジウムに助成
66	地域建築と地域建築家の役割－日本の現代建築家の実践的展開	済州大学校	07.12.27	日韓の建築専門家による地域建築に関する会議に助成。日本から建築家の遠藤 剛生、小嶋 一浩が発表者として招へいされ、済洲地域の建築家、建築分野公務員、大学生等60名程度が参加。世界を舞台に活躍する日本の建築家を招いて、世界の建築動向を把握し、地域文化に対する建築的接近方法の多様性を考察
67	ソウル日本語教育研究会主催2007冬季職務研修（助成/施設貸出）	ソウル日本語教育研究会	08.01.08～ 08.01.11	ソウル・京畿道地域の日本語教師40名を対象に行なわれた職務研修に助成と会場提供で協力。「次期教育課程と日本語指導」というテーマで研修を実施
68	国際交流基金ソウル日本文化センターと共にする「evangelion 序」展示会	Movien I	08.01.12～ 08.01.26	伝説的なアニメーション「evangelion 序」の海外初のスクリーン上映に合わせて開催された「evangelion 序」展示会に助成。3カ所（龍山、カンピョン、九路CGV）の展示物の一部（DVD）と設置に関する経費を負担
69	劇団サヌリム公演『ブラインドタッチ』劇作家・坂手 洋二アフタートーク	劇団サヌリム	08.02.20～ 08.02.21	坂手 洋二（劇作家）の作品が韓国で初めて上演されるにあたり、同氏の渡航費を助成。同氏が自身の演劇観を観客に語りかけ、日韓演劇に対する理解を相互に刺激し合うアフタートークを開催
70	長期介護保険制度と老人健康増進のための実践模索フォーラム	木浦大学校	08.03.21～ 08.03.22	5年前から長期介護保険制度を実施している日本の専門家を招へい、日本の経験や課題などを講義し、韓国で2008年7月より施行される長期介護保険制度や老人健康増進のための実践方法を模索するために開催されたフォーラムに助成
	【後援事業】			
71	韓日地方政府国際学術会議（後援名義/施設貸出）	韓日地方政府国際学術会議	07.04.04	21世紀北東アジア時代における日韓両国の自治体間の国際協力を模索するため、日韓両国の自治体交流関連団体の関係者、言論人および学者が集まり、議論
72	国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵品巡回「日本の世界遺産」「浮世絵」(後援名義/文化備品貸出)	在大韓民国大使館公報文化院、全北大学校三星文化会館	07.05.17～ 07.05.27	全州市にて開催されたジャパン・ウィーク（在大韓民国大使館主催）の展示プログラムに、国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵品「日本の世界遺産」と「浮世絵」を提供

	事業名	助成団体	期間	事業内容
73	BATI-HOLIC公演	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）	07.07.19	KOTRA（大韓貿易投資振興公社）のInvest KOREA Plazaで実施されたBATI-HOLICによる太鼓と唄の公演に対し、広報に協力
74	日韓語り芸「落語とパンソリの夕べ」	特定非営利活動法人国際落語振興会	07.07.22	日本の話芸「落語」と韓国の語り芸「パンソリ」。人々に物語のイメージを膨らませる日韓の語り芸を同時に鑑賞する日韓庶民芸のジョイント公演に対し広報に協力
75	笑福亭 銀瓶落語会	新羅大学校、在釜山総領事館、啓明大学校、中央大学校	07.10.15～ 07.10.17	10月15日に新羅大学校、16日に啓明大学校、17日に中央大学校で行われた日韓両言語による落語会を支援（高麗大学校が10月13日に笑福亭 銀瓶（落語家）を招いた機会を利用して、公演をコーディネート）
76	国際文化学術祭	明知専門大学	07.10.25～ 07.10.26	日本文化に対する知識の涵養と理解を得るため学術大会を開催。ソウル日本文化センター所蔵浮世絵の展示会（美人画中心）を開催
77	琴律楽会第17回定期演奏会	琴律楽会	07.12.04	韓国の代表的な伝統楽器である玄琴をはじめ、日本・中国・モンゴルの異なる楽器によるアジアの平和を祈る演奏会の実施に協力
78	釜山OPIセミナー	釜山外国語大学校日本センター	07.12.27	日本語教師および日本語教育を学ぶ学生が、日本語学習者の会話能力を測る方法について学び、会話能力とは何かについて考えることを目的としたセミナー。牧野 成一（プリンストン大学教授）を招いてOPI（口頭能力インタビュー試験）に関する講義、ワークショップを開催
79	村治 佳織の『アランフェス協奏曲』公演	株式会社クレディア	08.03.23	クラシックギターの妖精と言われる村治 佳織の3年ぶりの来韓公演の広報に協力
	【会場提供】			
80	韓日ユース・フォーラム①	社団法人韓日未来フォーラム	07.04.03	韓国の日本専門家が日韓の放送文化に関する研究成果を発表し、韓国の大学生および韓国在住の日本人大学生が討論
81	2007地方公務員外国語スピーチ大会	韓国地方自治団体国際化財団	07.05.30	韓国の地方公務員の外国語学習意欲を高めて地方の国際化に寄与することを目的に、自治体の公務員を対象に開かれる外国語スピーチ大会
82	SJC経営委員会 2007年第2回経営研究セミナー「韓国のFTA戦略と日本の対応」	ソウルジャパンプラブ	07.06.04	深川 由紀子（早稲田大学政治経済学部教授）を招き、韓国のFTA戦略を含む経済環境に対する理解促進と日韓FTAを含む今後の日韓関係発展に関する講演を実施
83	韓日ユース・フォーラム②	社団法人韓日未来フォーラム	07.06.05	在大韓民国大使館の経済担当官が日本の経済政策に関する資料を紹介し、韓国の大学生および韓国在住の日本人大学生が討論

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
84	韓日マスメディア・フォーラム	社団法人韓日未来フォーラム	07.06.08	韓国のドラマ作家による「ドラマでみた韓日映像文化比較」という研究発表の後、日韓のマスコミ関係者および研究者が討論
85	国際シンポジウム「東アジアの民主主義」	民衆化運動記念事業会	07.06.29	韓国とアジアでの事例を中心に、民主主義への移行過程における成果と限界を探り、アジア民主主義連帯の基礎を構築するためにアジア各国の学者が討論
86	SJC労働委員会 2007年第2回労働セミナー「ウリ銀行の非正規職法対応戦略」	ソウルジャパンクラブ	07.07.03	在韓日系企業が韓国社会で円滑に活動するにあたっての現地理解を深めるため、ソウルジャパンクラブがウリ銀行担当者を招き、非正規職保護法に対する動向の対応に関する講演を実施
87	岡山県韓国語講座生の日韓文化交流会	ユニリンクホームステイ	07.08.01	岡山大学の韓国語講座受講生と日本に関心のある韓国人の間の交流会。日本からは28名の受講生が訪韓
88	大島 正太郎大使帰任講演会	社団法人韓日未来フォーラム	07.08.17	大島 正太郎（在韓民国特命全権大使）が、2年間の韓国勤務を通じた経験、特に日韓関係の現状と未来について講演
89	国立大学法人東京工業大学工学部入学のための面接会	東京工業大学留学センター	07.09.10	海外（韓国、タイ、マレーシア、インドネシア）で留学試験の現地面接を実施している東京工業大学が、韓国の受験者に対し面接を実施
90	第10回ユースフォーラム	社団法人韓日未来フォーラム	07.10.05	日韓大学生対象の定期フォーラム。フォーラムの翌日から同じ会場で開催された小川 裕司の写真作品を取上げながら、「日本と韓国の文化比較」について講演会を開催
91	SJC「韓日関係史に係わる歴史講座」	ソウルジャパンクラブ	07.10.10～ 07.12.12	鄭 在貞（ソウル市立大学教授）を講師として10回シリーズの日韓関係史講座を開催
92	第11回ユースフォーラム	社団法人韓日未来フォーラム	07.11.16	日韓大学生対象の定期フォーラム。「JETプログラム」と「韓日の企業比較」という、二つのテーマで開催
93	ソウル日本語教育研究会主催2007冬季職務研修	ソウル日本語教育研究会	08.01.08～ 08.01.11	ソウル・京畿道地域の日本語教師40名を対象に、「次期教育課程と日本語指導」というテーマで研修を実施
94	SJC経営委員会 2007年第4回経営研究セミナー「新大統領体制での2008年韓国経済の展望」	ソウルジャパンクラブ	08.01.18	ソウルジャパンクラブがオ・ジョンナムを招き、新政府の国家経営戦略や経済政策の方向性、経営への影響等を考察する講演会を実施
95	韓日未来フォーラム 新年討論会	社団法人韓日未来フォーラム	08.01.23	「2008年国際政勢と日韓中の関係展望」をテーマに、各国の専門家による討論会を開催。討論参加者は、金 聖翰（高麗大学校教授）、沈 揆先（『東亜日報』編集局長）、出石 直（NHKソウル支局長）、堀山 明子（『毎日新聞』特派員）、尾池 厚之（在韓民国大使館公使）、徐 宝康（中国『人民日報』ソウル支局長）の各氏

	事業名	助成団体	期間	事業内容
96	瀬戸 雄三名誉博士祝賀会	韓国三田会	08.02.22	日韓経済協会会長として日韓の経済交流を中心に両国の未来志向の関係づくりに長く貢献してきた瀬戸 雄三に、その経緯、今後の展望・課題などを訊く講演会を開催。また、同氏への又石大学技からの名誉博士号授与、著書『逆境はこわくない』の韓国語版出版に対する記念祝賀会を開催
97	韓日メディアフォーラム「レンズを通して見た韓日文化交流」	社団法人韓日未来フォーラム、特定非営利活動法人・日韓文化交流会	08.03.11	写真を通してさまざまな文化交流の形態を探るフォーラム。日本の特定非営利活動法人miseru、韓国の『東亜日報』写真同好会が協力
98	日本社会文化研究会月例発表会	日本社会文化研究会	08.03.15	イ・ジョング（聖公会大学校教授）を代表に、韓国内の大学で日本地域学を主な専門とする研究者12名が結成した研究会。月例発表会では日本社会の動向と文化的特性を研究
99	SJC2008年第2回教養文化セミナー「石井 頼子氏による講演会」	ソウルジャパンプラブ	08.03.15	石井 頼子（棟方版画美術館学芸員）を講師に招いて、棟方 志功についての講演会を開催
100	小林 良彰教授による特別講演会	社団法人韓日未来フォーラム	08.03.19	日本政治学会の理事長であり、日本の選挙と政治分析の専門家である小林 良彰（慶応義塾大学教授）による講演会。「日本の政治経済の方向と日韓関係」のテーマで開催
101	SJC労働委員会2008年第1回労働セミナー「週40時間制移行を中心にした最近の労働関連実務例」	ソウルジャパンプラブ	08.03.20	ソウルジャパンプラブが、従業員20名以上の企業の週40時間制への円滑な移行に向けた実例を交えたセミナーを開催
102	第1回小林 節太郎記念基金韓国シンポジウム	富士ゼロックス株式会社小林節太郎記念基金	08.03.29	小林 節太郎（富士ゼロックス株式会社初代会長）の遺徳を記念して設立された基金の助成を受けた韓国人OB216人の有志が開催したシンポジウム。日韓の相互理解と文化交流を通じた日韓比較による同質性と異質性の発見を目的として開催
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
103	淑明女子大学校世界遺産写真展示会	淑明女子大学校	07.10.03～ 07.11.30	日本、中国、韓国を中心に「東アジア圏」の文人と文学作品・文化を扱った展示会および体験行事を開催。行事全体を通じて東アジア文学の底辺拡大や韓国文学の発展を図り、11月5日には国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵フィルム・ライブラリー『砂の女』も上映
104	第3回在外同胞映画祭	在外同胞映画祭実行委員会	07.10.04～ 07.10.07	世界各国に住んでいる韓国在外同胞が作った映画と韓国在外同胞をテーマに作られた映画を通じて韓国と各国とのつながり、歴史、文化を分かち合う映画祭を開催。ソウル日本文化センター所蔵のフィルムライブラリー作品を提供

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
105	アジア文化中心都市総合計画大国民報告会	アジア文化中心都市推進団	07.10.08～ 07.11.17	ノ・ムヒョン（大韓民国大統領）出席のもとアジア文化中心都市事業の総合計画に関する国民報告会が開催される際に、国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵の日韓世界遺産写真を展示
106	在大韓民国大使館公報文化院日本映画上映会	在大韓民国大使館公報文化院	07.11.21～ 07.11.30	在大韓民国大使館公報文化院が定期的に行っている日本映画上映会に、国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーから『あいつと私』を提供
107	国際交流基金京都支部日本映画上映会	国際交流基金京都支部	08.01.26	国際交流基金ソウル日本文化センター所蔵フィルムライブラリーの中から『檀山節考』韓国語字幕版を用いて、京都・大阪を中心に居住している外国人向けに京都支部が上映会を開催
	【その他】			
108	地方中等日本語教師支援事業（忠清北道日本語教師会セミナー）	忠道北道日本語教師会	07.04.04	「俳句を取り入れた授業活動を考える」と題して、俳句の文学的位置づけ、俳句の特徴、拍指導の参考、俳句の作り方のコツなどを紹介
109	ヨルリンサイバー大学校日本語科出講	ヨルリンサイバー大学校	07.05.12	凧つくりを通して学ぶ日本文化と日本語というテーマで、日本各地の凧を紹介した後、凧つくり体験のワークショップを開催
110	祥明大学校日本語学科学術セミナー出講	祥明大学校	07.05.25	祥明大学校日本語日文学科が合宿形式で実施した、1～4学年の学術研究発表会に出講。プログラムの最初の部分で講演を約1時間半実施。日本の伝統芸能としての歌舞伎の紹介と見方についてビデオや写真を使って講演
111	韓南大学校大学院日本語日文学科特別講義	韓南大学校	07.06.07	日本語教師を目指す大学院生を対象に、2003年版日本語教育機関調査資料を用いて世界の中での韓国の日本語教育の位置づけをテーマに講演。受講者は総勢40名
112	地方中等日本語教師支援事業（忠清南道日本語教師会セミナー）	忠清南道日本語教師会	07.06.16	「俳句を取り入れた授業活動を考える」と題して、俳句の文学的位置づけ、日本人の季節感覚、俳句の特徴、拍指導の参考、俳句の作り方のコツなどを紹介
113	地方中等日本語教師支援事業（大田日本語教師会セミナー）	大田日本語教師会	07.06.28	「俳句を取り入れた授業活動を考える」と題して、俳句の文学的位置づけ、俳句の特徴、拍指導の参考、俳句の作り方のコツなどを紹介
114	京畿道中等日本語教育研究会夏季セミナー	京畿道中等日本語教育研究会	07.07.14	「教室授業改善のための教授法」というテーマで講演。参加者42名
115	全羅南道中等日本語教育研究会夏季セミナー	全羅南道中等日本語教育研究会	07.07.14	「聴解練習について考える」というテーマで講演。参加者35名
116	京畿道1級正教師研修	京畿道教育庁	07.07.23～ 07.07.24	忠清南道教育庁が実施する1級正教師研修に出講。日本語教授法に関するテーマで講演

	事業名	助成団体	期間	事業内容
117	忠南教育庁教員職務研修	忠清南道教育庁	07.07.30	忠南地域の中等学校日本語教師の職務研修に出講。「授業のドリルについて考える」をテーマに講演
118	京畿道外国語教育研修院主催中等日本語教師深化課程	京畿道外国語教育研修院、筑波大学留学生センター	07.08.29～ 07.09.28	京畿道外国語教育研修院が筑波大学と共催で京畿道地域の高校日本語教師44名を対象に日本語と教授法の研修を実施。国際交流基金ソウル日本文化センターが教授法科目および日本語科目を担当
119	地方中等日本語教師支援事業（江原道日本語教育研究会出講）	江原道日本語教育研究会	07.11.03～ 07.11.04	講義1「改定第七次教育課程を考えた聴解の教え方」、講義2「日本文化紹介としての俳句を取り入れた教室活動を考える」の二つのテーマで講演
120	地方中等日本語教師支援事業（京畿道日本語教育研修会冬季セミナー出講）	京畿道日本語教育研修会	07.12.15～ 07.12.16	「学内水準別授業方案モデルについて考える」というテーマで講演し、国際交流基金開発教材「エリンが挑戦」の紹介と使用例について説明

北京日本文化センター

合計額 97,062,907円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	日中画家連合展	北京	国際交流基金 北京日本文化センター	北京雅尚画廊 芸術有限公司	07.11.10～ 07.11.16	日中の画家によるグループ展を実施。
2	日中フォトコンテスト	北京	国際交流基金 北京日本文化センター	中国留学人員 聯誼会、北京 日本人会	07.11.24～ 07.11.28	「日本人の眼に映る中国、中国人の眼に映る日本」をテーマに、日本人、中国人それぞれから募集した作品を展示。
3	豊浦愛展「とこよのくに」	北京	国際交流基金 北京日本文化センター	LOSH	07.12.14～ 07.12.25	陶芸家 豊浦愛が景德鎮のアーティストインレジデンスにて制作した現代陶芸作品を展示。
4	湖北ジャパウィーク	武漢	武漢大学、湖北美術学院	日本大使館	07.12.14～ 07.12.16	日本大使館と湖北省政府の主催で、写真展や講演会等様々な事業を実施。当センターは特に世界遺産パネルの展示と声優の古谷徹氏の講演会を担当。
	【公演】					
5	J-Meeting Beijing 2007	北京	国際交流基金 北京日本文化センター、クンルン飯店	財) 音楽産業・文化振興財団	07.07.28	アニメ「機動戦士ガンダム」の音楽を手がけた藤田純二氏の講演会や日本のアーティスト2組（「樹海」と牧野由依）を迎えての音楽ライブとファンとの交流会が行なわれた。
6	演劇ワークショップ及び朗読会	北京	国際交流基金 北京日本文化センター		08.03.27～ 08.03.29	日本から舞台演劇俳優を招へいし、主に中国人（日本人留学生含む）の舞台俳優を対象としたワークショップを実施。また、招へいした俳優による朗読会を、主に日本語を学習する中国留学生を対象に実施。
	【講演・シンポジウム】					
7	日本花道講演会（在アジア・大洋州日本文化専門家派遣事業（モンゴル））	ウラン・バートル	モンゴル日本センター	駐モンゴル大使館	07.08.11～ 07.08.13	北京在住の大坪光泉・龍生派生け花家元顧問教授をモンゴルに派遣し、モンゴルの生け花愛好家、芸術家、一般市民を対象に、生け花の歴史と理論に関するレクチャーやデモ、ワークショップを開催した。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【日本語教育】					
8	巡回指導及び出講に伴う出張（ジュニア専門家／瀋陽）	阜新	遼寧省阜新市他	遼寧省基礎教育教研培训中心	07.04.01～ 08.03.31	瀋陽派遣のジュニア専門家が遼寧省内の各地を1泊～5泊の予定で巡回し、各地で1～6校の授業を見学したり、教師や学生、現地に派遣されている青年海外協力隊員と話し合うことで、情報収集に努めた
9	2007年初級・高級中学校進学校検討会経費（ジュニア専門家／瀋陽）	瀋陽	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	07.04.02～ 07.04.04	中学校、高校で日本語を教える教師を対象に、高校入試、大学入試の模擬試験を三題配布、実際に問題を解かせ、内容について解説を行った。瀋陽ジュニア専門家が講師を務めた
10	第2回全国大学日本語教師研修会	南京	南京農業大学	高等教育出版社	07.07.23～ 07.07.26	前年度から実施している全国の大学日本語教師を対象とした研修会。本年度は高等教育出版社との共催で、上海日本商工クラブ、カシオ上海などの賛助を得て南京市で実施した。148機関約200名の日本語教師が参加した
11	全国中等日本語教師研修会	北京	課程教材研究所	人民教育出版社課程教材研究所	07.08.05～ 07.08.10	2007年から使用が開始された新教科書に対応した、高校日本語教師対象の全国規模の教師研修会。人民教育出版社課程教材研究所との共催で北京で実施。全国各地の高校日本語教師95名が参加した
12	遼寧省高級中学校新教材研修会（ジュニア専門家／瀋陽）	瀋陽	遼寧省基礎教育教研培训中心	遼寧省基礎教育教研培训中心	07.08.11～ 07.08.14	2007年から使用が開始された新教科書に対応した、遼寧省内の高校日本語教師対象の教師研修会。瀋陽派遣の齊藤ジュニア専門家が講師を務めた
13	事務所主催秋季日本語教育イベント講演会	北京	国際交流基金北京日本文化センター		07.10.13	2007年10月に国際交流基金北京日本文化センター多目的ホールにて、元NHKアナウンサーによる日本語教師を対象にした講演会を実施した
14	遼寧省高級中学教師授業コンテスト	瀋陽	遼寧教育行政学院	遼寧省基礎教育教研培训中心	07.12.20～ 07.12.23	遼寧省内の高等学校の日本語教師を対象に2007年から使用を始めた新日本語教科書を素材とした模擬授業コンテストを実施。
15	地方での中等日本語教師研修会	北京	国際交流基金北京日本文化センター	人民教育出版社課程教材研究所	08.03.12～ 08.03.15	中国大学入試の日本語科目対策のための高校教師向け研修会。大学入試の模擬試験を配布、実際に問題を解かせ、解説を行った。国際交流基金北京日本文化センター常駐派遣専門家2名、瀋陽ジュニア専門家1名が講師として参加

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
16	大学日本語教師訪日研修参加者同窓会	北京	国際交流基金 北京日本文化センター		08.03.15	1993年から毎年40名浦和に招へいする本プログラムのこれまでの参加者のうち、北京、天津在住者140名を対象にした同窓会。33名が参加し、国際交流基金北京日本文化センター常駐派遣専門家、香港派遣専門家による後援を実施。
	【図書館運営】					
17	図書館リーフレット				07.04.01～ 08.03.31	新しく開館した図書館の広報のために作成し、各方面に配布。
18	図書館運営				07.04.01～ 08.03.31	約14,000冊の図書資料と約700点の視聴覚資料を所蔵するほか、20種類の雑誌、8種類の新聞を閲覧に供している。事務所移転に伴い、スペースを拡大して、2007年7月に再開館。平日の10時～17時に加え、2008年1月からは毎週土曜日の13時～17時に開館。日本語教師、日本語を学ぶ中国人大学生を中心に利用されている。
	【出版・広報】					
19	事務所チラシ				07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金及び国際交流基金北京日本文化センターの概要について、一般配布用チラシを作成。
20	日本語教師向けホームページ				07.04.01～ 08.03.31	中国国内の日本語教育情報について情報発信を行う。体系的な情報発信を行うために一部コンテンツを改良した。
21	ニュースレター				07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金事業報告や日本語学習に関する文章などを掲載したニュースレターを作成。
22	ホームページ				07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金の紹介や国際交流基金北京日本文化センター事業についての情報発信を行うホームページを運営。
	【その他】					
23	留華ネット	北京、上海、 瀋陽、西安、 大連、天津、 南京、成都、 広州、昆明	国際交流基金 北京日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	中国国内各地の大学に在籍する邦人留学生に、ボランティアとしてメンバーになってもらい、メールやミーティングを通して、留学先大学での日中文化交流活動についての情報交換を行った。また、留学生在各地で文化紹介イベントなどを行う際には、物品貸出、経費支援などを通じて協力した。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
24	お正月フェスティバル	北京	国際交流基金 北京日本文化センター		08.01.12	2008年1月に『日本のお正月』をテーマにしたイベントを開催した。もちつき、百人一首体験や、中国人学生による狂言の披露などを行った。
25	フェロー懇談会	北京	国際交流基金 北京日本文化センター		08.03.08	北京周辺の国際交流基金フェローOB50名あまりを集め、最近の基金事業について紹介するとともに、懇談を実施。
26	大平学校・北京日本学研究センター同窓会（重慶）	重慶			08.03.29	重慶市周辺に在住する日本語研修センター（通称：大平学校）及び北京日本学研究センターOBを招待し、最近の基金事業について紹介するとともに、懇談を実施。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
27	広西大学外国語学院 日本文化祭	広西大学	07.04.09～ 07.04.14	日本語学部生による朗読・スピーチコンテストのほか、日本の映画アニメの上映会、日本料理の紹介などをあわせて実施。北京日本文化センターからは小西アドバイザーが出席
28	広西大学外国語学院 日本文化祭		07.04.14～ 07.04.19	今回で3回目の学内文化祭。朗読コンテスト、スピーチコンテストの他に、日本の歌のコンサートや日本料理の試食会、茶道のデモンストレーション、日本文化に関する講義等も行なわれた。北京日本文化センターの他に、カシオ上海貿易公司、広西王子豊産林有限公司（王子製紙）が助成。当センターからは小西アドバイザーが出席し、「日本語を学ぼう」と題する講演を行なった。
29	「ファンキー末吉 & Friends 日中交流 ロックライブ」	バッドニュースレコード	07.05.04	1989年に初めて北京を訪れて以来、中国ロックの発展に尽力してきた、「アジアのドラムキング」ファンキー末吉（爆風スランプ/X.Y.Z.→Aドラマーとして有名）が、日本と中国からロックアーティストの友人を集め、「日中ロック交流ライブ」を開催する。
30	日中合同・北京児童 劇フェスティバル 「しょうぼうじどう しゃ じぶた」公演	劇団道化	07.05.12～ 07.06.10	福岡県太宰府市の児童劇団である「劇団道化」が北京市内で行う児童演劇の公演。劇場の他、市内幼稚園の巡回公演も行う。公演には、中国人の俳優も2名参加。北京公演終了後、福岡にて帰国公演を行う。
31	北京大学第二回東ア ジアフォーラム	北京大学国際関係学 院、北京大学外交学 会	07.05.12～ 07.05.13	中国有力大学の学生及び留学生代表が、2日間にわたり東アジア共同体形成や文化交流などに関する問題について討議を行い、その結果を論文集にまとめる。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
32	大連サークルオリエンテーション	大連留学生社団	07.05.12	市民サークルによる課外活動を活性化させ、大連市内で生活する様々な層（日本人留学生、日本人社会人、中国人）の人的交流、文化交流を促進することを目的に開催するサークル説明会。大連市内の文化団体（サークル）が一堂に会し、主に学生に向けてその活動を紹介・アピールする。参加団体は大連市内で活動する文化・娯楽・スポーツ団体（但し全参加団体中3分の1以上は中国人団体とする）。
33	三校交流日本語スピーチ大会	北京郵電大学	07.05.13	前年度に引き続き北京大学、北京郵電大学、河北師範大学が3校の日本語学部生の日本語力向上と交流を図るため開催した。北京日本文化センターからは藤村職員が審査員として出席
34	甘肅省第1回日本語コンクール	蘭州理工大学	07.05.19～ 07.05.20	甘肅省内の教育機関9校が参加し、日本語暗誦、スピーチコンテストの他、日本文化に関する講演や日本文化の紹介、学生主体の文化的活動が合わせて実施された。北京日本文化センターからは小西日本語教育アドバイザーが出席した
35	北京外国語大学日本文化祭	北京外国語大学	07.05.21～ 07.05.27	北京外国語大学を会場とし、北京外国語大学、北京大学、日本の早稲田大学との共催で行われる日中交流文化祭。開幕式では、それぞれの大学の学生が、音楽演奏などの公演を行う他、茶道体験などを開催。
36	中日非言語コミュニケーション研究国際シンポジウム	中国海洋大学	07.05.23～ 07.05.25	日中文化の相違による非言語コミュニケーションの現状についてのシンポジウム。40数名の参加者の他、北京日本文化センターからは小西アドバイザーが出席
37	桜花杯日本語作文コンクール	南昌大学	07.05.26	第10回目にあたる本年度は南昌大学および日中文化研究所が主催。
38	広西日中文化祭	広西師範大学	07.06.02～ 07.06.03	桂林で活動している青年海外協力隊のメンバーを中心に、日本語学習者（学生）及び市民を主な対象として、日本文化紹介のイベントを開催する。広西師範大学が主催し、駐広州総領事館他が協力。
39	中山市小欖実験高級中学第7回日本語スピーチ大会	小欖実験高級中学	07.06.16	第7回目の今回は「日本語を勉強して思った事」をテーマに申請機関所属の高校生10名が出場した
40	北京大学「日本経済論」特別講演	北京大学政府管理学部政治経済学科	07.06.20～ 07.06.23	北京大学全学向け「日本経済論」コースに九州産業大学教授（名古屋大学名誉教授）の山田鋭夫先生をお招きし、学部生や院生に「市場経済多様化と日本経済の位置」についての講演。
41	心霊的低語～日本アニメの大御所宮崎駿作品音楽会	中央音楽学院	07.06.23	中央音楽学院の学生による、宮崎駿アニメ作品音楽の演奏会。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
42	飯澤耕太郎日本写真講演	三影堂撮影芸術センター	07.06.28	北京在住の写真家グループ榮榮&映里により、新しく写真美術専門の美術館である三影堂撮影芸術センターが開館した。ここでは、写真美術の展覧会を開催する他、情報集積・発信機能を持たせ、中国で初めての写真専門美術館としての活動を予定している。開館展覧会として、中国写真史（回顧）展を開催を計画しており、合わせて写真美術に関するシンポジウムも開催する。シンポジウムの際に、日本の著名な写真美術評論家飯澤耕太郎氏を招き、講演会を開催。
43	論文集「儒教と東アジアの近代」出版	中国社会科学院哲学研究所	07.07.04～ 07.10.30	2004年3月に東アジア各国の「近代化」過程における儒教の変容・再構成の姿を明らかにするため中国社会科学院哲学研究所が国際シンポジウムを開催した（基金知的交流会議助成により支援。）。東アジアの近代において、「儒教」がどのような働きを成したのかを検証し、またその検証を通して東アジアの現代について研究した。当論文集はその成果を広く社会に還元することを目的として出版するものである。
44	「日本高等教育近代化研究」出版助成	厦門大学日本語教育研究センター	07.08.01～ 07.08.31	日本近代の高等教育制度、思想、教育課程などについて総合的に分析を行った呉光輝博士の博士論文の出版。
45	第五回学生のための国際ビジネスコンテスト---OVAL Beijing 2007	OVAL CHINA	07.08.07～ 07.08.13	日中韓の学生がビジネスプランを競い合う国際ビジネスコンテストである。自国で予選を経た三カ国の学生は自国の他の参加者と分けられ、日本、中国、韓国各国から一人ずつの3人チームでビジネスプランを作成させるコンテストであった。コンテスト本番以外には各関連分野からの専門家を招き、セミナーやレクチャーなども行われた。共通語は英語であった。
46	Asian Body展覧会	Asian Body展覧実行委員会	07.08.11～ 07.09.09	中国人建築ユニットTCAと、東京に拠点を置くISSHO建築設計事務所が参加し、国際的な感覚を持つ新しい世代のアジア人建築家による新しいアジア的身体を表現することを試みた展覧会。
47	京論壇2007	京論壇北京大学実行委員会	07.08.25～ 07.09.02	東京大学と北京大学の学生が、両校を相互訪問し、『環境』、『経済』、『歴史』、『安全保障』の4分野に焦点をあて、議論を行う。議論は、英語で行い、最後に経過、結果を発表する。昨年からはまったプロジェクトの2年目。北京大学側の責任者は、留華ネット北京代表メンバーが務めている。
48	日本イメージ、中国イメージ形成に関する日中共同研究	社会科学院新聞与伝播研究所メディア調査センター	07.09.01～ 07.12.31	日中国交35周年を記念する日中文化・スポーツ交流年の今年に日中間の文化交流が盛んに行われている。そのなかで、中国国民の対日感情の変化、日中文化交流の拡大が人々の対日イメージ・日本観への影響をについて、世論調査で明らかにし、それを踏まえて、日中文化交流のあり方について提案を行う。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
49	第2回SGRA北京大学論壇	北京大学外国語学院	07.09.15	関口グローバル研究会 (SGRA) の主催で、緑の地球ネットワーク (GEN) と北京大学、新疆大学の共催で15年間山西省大同市の黄土高原で緑化運動を続けている認定NPO法人緑の地球ネットワーク事務局の高見邦雄氏による「黄土高原緑化協力の15年間：無理解と失敗から相互理解と信頼へ」をテーマにする講演会が実施される。
50	第1回SGRA新疆大学論壇	新疆大学研究生院	07.09.17	関口グローバル研究会 (SGRA) の主催で、緑の地球ネットワーク (GEN) と北京大学、新疆大学の共催で15年間山西省大同市の黄土高原で緑化運動を続けている認定NPO法人緑の地球ネットワーク事務局の高見邦雄氏による「黄土高原緑化協力の15年間：無理解と失敗から相互理解と信頼へ」をテーマにする講演会が実施される。
51	日中学生交流事業 Autumn Bird	日中学生交流団体 freebird	07.09.20～ 07.09.25	日本の関東、関西、そして中国の上海に支部を持ち、活動している日中学生交流サークル『freebird』が主催する学生の交流事業。
52	Japan Now	JAPAN NOW実行 委員会	07.09.26～ 07.10.02	日本の現代舞台芸術を発信してきている『Japan Now』事業として、前衛劇団OM-2が上海で開催される『越界芸術祭』に参加した。
53	上海ジャズバンド訪 日事業	R PRODUCTION	07.10.05～ 07.10.10	上海で活動中の中国若手ジャズバンド『Possibilities』の初訪日公演。横浜市で開催される第15回「横浜ジャズプロムナード」に出演する他、洗足学園音楽大学学生との交流ライブなどを開催した。
54	吉林地区中学生日本 語コンクール	吉林省永吉県朝鮮族 第一中学校	07.10.20	吉林省永吉県朝鮮族第一中学校を会場に吉林地区内の日本語教育の活性化を目指して開催。吉林省内の朝鮮族中学5校が参加、スピーチの部・演目の部をあわせて全体で39名の学生が参加。北京日本文化センターからは吉田ジュニア専門家が審査員として出席した
55	国際会議「朝鮮半島 情勢と北東アジアの 平和と安全」	中国社会科学院 ア ジア太平洋研究所	07.10.26～ 07.10.29	朝鮮半島が重大な転換期を迎えている時期に、中国社会科学院アジア太平洋研究所が主催団体として、中国、アメリカ、日本、ロシア、韓国、北朝鮮など六カ国の主要なシンクタンク約30名の著名な専門家を北京へ呼んで、北朝鮮核問題など六カ国協議で議論されている諸問題について各政府の政策情報を交換し、六カ国協議をよりよく進展させる。
56	「将棋」出版	人民体育出版社	07.11.01	日本将棋の中国での普及に尽力してきた李民生氏の著による将棋の書籍発行。
57	寧夏大学日中友好文 化祭	寧夏大学	07.11.03～ 07.11.04	寧夏大学の主催により、浴衣体験や剣道デモなど日本文化を紹介した。北京日本文化センターからは、日本語教育アドバイザーが出席し、浴衣を貸し出した。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
58	第二回東アジアの文化アイデンティティの形成と日中韓連携の方策に関する共同シンポジウム	中国社会科学院日本研究所	07.11.15～ 07.11.16	昨年度九州大学で開催された第1回のシンポジウムに引き続き、今回はソウルで、ほぼ同じテーマで学術シンポジウムを開催する。幹事校は韓国の東国大学校で、中国社会科学院、九州大学との共催である。日中韓の共通文化や政治問題に詳しい知識人による講演の外、文化、経済連携、高齢化、医療倫理、環境の5つの分科会を開催し、3カ国の現状や連携の可能性について意見交換を行う。分科会では、環境分科会を新しく加え、昨年度の課題をさらに発展させるほか、最近の情勢を踏まえた新しいトピックも取り上げる。
59	講演会「日本のアニメ制作の現場から」(南京)	南京大学	07.11.23～ 07.11.25	江蘇ジャパンウィークの一環として、南京大学で、日本のテレビアニメプロデューサーの講演会を行った。
60	日本における農業共同組合についての研究	中国社会科学院社会政策研究中心	07.12.12～ 07.12.19	中国新農村建設に向けて、農民組織による農村現代化の例としての日本農協に関する訪日調査の第二陣。
61	遼寧大学日本文化祭	遼寧大学	07.12.16	遼寧大学に留学している日本人留学生を中心として、もちつき、浴衣試着体験などの日本文化紹介イベントを行った。
62	広東美術館シンポジウム「浮遊するモダニズム」	広東美術館	07.12.23～ 07.12.24	中国と日本の美術交流史に関するシンポジウムを、日本からの研究者を招へいして行った。
63	演劇公演事業「日本劇作シリーズ公演5<TRANCE-変形人間に関する実地考察>」	三十路組	08.02.21～ 08.03.02	鴻上尚史作「TRANCE」を、香港と日本の演劇人が共に作り上げ、香港にて上演。
64	日中社会起業家交流プロジェクト	グローバル・リンク・イニシアティブ	08.03.01～ 08.03.31	社会的に公益性のある事業を企業の形態をとって実施する社会企業（ソーシャル・ベンチャー）の日本における活動事例を、インターネット上で中国語で紹介するプロジェクト。
65	「西学東漸と東アジア近代新語新概念」シンポジウム	北京大学日本語言文化学部	08.03.22	中国、日本、韓国などから関連の学者が参集し、西洋概念の東洋化と漢字文化圏における新語彙の交流や普及に関するテーマで発表と討論を実施。
	【後援事業】			
66	第3回日中青年交流活動		07.04.08	日本の留学生と中国人学生による交流会。全部で約100名が参加。日本大使館の公使を招き、講演会を開催した他、お互いの文化を紹介する出し物も披露された。北京事務所のホールを会場として、提供した。
67	中日友好シンポジウム「地球市民を目指して！！」	湖南師範大学国際交流処、湖南日本人会	07.05.19	『地球市民を目指して』と題したシンポジウムを開催した他、大学生や社会人によるスピーチや自由討論などを行った。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【会場提供】			
68	日中演劇人座談会	R PRODUCTION	07.12.08	当センター多目的ホールにて、日中の演劇人が、「海と日傘」に見る日中文化論や、日中演劇の変遷についての座談会を実施。
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
69	国際関係学院「日本・フランス文化祭」	国際関係学院	07.05.15	国際関係学院で外国語を学んでいる日本語学科、フランス語学科の共同主催による文化祭。事務所からは、浴衣、日本玩具、写真パネル「日本の世界遺産」の貸出を行った。
70	中国人民大学『北京市日本語風采コンテスト』	中国人民大学	07.05.18	日本語を学習する学生が、3人一組で出し物を行うイベント。事務所からは、審査員として日本語教育ジュニア専門家が参加した。また、文化備品の日本玩具を貸し出した。
71	成都ふれあいの場夏祭り	広島・四川中日友好会館「成都ふれあいの場（中日交流之窗）」	07.06.17	成都ふれあいの場で夏祭りを開催。普段、運営にボランティアとして携わっている日本人留学生を中心に企画、運営。北京事務所からは浴衣の貸出を行った。
72	北京第二外国語学院演劇大会	北京第二外国語学院	07.06.23～ 07.06.27	北京第二外国語学院で日本語を学習する大学生による演劇大会。国際交流基金北京日本文化センターからは、浴衣の貸出を行った。
73	北京国際スポーツ映画週間	北京	07.07.08～ 07.07.15	スポーツをテーマにした映画の上映会。日本の作品は、「Shall we dance?」「ウォーターボーイズ」を上映。
74	日本文化祭（北京科技職業学院日本語学院）	北京科技職業学院日本語学院	07.08.14～ 07.08.21	北京科技職業学院日本語学院で日本語を学んでいる学生による文化祭。国際交流基金北京日本文化センターからは、浴衣の貸出を行った。
75	人民大学日本語学部新入生歓迎会	人民大学日本語学部	07.09.18～ 08.09.20	中国人民大学の日本語学科新入生歓迎会。国際交流基金北京日本文化センターからは浴衣や日本玩具などの文化備品貸し出しを行った。
76	北京第二外国語学院運動会	北京第二外国語学院	07.10.16	北京第二外国語学院で開催された運動会。国際交流基金北京日本文化センターからは、浴衣の貸出を行った。
77	北京大学国際文化祭	北京大学	07.10.20	北京大学に留学中の外国人学生が、自国の文化を紹介する国際文化祭。国際交流基金北京日本文化センターからは日本からの留学生たちに浴衣の貸出を行った。
78	江西農業大学南昌商学院日本文化祭	江西農業大学南昌商学院	07.10.26～ 07.10.28	日本語学科の学生の更なる日本文化理解と日本語力の向上、他学部生への日本文化紹介を目的に開催。国際交流基金北京日本文化センターからは浴衣の貸し出しを行った。

ジャカルタ日本文化センター

合計額 139,770,586円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	日本とインドネシアの絆～日本インドネシア水彩画展～	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		07.04.23～ 07.05.04	インドネシア水彩画家協会と東富有(あずま ふゆう)・日本国際水彩画院代表による共同水彩画展を開催し、絵画60点を展示
2	写真展 日本の世界遺産	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		07.06.08～ 07.06.27	「写真展 日本の世界遺産」を開催し写真家三好和義の作品61点を展示するとともに、京都・奈良や姫路城等の日本の世界遺産をテーマとしたDVD 4作品を常時上映
3	ネオ・ピオン「アスフェガの世界展」	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー		07.07.20～ 07.08.02	若手芸術家支援事業「ネオピオン」の一環として、ジャカルタ出身の新進美術家アスフェガによる水墨画展を実施し、新旧作併せ29点を展示
4	「平和運動媒体としての文章」インドネシア女性参画センター討論会	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.08.15	インドネシア女性参画センターは、ジャカルタ日本文化センターにて「平和運動媒体としての文章」をテーマに討論会を開催した。スピーカーには、日刊コンパス紙記者ニヌック=マルディアナ氏、「ダ・ベチ・コード」作者ベン=ソヒブ氏。モデレーターを都市の下層階層支援に携わるフェルディ=ファビアン氏が務めた
5	「京都」写真展	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		07.10.22～ 07.11.02	写真家高崎勝二氏の写真集『そうだ、京都、行こう。』の作品30点を展示するとともに、写真展とあわせて作品についての感想文を募集
6	OKINAWA文化紹介週間	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.11.05～ 07.11.09	ジャカルタ日本文化センターは、インドネシア人エイサー集団「うーまくエイサーしんか」と共催で沖縄文化紹介事業を実施した。今回行ったのは、写真展・映画上映・討論会・エイサーワークショップとその発表会としてのエイサー公演。エイサーワークショップは2日間に渡り実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
7	ネオ・ピオン「絵画との対話」展	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センターミニギャラリー	ファリースタジオアートスクール	07.11.09～ 07.11.23	若手芸術家支援事業「ネオピオン」の一環として、自閉症の作家3名の絵画約60点を展示すると共に、ジェフレイ＝サントの創作風景を写したDVDを常時上映
8	第12回日伊児童画展	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		08.02.06～ 08.02.13	首都圏地域の幼稚園児から中学生を対象に「私の海」をテーマに作品を募集し優秀作を展示するとともに、養護学校とジャカルタ日本人学校からも同じテーマで作品を集め、全部で約300点を展示
	【公演】					
9	「FRAGILE」オクティ＝ブディアティ&サイコソマティックプロジェクト実験舞踊公演	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		07.04.04	若手芸術家支援プログラム「ネオピオン」の一環として同センター内ホールにてオクティ＝ブディアティ&サイコソマティックプロジェクト実験舞踊公演を開催した
10	パフォーマンス・クラブ・ジョグジャカルタ	ジョグジャカルタ	Dusun Gemblangan、Sewon、Bantul		07.04.25～ 07.04.29	ジョグジャカルタにおいてパフォーマンス・アート・フェスティバルを実施し、日本国際パフォーマンス・アート・フェスティバル代表の霜田誠二氏も日本から参加
11	「冷静と情熱のあいだ——Rosso」演劇実験室タンジュンスニジャカルタ公演	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		07.05.07～ 07.05.08	江國香織・辻仁成が書いた同じ物語のうち、江國香織版を演劇化し、演劇実験室タンジュンスニジャカルタ公演を実施
12	オペラシアターこんにゃく座ジャカルタ公演	ジャカルタ	TIMテアトル・クチール		07.05.16～ 07.05.17	オペラシアターこんにゃく座東南アジアツアーを実施し、マレーシア、インドネシア、ベトナム、タイ及びラオスにおいて、新作オペラ「ピノッキオ」の公演を実施
13	トゥナス・ムダ劇団 綾の鼓	ジャカルタ	ジャカルタ芸術劇場	トゥナス・ムダ	07.05.31	三島由紀夫原作「綾の鼓」を高校生劇団トゥナス・ムダ劇団が、インドネシア語で上演した。演劇上演のほか、関連事業として映画上映、音楽の演奏も実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
14	「踊りに行くぜ!!!」ジャカルタ公演	ジャカルタ	ゲーテハウス	クローラ財団、ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク	07.09.02～ 07.09.06	日本の各都市で開催されている「踊りに行くぜ!!!」の東南アジアツアーの一環として、ジャカルタ公演を実施した。今回は日本の若手ダンサーの紹介を行った
15	オランダ・インドネシア・日本 コンテンポラリーダンス共同制作	ジャカルタ	ジャカルタ芸術劇場	グマラン・サクティ	07.09.05	オランダ人振付家ジェラルド・モステルド氏とインドネシア人振付家ボーイ・G・サクティ氏によるコンテンポラリー・ダンス共同制作作品に、日本人ダンサーが参加する旅費に対し協力
16	「消えた仮面」劇団キパス公演	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール	劇団キパス	07.09.26	ジャカルタ芸術大学の卒業生を中心に旗揚げし、ジャカルタを中心に多くの舞台を手がけている、劇団キパスによる『消えた仮面』を上演
17	「ゼファとジャズのひと時を」ゼファジャズピアノコンサート	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター		07.11.20	若手芸術家支援事業「ネオピオン」の一環として、バンドウン在住の新進ジャズピアニスト・ゼファニャ=プトラ（ゼファ）のソロコンサートを開催
18	「月下咆哮」劇団態変金満里ソロ公演	ジャカルタ	TIMテアトル・クチール		08.01.30～ 08.01.31	障害者劇団「態変」の主宰者である金満里を招へいし、ソロ作品「月下咆哮」の公演を実施
【講演・シンポジウム】						
19	アジア・フォーラム	デボック	インドネシア大学日本研究センター	インドネシア大学日本研究センター	07.04.26	インドネシア大学日本研究センターと共催で、シンポジウム「アジア・フォーラム」を実施
20	日本研究巡回セミナー（インドネシア大学大学院）	ジョグジャカルタ、スラバヤ	各地大学日本研究センター	ガジャマダ大学、スラバヤ国立大学	07.05.28～ 07.06.05	インドネシア大学大学院地域日本研究科学科長が、地域間ネットワーク強化のためジョグジャカルタ及びスラバヤにて日本研究セミナーを実施
21	「RONIN」出版記念討論会	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール	Mata Hati出版社	07.05.29	赤穂浪士47士をテーマにした小説「RONIN」の出版を記念して、47士についての討論会を実施
22	漫画「ブッダ」出版記念討論会	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール	KPG出版社	07.07.11	手塚治虫の作品「ブッダ」のインドネシア語版刊行を記念して、日本の漫画についての討論会を実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
23	「ゴジラから現在に至る怪獣映画の歴史」四方田犬彦講演会	ジャカルタ	シネマテーク・インドネシア、インドネシア大学日本研究センター、ジャカルタ芸術学院	シネマテーク・インドネシア、インドネシア大学日本研究センター、ジャカルタ芸術学院	07.08.29～ 07.09.13	明治学院大学教授四方田犬彦氏講演会を、「日本映画史」、「ゴジラから現在に至る怪獣映画の歴史」及び「かわいい論」をテーマとして実施
24	自転車で世界一周！ 地球体験が教えてくれた本当の「自分」 冒険家坂本達講演会	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール	学習塾ファイ	07.09.09	在留邦人子弟を主な対象として、自転車冒険家で早稲田大学客員教員の坂本達氏の講演会を実施
25	インドネシア日本研究協会広報業務支援	デボック	-	インドネシア日本研究協会	07.09.10～ 08.03.31	インドネシア日本研究学会本部と地方支部とのネットワークの強化や発進力を高める目的で、同学会ホームページ開設費用を支援
26	日本及びインドネシアの政治に関するシンポジウム	デボック	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール	ジャカルタ日本文化センター、インドネシア大学大学院日本地域研究科、ハビビ・センター	07.09.12	インドネシア大学大学院日本地域研究科に派遣された菅英輝客員教授による公開セミナーを行った。タイトルは、「『普通の国』に向かう日本とインドネシア外交」
27	ウブド作家フェスティバルへの協力	バリ	Pondok Pekak Library	ウブド作家フェスティバル	07.09.25～ 07.09.27	ウブド作家フェスティバルの公式プログラムの一つとして、漫画家 前山まち子氏が漫画のワークショップを開催するにあたり、旅費の一部について協力
28	前山まち子 ミャンマーにおける漫画ワークショップ及びレクチャーデモンストレーション	ヤンゴン	ホテル・日航ミャンマー	在ミャンマー日本国大使館	07.12.16～ 07.12.19	インドネシアで活躍する漫画家 前山まち子をミャンマーに派遣し日本の漫画に関する紹介事業を実施
29	日本研究ワンデーセミナー及びフェロー懇談会	デボック	インドネシア大学日本研究センター	インドネシア日本研究協会	08.02.04	インドネシアの日本研究者間及び研究機関間のネットワーク強化を目指し、インドネシア日本研究協会（ASJI）と共催で開催する1日セミナー。各大学の日本研究センターの代表者及び基金元フェローを集め、インドネシア大学各地の大学で研究を進める若手研究者に対し、研究発表の場を提供

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
30	インドネシア及び日本文学に関するセミナー	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール	クローラ財団	08.02.16	文学愛好者のメーリングリスト Apresiasi Sastra (APSAS) の創設3周年を記念して、日本文学及びインドネシア文学に関するセミナーを実施
	【映画】					
31	シネマ・キャラバン (ジャカルタ近郊対象)	ジャカルタ	ジャカルタ近郊の中等教育機関	各中等教育機関	07.04.01～ 08.03.31	ジャカルタ近郊の中等教育機関を訪問し、映画上映会、折り紙教室等の日本文化紹介事業を実施
32	定期映画上映会	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		07.04.01～ 08.03.31	ジャカルタ日本文化センター多目的ホールにおいて、フィルムライブラリーの作品上映会を開催
33	在留邦人向け映画上映会「二つの故国をつなぐ歌～Diva 早春賦をうたう～」	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール	ジャカルタ新聞	07.05.10	日本とインドネシア・アチェの交流を描いたドキュメンタリー映画「二つの故国をつなぐ歌～Diva 早春賦をうたう～」の上映会を開催
34	『初戀』上映会及び写真展	ジャカルタ、バリ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール、ブリッツメガプレックス、エラスムスハウス、Q!バー		07.08.25～ 07.09.02	インドネシア国内3カ所で、『初戀』(2007年、今泉浩一監督)を上映したすると共に、田口弘樹氏による本映画写真およびH I V啓発写真の展示も開催
35	第4回インドネシアアニメ映画祭2007	ジャンビ	タマンブダヤアレナ劇場、タラタックランカンブダヤ劇場、ジャンビ第31専門高校	インドネシアアニメ映画祭事務局	07.10.28～ 07.11.04	スマトラ島ジャンビ州にて第4回インドネシアアニメ映画祭2007を開催し、「NITABO」を上映
36	アジア・アフリカ映画祭	バンドン	ブリッツメガプレックス	インドネシア外務省	07.12.06～ 07.12.08	アジア及びアフリカの映画にフォーカスを当てたアジア・アフリカ映画祭において、「NITABO」の上映

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
37	シネマ・キャラバン (マカッサル)	マカッサル	ハルモニ劇場、パンキエジェン第1高校、マカッサル第3高校	ハルモニ劇場、パンキエジェン第1高校、マカッサル第3高校	08.03.19～ 08.03.23	マカッサルにおいて、映画上映会を実施すると共に、折り紙教室等を実施
	【教室事業】					
38	囲碁教室	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的教室		07.04.01～ 08.03.31	ジャカルタ在住の囲碁愛好家や囲碁を学んでみたいという人たちのために、毎週金曜日16:30～20:00まで囲碁サロンを開催
39	スクール・ビジット	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的ホール		07.04.01～ 08.03.31	首都圏地域の高校大学その他教育機関より学生らの訪問を受け入れ、基金の活動を紹介するとともに、図書館見学や折り紙等の日本文化実演、日本映画鑑賞などを実施
40	第4回フレンドシップカップ囲碁大会	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター	日本人囲碁将棋クラブ	07.05.20	囲碁を通じて日本とインドネシアの友好親善を図るために、日本人・韓国人とインドネシア人棋士による個人トーナメント戦を3つのクラスに分けて実施
41	生け花教室		国際交流基金ジャカルタ日本文化センター多目的教室	生け花インターナショナル	07.06.08～ 07.09.28	一葉流の生け花講師による生け花教室を3カ月間実施するとともに、コースの終了に際しては、受講生による生け花展覧会も開催
42	第1回全インドネシア囲碁選手権大会	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター	インドネシア囲碁協会	07.06.30～ 07.07.01	ジャカルタ首都圏のみならず、メダンから2名・バンドンから2名・ジョグジャカルタから2名を含む総勢40名の選手が参加し、国内で初めて全国規模の囲碁大会を実施
43	東南アジア体育大会 (SEA GAME) 出場予選囲碁大会	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター	インドネシア囲碁協会	07.11.04	インドネシア囲碁協会と共催で、東南アジア体育大会囲碁の部への出場予選大会を開催した。タイのバンコクにて行われる東南アジア体育大会では今回始めて囲碁がエキシビジョンゲームとして認定。その出場権をかけた32名の囲碁選手が参加した

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
44	第5回4カ国 対抗国際親善 囲碁大会	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日 本文化セン ター多目的 ホール	日本棋院、デ ンソーインド ネシア、ジャ かるた新聞、 日本人囲碁将 棋クラブ、イ ンドネシア囲 碁協会、韓国 囲碁協会、力 亭、アニメイ ンダイダー	07.12.14～ 07.12.16	日本棋院の向井梢恵初段を審査委員長に招き、インドネシア人・日本人・中国人・韓国人囲碁愛好家による囲碁大会を開催するとともに、囲碁愛好家の底辺の拡大を目指し、インドネシアの若者向けに囲碁教室を開催
	【日本語教育】					
45	日本語教育学 会西ジャワ支 部支援	バンドン	ウィディアタ マ大学		08.01.19	日本語教育学会西ジャワ支部が発行する学会誌『WA』の発刊支援、及び同支部主催のセミナーに対する講師派遣の支援を実施
46	大学定期訪問	ジャカルタ	各大学		07.04.01～ 08.03.31	当センター所属派遣専門家による首都圏地区所在大学への定期訪問を実施。情報交換、日本語教育に関する助言を行った
47	高校日本語教 師会 (MGMP) 支 援	8都市	各地高校		07.04.01～ 08.03.31	インドネシア教育省語学教員研修所から承認を受けた高校日本語教師会(MGMP)の活動を資金面やソフト面(ジュニア専門家の出講)で支援を実施。今年度は北スマトラ、西スマトラ、ジャカルタ及び周辺地域、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8つのMGMP活動が対象
48	インドネシア 日本語教育研 究会	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日 本文化セン ター		07.04.01～ 08.03.31	当センターが母体となって設立したインドネシア日本語教育研究会において、高等教育機関日本語教師向けに日本語及び日本語教授法の研究会を実施
49	日本語講座	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日 本文化セン ター		07.04.01～ 08.03.31	ジャカルタ及び近郊の日本語学習者(中級以上)を対象に実施している1年間の日本語学習講座。3コース(中級、上級1、上級2)を設置。毎年5月に募集し、6月に入試・面接を行い、8月から授業を実施。2名の日本人講師と2名のインドネシア人講師が指導にあたった

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
50	弁論大会全国大会高校生の部	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.04.07	日本語を学習している高校生の学習意欲向上及びレベルアップを目的として実施する弁論大会。ジャボデタベック地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地方大会優秀者13名をジャカルタ集め競い合った。本大会の上位入賞者は基金主催の高校生日本語学習者奨励研修、もしくはJ S A日本語スピーチコンテストの参加資格を得て訪日した
51	平成19年度第1回ジュニア専門家会議及び中等教育支援会議	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.04.09～ 07.04.10	2007年4月9日、国際交流基金ジャカルタ日本文化センターにて実施。出席者は同センタースタッフと同国地域派遣ジュニア専門家6名とセンター派遣専門家2名、メダン地域派遣専門家1名、センターインドネシア人講師2名。各ジュニア専門家から①地域の日本語教育の現状、②2006/2007年活動評価、③2007/2008年の活動提案、活動方針を発表。問題点を捉えながら、現実に沿った日本語教育支援を検討した
52	普通高校日本語教師基礎研修（パダン）	パダン	パダン教員研修所		07.05.07～ 07.05.19	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修。国際交流基金ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師（センターから）2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指した
53	日本語弁論大会一般の部（首都圏地区大会）	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.05.12	日本語弁論大会全国大会の地区予選会（ジャボデタベック地区）、当該地区から3名が全国大会へ出場した
54	日本語教育学会南スラウェシ支部主催セミナー開催	マカッサル	ハサヌディン大学		07.05.26	2日間にわたって行われたインドネシア日本語教育学会南スラウェシ支部主催セミナーを実施。ジャカルタ日本文化センターから日本語教育派遣専門家1名が講師として参加。同支部は昨年12月に設立されたばかりで、今回のセミナーは初めてのものであった。参加者約20名の中には大学講師だけではなく高校教員の姿も見られた

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
55	日本語教育学会中部ジャワ・ジョグジャカルタ特別州支部支援	ジョグジャカルタ・スマラン	ディアン・ヌサワントロ大学		07.06.30	日本語教育学会中部ジャワ・ジョグジャカルタ特別州支部が実施するセミナーに対し、派遣専門家及びジュニア専門家を派遣することにより支援を行う
56	普通高校日本語教師基礎研修(ロンボク)	ロンボク	ロンボク教員研修所		07.07.10～ 07.07.23	国家教育省初等中等教育局語学教師研修所との共催して実施する普通・宗教高校教員向け基礎研修を実施。ジャカルタ日本文化センターからはジュニア専門家2名、インドネシア人専任講師(センターから)2名が出講。日本語能力試験4級程度の教師20名に対し日本語運用能力及び教授法の向上を目指した
57	日本語弁論大会一般の部(全国大会)	ジャカルタ	サヒッド・ジャヤ・ホテル		07.07.14	今年度で37回目を迎える日本語弁論大会(一般の部)を実施。インドネシア各地(スマトラ、ジャカルタ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、スラウェシの7地域)での予選を勝ち抜いた14名がジャカルタで競い合った。1、2位入賞者は(社)在外企業協会主催のアセアンスピーチコンテスト(日本で実施)に参加した
58	日本語教育学会ジャボデタベック支部支援	ジャカルタ	バクアン大学		07.08.04	バクアン大学と共催し、大学日本語教員の教授法向上を目的とした日本語教育学会ジャボデタベック支部が実施するセミナーを実施、派遣専門家を講師として派遣した
59	ジャボデタベック地区初級教授法研修	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター		07.08.20～ 07.08.23	ジャボデタベック地区の高等教育機関・民間講座講師向けに「初級の教え方を振り返るとともに導入・基本練習が実際できるようになる」を目的とした初級教授法研修を実施。当地講師が発表原稿を準備して講演する形式。発表原稿作成の際には当センター派遣専門家が随時助言を行った
60	インドネシア共和国外務省入省日本語試験	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター		07.09.23	インドネシア外務省より入省試験のうち、外国語部門日本語試験の作成・実施を依頼され、日本語能力試験2級程度の試験を作成及び実施
61	平成19年度第2回ジュニア専門家会議及び中等教育支援会議	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター		07.09.24～ 07.09.25	インドネシア各地に派遣されているジュニア専門家がジャカルタに集まり、各地域における中等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の中等教育レベルにおける業務方針に関する討議を実施

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
62	日本語教育専門家会議及び高等教育支援会議	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.09.26～ 07.09.27	インドネシア各地に派遣されている専門家がジャカルタに集まり、各地域における高等教育レベルの日本語教育事情に関する報告、及び今後の高等教育レベルにおける業務方針に関する討議を実施
63	平成19年度教材寄贈プログラム教材授与式	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.10.04	ジャカルタ近郊及び西ジャワ州の採用機関の代表に、ジャカルタ日本文化センターホールにて教材授与式を実施
64	インドネシア日本語教育学会（ジャボデタベック支部）大学日本語学科長会議	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.10.31	ジャボデタベック支部内12大学の日本語学科長を集め会議を開催し、今後の方針等を検討する会議を実施
65	日本語能力試験	ジャカルタ	各地大学及び高校		07.12.02	当地7か所で実施される日本語能力試験の共催者に対し、情報交換や助言などの協力を行った
66	ジャボデタベック地区文法一日セミナー	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.12.08	「文法分析力の向上と知識の拡充」を目的とし、テーマは「使役」。若手大学教員に発表の場を提供し、文法項目を自ら学び、それを他教員に分かりやすく発表して頂くセミナーを実施
67	日本語教育学会本部支部支援	スラバヤ	1945年8月17日大学		07.12.15～ 07.12.16	日本語教育学会本部が主催するセミナー（今回のテーマは「アンケート」）に対し、日本語教育専門家を通じた支援を実施
68	高校日本語教師向け日本語日本文化研修	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		07.11.13～ 07.11.14	私立ピナヌサントラ大学と共催、参加者30名に対し、日本語OS搭載PCでの日本語教材作成についての研修を2日間実施
69	2008年度インドネシア中等教育日本語教師研修事前研修	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		08.01.14～ 08.01.25	インドネシア教育省との共催で、2006年度から5カ年計画で、計100名の高校日本語教師を日本に送り、国際交流基金日本語国際センターで約7週間の日本語・日本事情研修を行うプログラム。今年は2年目、各地域から選抜された30名の教師がジャカルタに集まり、2週間にわたって事前研修を行った。30名の事前研修参加者から最終的に20名が選抜され、4月中旬に日本へ向けて出発する

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
70	インドネシア人向け日本留学フェア	ジャカルタ	ジャカルタ・コンベンション・センター		08.02.10	独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が主催するインドネシア人向け日本留学フェア。当該フェアには日本から9つの大学、7つの専門学校の他、在インドネシア日本国大使館、インドネシア元日本留学協会、インドネシア大学日本研究センターなど25のブースが設けられる。ジャカルタ日本文化センターも知名度向上のためブースを設け、事業活動の紹介や日本文化紹介事業を実施
71	普通高校日本語教師継続研修(ジャカルタ)	ジャカルタ	語学教師研修所		08.02.11～ 08.02.23	2008年2月11日～23日にかけて基礎研修修了者を対象に、日本語及び日本語教授法の研修を2週間実施。センターから日本語教育専門家1名とジュニア専門家2名、インドネシア人講師1名も講師として出講した
72	第6回漢字カップ	スラバヤ	タマン・ブダヤ		08.03.08	東ジャワ州スラバヤで、在スラバヤ総領事館、国際交流基金、元留学生協会東ジャワ支部、国際文化交流センター、じゃすみんなが共催して実施。同州各地やジャカルタ、バンドン、ジョグジャカルタなどから日本語を学習するインドネシア人学生、134名が参加し、早押しクイズや書き取り問題で漢字能力を競った
73	ジャポデタベック地区初級教授法フォローアップ研修	ジャカルタ	国際交流基金ジャカルタ日本文化センター		08.02.26～ 08.02.28	前回実施した初級教授法研修に参加した大学教員及び民間講座講師を対象に、フォローアップ研修を実施
74	日本語弁論大会(高校生の部)地方予選大会	ジャカルタ	各地大学		08.03.01～ 08.03.25	日本語を学習している高校生の日本語学習意欲向上、日本文化紹介の一環とした第6回高校生日本語弁論大会を実施。インドネシアの8地区で開催される予選に勝ち抜いた優秀者がジャカルタで実施される全国大会に出場した。予選大会が実施されるのはジャカルタ及び周辺地区、北スマトラ、西スマトラ、西ジャワ、中部ジャワ、東ジャワ、バリ、北スラウェシの8地域。予選大会の計画・実施・運営は各地域の高校日本語教師会が執り行っている

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
75	日本語履修高校生向け日本関連進路推進フェア	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		08.02.19～ 08.02.21	日本語を履修している普通高校の生徒向けに日本語関連進路推進フェアを実施。同フェアでは、現在、仕事に就いている日本語履修卒業生による体験談、日本語学科を有しているジャカルタ近郊の10大学の日本語学科長等代表者による説明会（ブースを設け参加者に対し資料配布や大学案内を行う）を行った
	【情報発信】					
76	エッセイ・コンテスト				07.04.01～ 07.08.01	平成18年度に実施したエッセイコンテストで入賞した作品を集めて合冊版を作成し関係者に配布
77	ウェブサイト運営				07.04.01～ 08.03.31	ジャカルタ日本文化センターの紹介や催し案内のために、ウェブサイトの運営を実施
78	NUANSA				07.04.01～ 08.03.31	ジャカルタ日本文化センターの催し案内及び来日した関係者のエッセイ等を紹介する広報媒体NUANSAを隔月発行した
79	『EGAO』（日本語事業広報誌）発行				07.04.01～ 08.03.31	インドネシアの日本語教育機関向けに日本語事業情報誌『EGAO』を年4回発行した
80	プログラム・ガイドライン関連経費				07.08.01～ 07.12.20	国際交流基金のインドネシア向けプログラムを紹介することを目的として、インドネシア語版のプログラムガイドラインを作成
81	日本研究ジャーナル「MANABU」			ジャーナル「MANABU」事務局	08.01.10	日本研究ジャーナル「MANABU」は、インドネシアの日本研究者の研究成果をインドネシア及び海外へ発信することを目的とした研究雑誌であり、製本経費の一部を負担
	【図書館運営】					
82	図書館運営	ジャカルタ	国際交流基金 ジャカルタ日本文化センター		06.04.01～ 07.03.31	年間来訪者約19,095名、資料数26,501点、会員数は1,079名。水曜日以外の平日午前9時半より18時、奇数週土曜日の午前9時より12時半まで開館

バンコク日本文化センター

合計額 127,345,853円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	ファッション ～クロスカル チャーズ	バンコク	アリアンセ・ フランセー ズ・バンコク	アリアンス・ フランセー ズ・バンコク	07.04.23～ 07.04.26	タイ、マダガスカル、フランス、そして日本と各国の若手中堅デザイナーが集結し、ワークショップとショーを実施。日本から参加したファッションデザイナー木本建徳氏に関わる渡航費を負担した
2	京都日本庭園 写真展	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース		07.06.04～ 07.07.27	平安時代初期に造園された京都最古の庭園神泉苑（池泉舟遊庭園）から昭和の著名な作庭家重森三玲による瑞峯院（枯山水庭園）にいたるまで、千二百年にもわたる日本庭園の歴史が凝縮されたカラー写真40点の展示
3	Recycled Memories	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース		07.09.06～ 07.09.27	Recycled Memories と題した Jarupatcha Achavasmitatによる、さまざまな織物素材を利用した繊細なインスタレーション作品展
4	阿部恭子展	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース		07.10.06～ 07.11.01	1996年来タイ以降数々の作品を制作・発表しているタイ在住のアーティスト阿部恭子によるインスタレーション作品展
5	中谷翠泉展	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター アートスペース		07.11.08～ 07.11.29	古代中国の甲骨文字や金文についての長年にわたる研究をふまえ、独自の書の世界を切り開いてきた女流書家、中谷翠泉の作品展
6	瀬戸正人写真 展	バンコク	Hギャラリー	Hギャラリー	08.02.02～ 08.03.29	現代日本を代表する写真家のひとり瀬戸正人による写真展。瀬戸氏はタイ人を母としてタイ東北地方で生まれ育った。日本のみならずアジアを中心に数多くの作品を発表し高い評価を得ている。今回は最新作から一部を紹介した
7	児童ポスター 展	バンコク	在タイ大使館 泰日協会学校 日本人会タイ 文化センター	在タイ大使館	07.12.04～ 07.12.27	日タイ修好120周年記念事業の一環として、両国間の交流を更に深め、友好親善関係を促進することを目指し、タイ在住の日タイの児童による図画・ポスターコンクールの入選作の展示を開催した

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
8	こんにゃく座 東北巡回公演	バンコク, ナ コンラチャシ マー, コンケ ンウドンタ ニー	国際交流基金 バンコク日本 文化セン ター、ナコン ラチャシマー ラチャパッド 大学、コンケ ンコミュニ ティーセン ター、ウドン タニーラチャ パッド大学	オペラシア ターこんにゃ く座	07.05.23～ 07.05.27	オペラシアターこんにゃく座による小規模編成の公演「ピノッキオ」。バンコク、ナコンラチャシマー、コンケン、ウドンタニーと巡演した
9	「踊りに行く ぜ！！2007」	バンコク	パトラワディ シアター	Japan Contemporary Dance Network	07.08.17～ 07.08.19	日本のダンスNPO法人Japan Contemporary Dance Network主催による「踊りに行くぜ！！」東南アジア版の第1回目。日本の若手中堅のダンサーたちにタイのLifeWork Dance Company (Pichet Klunchun主宰) が加わり公演を実施、また複数回ワークショップを実施
10	沢井箏曲院コ ンサート	バンコク	タイ文化セン ター小ホール		07.11.28	沢井比河流・一恵と沢井箏オーケストラ。江戸時代に箏曲の形を作り上げた“近代箏曲の祖”八橋検校による曲や現代箏の偉大な奏者・作曲家沢井忠夫による曲など、歴史的な背景に目配りした演奏会を実施
	【講演・シンポジウム】					
11	四方田犬彦氏 レクチャー	バンコク	チュラロンコ ン大学	チュラロンコ ン大学コミュニ ケーション 学部、日本財 団	08.03.12	チュラロンコン大学コミュニケーション学部映画学科の教官・学生等を主対象に「現代日本映画について 三島由紀夫を中心として」と題する特別講義を実施
12	猪口孝中央大 学教授セミ ナー	バンコク	ロイヤルプリ ンセスホテル	J S N	07.11.08	タイの日本研究者ネットワーク会議において「日本政治の動向 東アジア統合への影響について」と題し特別レクチャーを実施した
13	フェローセミ ナー	バンコク	チュラロンコ ン大学	チュラロンコ ン大学社会科 学研究所	08.02.15	水俣を事例に環境保護の問題をとりあげ、日タイのNGO、NPO関係者を中心に討議した

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【映画】					
14	日本映画祭 2007	バンコク	Grand EGV Siam Discovery Center	BIOSCOPE (映画専門誌) , EGV	08.01.18～ 08.01.25	国際交流基金本部所蔵作品の中から、日本映画の黄金時代であり、秀作が多く生れた50年代初めから60年代前半にかけての作品10本を選び、上映。クロサワ、オズ以外のタイであまり知られていない監督たちの名作を上映
15	JFシアター	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター ホール		07.04.01～ 08.03.31	毎月テーマを定め、毎週金曜日、第1・第3火曜日の18:30及び最終土曜日の15:00から定期的に開催する日本映画の上映会。原則として、タイ語字幕付きで上映。
	【日本語教育】					
16	日本語教師集 中研修会	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.23～ 07.10.19	バンコクでの教師研修に参加が困難な地方在住の日本語教師を主な対象に、学期休みの4月及び10月を利用した短期集中型の研修を実施。前期研修会は4月23日～5月4日に、後期研修会は10月8日～19日に開講
17	日本語教師水 曜研修会	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.06.06～ 08.02.27	日本語能力が比較的高いタイ人日本語教師を主な対象に、教授法に重点をおいた研修会を実施。前期は6月6日～9月12日、後期は11月14日～2月27日に開講。前後期各15回実施
18	日本語教師土 曜研修会	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.06.09～ 08.02.23	日本語能力試験3・4級のタイ人日本語教師を主な対象に総合日本語と教授法の研修会を実施。前期は6月9日～9月15日、後期は11月10日～2月23日に開講。前後期各15回実施
19	日本語教育通 信教育講座	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	中等学校現職教員日本語教師新規養成講座第10期生を対象にフォローアップ研修として日本語能力試験3級対策講座を実施
20	邦人日本語教 師教授法等研 修会	バンコク	泰日経済技術 振興協会	泰日経済技術 振興協会	07.05.14～ 07.05.25	タイ国内の公的教育機関において日本語教育に携わることが決定している日本人で、教授経験1年未満の経験の浅い日本語教師に対する研修会。タイにおける日本語教授法の基礎習得を目的とした、日本語教授法の基礎やタイの日本語教育に関する講義を実施
21	中等学校現職 教師新規養成 講座	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター	タイ教育省	07.04.01～ 08.03.31	タイの高校で日本語教師が不足している状況を解決するため、他教科の高校教師に日本語と日本語教授法を習得を目的とした研修を実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
22	日本語講座運営(一般講座)	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	日本語中・上級レベルの学生・一般社会人対象とした日本語講座。本年度は、通訳・翻訳コースなどの専門的なコースと、総合的な能力向上を目指すコースなど合計18コース19クラスを設定。前期は6/5～9/15、後期は11/6～2/23に開講
23	教材普及事業	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	タイの日本語教育事情に合わせた教材開発を実施
24	日本語教育広報誌『タウン』の発行	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	タイ日本語教育機関及び日本語教師向けニューズレターを年4回作成・配布。印刷部数は各1,800部
25	紀要発行	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	タイの日本語教育に関する研究結果を共有するため、タイの日本語教育に特化した紀要を年1回発行。本年度は、8月に「日本語教育紀要第4号」を700部印刷し、タイの日本語教育関係者に配布
26	日本語教育コンサルティング	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	コース運営やシラバス策定など、日本語教育に関する相談を随時実施
27	日本語教育セミナー(第1回)	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.08.04	教科書開発のプロセスについてカセサート大学のプランニー氏の講演を実施
28	日本語弁論大会	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	在タイ日本国大使館やタイ国元日本留学生協会などとの共催で、タイ国全土を対象とした弁論大会を実施
29	北部タイ中等日本語教師研修会	チェンマイ	ユパラート高校	ユパラート高校	07.04.01～ 08.03.31	北部タイに派遣中の日本語教育専門家(ジュニア専門家)による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。受講者の事情に合わせ、金曜日と土曜日の2日開講。通年で各16回実施
30	講師室図書整備	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	タイ国内の日本語教師への情報提供を目的に主に日本で発行される日本語教育関連書籍を収集
31	日本語教育セミナー(第2回)	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		08.03.05	『エリンが挑戦! にほんごでできます。』を使用した教室活動について日本語国際センターの築島史恵講師の講演を実施
32	日本語教育セミナー(第3回)	バンコク	国際交流基金 バンコク日本 文化センター		08.03.13	誤用分析について広島大学の迫田久美子氏とタマサート大学のタサニー氏の講演を実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
33	日本語教育派遣専門家連絡会議	バンコク	国際交流基金 バンコク日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	タイ国内で活動するJF本部派遣の日本語教育専門家及びジュニア専門家が一堂に会し、活動報告と計画を発表するとともに、情報交換や問題共有・解決を実施
34	広域活動強化事業(日本語)	バンコク	国際交流基金 バンコク日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	バンコク日本文化センターの広域活動対象国であるラオス、カンボジア、ミャンマー、ベトナムの各国に対する事業として、タイへの①「教師研修への招へい」、②「セミナーへの招へい」、③「講師の派遣」などを実施
35	東北タイ中等日本語教師研修会	ウドン	ウドンピタヤスクーン高校	ウドンピタヤスクーン高校	07.04.01～ 08.03.31	東北部タイに派遣中の日本語教育専門家(ジュニア専門家)による周辺のタイ人日本語教師向け週末セミナーを実施。前期は関係機関を個別に訪問し参加者の教授能力等を確認し、セミナーは後期に開講
	【図書館運営】					
36	図書館運営	バンコク	国際交流基金 バンコク日本文化センター 図書館		07.04.01～ 08.03.31	2007年度第2四半期末現在、蔵書規模(日本語図書(日本語教材含む)14,163冊、英語図書5,631冊、タイ語図書2,945冊、DVD99枚、ビデオ1,361本、CD書籍・音楽CD588枚、カセット661セット)の図書館を運営。タイにおける日本研究学者や日本語教師をはじめ、広範な利用者の用に供した
	【出版・広報】					
37	広報強化事業				07.04.01～ 08.03.31	マスコミ関係者との個別懇談などを実施
38	季刊広報誌『Japan Letter』発行				07.04.01～ 08.03.31	本広報誌は文化交流に関する記事や事業の活動報告。季刊、英語・タイ語、1600部。2007年度は54号(4-6月)、55号(7-9月)、56号(10-12月)、57号(1-3月)を発行した
	【その他】					
39	広域活動強化事業	ヤンゴン	ホテルニッコー	在ミャンマー日本国大使館	07.09.08	フルート(松島氏)と箏(坪井氏)の演奏会。在ミャンマー日本国大使館の要請にもとづき、広域事業の一環として実施。演奏内容は日本の歌曲を中心に実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【本部事業受入】					
40	現代日本の陶磁器展	チェンマイ	チェンマイ国立博物館	同左	07.04.05～ 07.04.26	日本の陶芸界において近年注目すべき活躍を示している中堅の作家の作品約70点を紹介する展覧会。
41	第10回アジア漫画展	ナコーンシータマラート／バンコク	R I ナコーンシータマラート／国際交流基金バンコク日本文化センター	同左	07.08.08～ 07.08.22	前年度本部が日本国内で実施した事業の海外巡回。テーマは環境問題
42	自然に潜む日本写真展	バンコク／チェンマイ	サイアムソサエティ／チェンマイ大学	同左	08.01.09～ 08.01.31	グラフィックデザインや写真、建築、評論などじつに多岐にわたる活動、業績により内外で高い評価をうけ多数の受賞歴を有する矢萩喜從郎による写真展。モノクロ写真85点より構成
43	塩谷哲グループJAZZコンサート	バンコク	タマサート大学講堂	タマサート大学東アジア研究所	07.11.14	ジャズはもとよりクラシック、ポップスに意欲的な音楽活動を展開するピアニスト・塩谷哲（しおのや・さとる）をリーダーに、多彩な音楽ジャンルで活躍する新進気鋭のミュージシャンにより新たに結成されたグループによるジャズコンサート

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
44	小規模助成 Asiatopia International Performance Art Festival	Concrete House	07.11.08～ 07.11.11	タイを含むアジア、欧米各国の優れたパフォーマンス・アーティストを招へいし、タイにおけるこの分野の紹介、振興、アーティストをつなぐネットワーク形成を図るアートフェスティバル
45	小規模助成 Tadu Contemporary Art/5 The Story (R)	Tadu Comtemporary Art Center	07.09.03～ 07.09.09	クリエイティブな日タイ演劇交流を目指し、日タイの俳優計10名が事前のワークショップを経て創りあげた小作品5つ（各作品は約20分）を上演。会場はTADU Contemporary Art Center
46	小規模助成 120 Years Relations/Variou Thai-Japan families	東南アジア青年の船 協会	07.09.17～ 07.09.23	日タイ修好120周年を記念し、日本人・タイ人の夫婦（家族）の肖像をテーマにした写真展
47	小規模助成 SPAFA Regional Centre	東南アジア文相機構 考古芸術センター (SEAMEO- SPAFA)	07.11.28～ 07.11.30	東南アジア域内の異文化・宗教間の理解と協力、平和構築について議論する国際シンポジウム。日本から招へいされた講師の新垣修氏（志學館大学法学部助教授）の渡航費を助成

	事業名	助成団体	期間	事業内容
48	小規模助成 Conference on ASEAN at 40: From Cradle to Charter	チュラロンコン大学 安全保障・国際問題 研究所	07.08.28	ASEAN事務総長のSurin Pitsuwan氏を基調講演者に招き、ASEANのこれまでの40年間のあゆみ、ASEANが現在抱える問題点、将来のASEAN統合深化にむけた方策を議論する国際会議を開催
49	小規模助成 ラン シット大学ジャパン フェア	ランシット大学	07.11.23	ランシット大学が行う日本語コンテストに対する経費助成を実施。バンコク周辺の高校を対象にした日本語コンテストで、絵、スピーチ、歌、クイズのコンテストを実施
50	小規模助成 第1回 東北部 タイ高校日 本語コンテスト	東北部（北地域）タイ 高校日本語コンテ スト実行委員会	08.01.11	東北部（北地域）タイ高校日本語コンテスト実行委員会が実施する、日本語コンテストに対する経費助成を実施
51	小規模助成 第4回 北部タイ 高校日本 語コンテスト／北部 日本語教師会	北部タイ中等教育日 本語教師会	08.02.08	北部タイ中等教育日本語教師会が実施する年1回の日本語コンテストに対する経費助成。様々な活動を通じた日本語の運用能力向上を目指しており、スピーチ、朗読、聴解、クイズのジャンルに分けて実施
52	ラチャパット日本語 教師会	ラチャパット日本語 教師会	08.01.26	ラチャパット日本語専攻大学生を対象にした日本語コンテストに対する経費助成を実施。12のラチャパット大学が参加して、日本語のスピーチコンテストと日本に関するクイズ大会を実施
53	OJSAT北部支部 第3回北部タイ大学 日本語スピーチコン テスト	タイ国元日本留学生 協会北部支部 (OJSAT北部支部)	08.02.09	タイ国元日本留学生協会北部支部と在チェンマイ日本国総領事館の共催で実施する日本語スピーチコンテストに対する経費助成。本年度は第3回目で、タイ北部の大学で日本語専攻学科を有する多くの大学が参加
54	J T A T日本語ドラ マコンテスト	J T A T（タイ国日 本語日本文化教師協 会）	08.03.22	J T A T（タイ国日本語日本文化教師協会）が実施する、タイの高校生・大学生による日本語ドラマ（日本語劇）コンテストへの経費助成
	【会場提供】			
55	施設開放		07.04.01～ 08.03.31	日本語教育に関するセミナー等への教室貸出
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
56	文化備品貸出し		07.04.01～ 08.03.31	所有する文化備品を、日本文化紹介などのイベントを行う公的な機関や日本語を学習する中等学校・大学の文化祭（日本祭）などに貸出
	【その他】			
57	文化事業協力	パヤップ大学タイ日 センター	07.11.01～ 07.11.30	パヤップ大学日本センターが開催した日本映画祭に、バンコク日本文化センター所管の日本映画フィルムを提供

クアラルンプール日本文化センター

合計額 90,669,388円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	田中真聡展覧会『時紡』	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター Galeri Petronas	Galeri Petronas	07.04.10～ 07.05.13	KLCCのGaleri Petronasで開催した、アーティスト田中真聡によるキネティック・アートの展覧会
2	『そうだ、京都に行こう』写真展	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター		07.06.12～ 07.07.28	国際交流基金ジャカルタ日本文化センターが所有する、京都の風景写真パネルセット（タイトル：『そうだ、京都に行こう』）を、国際交流基金クアラルンプール日本文化センターギャラリースペースにて展示。武者小路千家茶道デモンストレーションとの関連事業として実施
3	広島原爆写真パネル展	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター		07.08.01～ 07.09.01	広島の原爆写真パネルの所有者（マレーシア在住）よりパネルを借り受け、同パネルの展覧会を国際交流基金クアラルンプール日本文化センターギャラリースペースにて8月に開催
4	こけし展	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター		07.11.06～ 07.12.28	国際交流基金クアラルンプール日本文化センターが所蔵するこけし展セットの展覧会を、同センターギャラリースペースにて実施
5	日本マレーシア児童画展	クアラルンプール	クアラルンプール市立図書館	クアラルンプール市教育局 クアラルンプール市立図書館 メアサカ文庫	07.11.12～ 07.11.17	日本のNPO法人、メイあさかセンターが過去20年に渡って開催している、朝霞市を中心とした日本の子供達の絵画とマレーシア各地の小中学生の絵画から構成された展覧会。小中学生を中心に1,727人が来場。会場では折り紙ワークショップなど関連イベントも実施
6	『Super Fiction』展 by Ise	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター		08.03.11～ 08.05.03	平成19年度文化人短期招へいプログラムにて日本に招へいたRoslisham Ismail（芸名：Ise）が、日本で撮影した写真を使用したコラージュ作品の展覧会

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
7	オペラシアターこんにゃく座公演『ピノキオ』	クアラルンプール	The Actors Studio@BSC	オペラシアターこんにゃく座	07.05.12～ 07.05.13	オペラシアターこんにゃく座東南アジアツアー（インドネシア、タイ、ラオス）の一環としてクアラルンプールで公演。ピノキオのストーリーに基づき、日本語に適宜マレー語を混ぜ、ピアノのみの伴奏によるシンプルな構成でのオペラ。2日間3回公演で来場者計598人
8	現代舞踊公演 パパタラフマ ラ『三人姉妹』	クアラルンプール	Pentas 2, Kuala Lumpur Performing Arts Centre	Kuala Lumpur Performing Arts Centre	07.07.24～ 07.07.25	チャーホフの戯曲に発想を得て作られた現代舞踊作品を上演。2回公演で来場者380人
9	現代舞踊公演 『踊りに行く ぜ!!』	クアラルンプール	The Actors Studio@BSC	NPO法人 ジャパン・コ ンテンポラ リーダンス・ ネットワーク 在マレーシア 大使館	07.08.10～ 07.08.11	日本を代表するダンサー4組（Ko & Edge Co.、康本雅子、身体表現サークル、ほうほう堂）の作品を紹介。マレーシアからも2組（Amy Len, A. Aris A. Kadir）の作品を上演。国立芸術文化遺産アカデミーでのワークショップ、クアラルンプール日本文化センターでの両国ダンス関係者のディスカッションも実施。2回公演で入場者258人
10	英語落語公演	クアラルンプール ペナン	The Actors Studio@BSC Dewan Budaya, USM	マレーシア科学大学芸術学部 在ペナン総領事館 在マレーシア大使館	07.08.18～ 07.08.19	日本マレーシア友好年関連事業としてペナン（マレーシア科学大学、1回公演）とクアラルンプール（The Actors Studio@BSC、3回公演）で実施。古典、新作を交え、英語による落語解説も挟みながらの公演。クアラルンプールでは、日本語による公演1回を含め3回公演で569人が来場。
11	フルーツフェスティバルin マレーシア	クアラルンプール	Pentas 1, Kuala Lumpur Performing Arts Centre	Kuala Lumpur Performing Arts Centre 在マレーシア大使館	07.09.08～ 07.09.09	日本、マレーシア両国のプロとアマチュアを交えたフルーツ演奏家が一堂に集まり、様々な種類のフルーツからなるオーケストラを編成し演奏。日本のアンサンブル「ミ・ベモル」も参加。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
12	現代舞踊公演 珍しいキノコ舞踊団『3mm くらいズレてる部屋』	クアラルン プール	Pentas 2, Kuala Lumpur Perfroming Arts Centre	在マレーシ ア・オースト ラリア大使館 在マレーシア 大使館 珍しいキノコ 舞踊団	07.10.19～ 07.10.21	日豪交流年（2006年）記念事業「オーストラリアー日本ダンスエクステンジ」において、珍しいキノコ舞踊団（日本）と舞台美術家 Justin Caleo（オーストラリア）による共同制作作品の公演を在マレーシア・オーストラリア大使館との共催により実施。公演終了後にCaleoによる舞台美術ワークショップと、そこで製作された舞台美術を使用しての伊藤千枝（珍しいキノコ舞踊団）によるダンスワークショップを実施。
13	沖縄舞踊公演	クアラルン プール	クアラルン プール市役所 大ホール	沖縄文化民間 交流協会 在マレーシア 大使館	07.11.03～ 07.11.04	沖縄文化民間交流協会が組織する沖縄舞踊グループを招へいし、伝統から現代まで、沖縄の音楽と舞踊を紹介。
14	沢井箏曲院公 演	クアラルン プール	Malaysia Tourism Centre	在マレーシア 大使館 沢井箏曲院	07.11.30～ 07.12.01	世界的に有名な箏演奏家、沢井一恵、比河流を中心としたアンサンブルの公演。古典から現代曲まで、バラエティに溢れた構成。来場者は2回公演で640人
	【映画】					
15	定期日本映画 上映会	クアラルン プール	Malaysia Tourism Centre	Malaysia Tourism Centre 在マレーシア 大使館	07.04.01～ 08.03.31	主に東アジアフィルムライブラリー所蔵の16mmフィルムより作品を選択し、毎月第1・第3土曜日にMalaysia Tourism CentreのMini Auditoriumにて上映会を開催
16	日本映画祭	クアラルン プール ペタリン・ ジャヤ ペナン	GSC Midvalley GSC One Utama GSC Gurney Plaza	Golden Screen Cinemas Sdn. Bhd.	07.08.23～ 07.09.02	本映画祭は、2004年にスタートし4回目。上映作品は『武士の一分』、『花よりもなほ』、『リンダリンダリンダ』、『パッチギ』、『バーバー吉野』、『かもめ食堂』、『いつか読書する日』、『感染』の8本
17	サバ大学日本 映画上映会	コタ・キナバ ル	サバ大学	サバ大学日本 文化クラブ	08.02.16～ 08.02.17	マレーシア・サバ大学（UMS）日本文化クラブが実施する日本文化祭に併せ、日本映画4本を1回ずつ上映。作品は『Shall We ダンス?』、『はつ恋』、『森の学校』、『ウォーターボーイズ』

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【日本語教育】					
18	学校・機関訪問				07.04.01～ 08.03.31	主に、平成19年度日本語国際センター教材寄贈や国際交流基金クアラルンプール日本文化センター小規模日本語教材寄贈の教材を届けるため寄贈先機関を訪問。その他、地方の大学などが行なう日本文化の日などのイベントにも出席、学校長や日本語教師と面談して日本語教育の意義をアピールしたりニーズ調査を実施したほか、過去にも教材寄贈を行なっている機関では、教材の利用方法や管理状況などについてモニタリングも実施
19	浦和研修事前オリエンテーション	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	日本語国際センターの海外日本語教師研修に参加する教師に対して事前オリエンテーションを行い研修内容の説明をおこなうとともに、帰国後の報告会を視野に Personal Mini Project (PMP) を設定させて事前準備を支援するなど、研修をより実り多いものとしてもらうための手助けとして実施。平成19年度については計5名が対象。
20	シンガポール・ブルネイネットワーク形成				07.04.01～ 08.03.31	シンガポールおよびブルネイとのネットワークを強化し、クアラルンプール日本文化センターの行なうセミナーなどの教師支援事業や日本語能力試験をはじめとする各種本部事業をより一層有効なものとするため、両国の日本語教育機関の訪問や日本語関係事業を視察、関係者と懇談
21	中等教育日本語教師地域セミナー(南部)	ジョホール・バル	Sekolah Tun Fatimah	マレーシア教育省	07.04.17～ 07.04.18	中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。南部地域の参加者は14人

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
22	高校生日本語弁論大会	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館／マレーシア日本人商工会議所／クアラルンプール日本人会／マレーシア教育省／東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)／マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)／在ペナン総領事館	07.04.28～ 07.04.29	2004年から開始して今年で4回目。全寮制中等学校、民間日本語学校などで日本語を学習している15歳から18歳までの高校生を対象に実施。応募者23名から原稿審査で選ばれた10名の出場者によるスピーチ。最優秀賞はエデュケーション・ガーディアンシップ・プログラム主催の第12回JASスピーチコンテストに、特別賞2名は関西国際センターの「日本語学習者訪日研修（高校生）」に参加。当日の来場者は約70人
23	日本語教育地域セミナー（北部）	ペナン	ペナン日本語協会	ペナン日本語協会	07.05.05～ 07.05.06	国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。教授法をとりあげる1日目（ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象）と、日本語力向上を目的とした2日目（主にノンネイティブが対象）で構成。1日目が「～んです」2日目が「終助詞『よ』『ね』『よね』」をテーマに実施し、参加者はそれぞれ22人、16人
24	中等教育日本語教師地域セミナー（中部）	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター	マレーシア教育省	07.05.16	中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。中部地域の参加者は12人
25	中等教育日本語教師地域セミナー（東海岸）	クアantan	Sekolah Menengah Sains Sultan Haji Ahmad Shah	マレーシア教育省	07.06.13	中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。東海岸地域の参加者は8人

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
26	百人一首デモンストレーション	クアラルンプール	クアラルンプール日本文化センター	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ) / マレーシア工科大学高等専門学校予備教育センター (PPKTJ) / 帝京マレーシア日本語学院 (IBT) / 日本マレーシア高等教育大学連合プログラム (JAD)	07.06.16	当時バンコク在住のストーン睦美 (クルンテープかるた会主宰) の来馬機会を捉え、予備教育機関の学生を対象に実施。講師によるかるた及び百人一首に関するレクチャーと競技かるたデモンストレーションの後、参加者は実際に百人一首の散らし取りを体験。予備教育4機関から約40名が参加
27	日本語教育地域セミナー (東マレーシア)				07.06.30～ 07.07.01	国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。教授法をとりあげる1日目 (ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象) と、日本語力向上を目的とした2日目 (主にノンネイティブが対象) で構成
28	中等教育日本語教師地域セミナー (北部)	スンガイ・ブタニ	Sekolah Menengah Kebangsaan Che Tom	マレーシア教育省	07.07.17～ 07.07.18	中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。北部地域の参加者は12人
29	日本語弁論大会 イポー大会	イポー	Hotel Excelsior	ペラ馬日友好協会 / 在ペナン総領事館	07.08.04	平成19年度は21回目。本年度は日馬友好年を記念して全国大会では滞日歴に制限のある General Class と滞日歴無制限の 2007 Special Class を設けたが、イポー大会には Special Class 出場の該当者がいなかったため、General Class の上位2名が全国大会に出場。出場者は8名

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
30	日本語弁論大会 一般の部 (KL地区大会)	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館/マレーシア日本人商工会議所/クアラルンプール日本人会/マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)/東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)/在ペナン日本総領事館	07.08.05	1985年から始まって23回目。例年は過去5年以内の滞日経験を90日以内に制限しているが、平成19年度は日馬友好年を記念して、例年どおりの制限がある「General Class」に加え滞日歴無制限の「2007 Special Class」を特設。General Class では応募者19名のうち原稿審査で選ばれた6名が出場し、上位2名が全国大会に進出。2007 Special Class の出場者4名は全員が全国大会に進出。当日の来場者は約90人
31	日本語弁論大会 一般の部 (全国大会)	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	在マレーシア大使館/マレーシア日本人商工会議所/クアラルンプール日本人会/マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)/東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)/在ペナン総領事館	07.08.25～ 07.08.26	1985年から始まって23回目。例年は過去5年以内の滞日経験を90日以内に制限しているが、平成19年度は日馬友好年を記念して、例年どおりの制限がある「General Class」に加え滞日歴無制限の「2007 Special Class」を特設。地区予選から選ばれた各クラス6名計12名がスピーチを行ない、各クラスの優勝者は社団法人在外企業協会が招へいする日本研修旅行に参加。当日の来場者は約110人
32	手巻き寿司の達人コンテスト	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール日本人会	07.08.05	日本語弁論大会の幕間に行なう小規模イベントシリーズの3回目。平成19年度日本語弁論大会一般の部 (KL地区大会) の審査会議の間に実施。マレーシア人と日本人来場者の混成チーム対抗で、用意された食材を用いて、いかに美しく美味しい手巻き寿司を作るかを競った。参加上限は20人だが、多くの観客を集め盛況
33	日本語教育地域セミナー (東海岸-南部-中部)	クアラルンプール	国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター		07.08.11～ 07.08.12	国内を北部、東海岸-南部-中部、東マレーシアの3ブロックに分け、それぞれ年1回の実施。教授法をとりあげる1日目 (ネイティブ・ノンネイティブの両方が対象) と、日本語力向上を目的とした2日目 (主にノンネイティブが対象) で構成。1日目が「～んです」2日目が「終助詞『よ』『ね』『よね』」をテーマに実施し、参加者はそれぞれ35人、14人

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
34	日本語弁論大会 ペナン大会	ペナン	Caring Society Complex	ペナン日本語協会／在ペナン総領事館／日本マレーシア協会	07.08.18	平成19年度で28回目。例年ペナン大会の上位入賞者は全国大会へ出場することになっており、本年度は日馬友好年を記念して全国大会に通常の General Class に加え滞日歴に制限がない 2007 Special Class が特設されたことから、ペナンからも両クラスに2名ずつ選出された。出場者はGeneral Class に11名、2007 Special Class に6名
35	風呂敷ワークショップ	クアラルンプール	クアラルンプール日本人会	クアラルンプール日本人会	07.08.26	日本語弁論大会の幕間に行なう小規模イベントシリーズの4回目。平成19年度日本語弁論大会一般の部(全国大会)の審査会議の間に実施。風呂敷に関するミニレクチャーの後、参加者は実際に「すいか包み」や「ツインタワー包み」などに挑戦
36	日本語弁論大会 予備教育の部	クアラルンプール	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	在マレーシア大使館／マレーシア日本人商工会議所／クアラルンプール日本人会／東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)／マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)／マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース (AAJ)／マレーシア工科大学高等専門学校予備教育センター (PPKTJ)／日本マレーシア高等教育大学連合プログラム (JAD)／帝京マレーシア日本語学院 (IBT)	07.09.08	日本語弁論大会一般の部から独立して12回目。日本の大学・高専に留学するための予備教育機関で日本語を勉強している学生(2年次まで)を対象に実施。各機関から3名選出×4機関の計12名がスピーチ。優勝者には在マレーシア大使館から大使杯が授与。本年度は予備教育機関のひとつであるマラヤ大学予備教育部日本留学特別コースで実施し、各機関からの応援の学生を多数収容。来場者は約450人

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
37	みんなの日本語フェスティバル	クアラルンプール	マラヤ大学言語学部	マラヤ大学言語学部／マレーシア日本語協会／在マレーシア大使館	07.09.08～ 07.09.09	マレーシア日本語協会、マラヤ大学言語学部、在マレーシア大使館と国際交流基金クアラルンプール日本文化センターの4者共催で行う大規模イベントの2回目。年1回実施。日本語および日本文化に関するレクチャー、日本語インプットおよび日本語を使った活動のセッション、日本文化紹介・体験コーナーから構成。約60名の日本語教師・文化体験講師がボランティアとして協力、参加者約300名
38	中等教育日本語教師地域セミナー（東マレーシア）	コタ・キナバル	Pejabat Pelajaran Gabungan	マレーシア教育省	07.09.11～ 07.09.12	中等教育の日本語教師を対象に、教授法および日本語力向上のためのセミナーを実施。マレーシア教育省との共催。国内を南部、中部、北部、東海岸地域、東マレーシア地域の5ブロックに分け、それぞれのブロックで年1回実施。現在作成中の新シラバス・新教科書を視野に入れたプログラム。東マレーシア地域の参加者は5人
39	日本語教育研究発表会・浦和研修報告会	クアラルンプール	国際言語教員養成所	国際言語教員養成所（IPBA）	07.10.27	マレーシアにおける日本語・日本語教育（学）に関する研究発表および日本語国際センターの海外日本語教師研修の参加者による報告をおこなうセミナー。年1度開催、平成19年度は4回目。公募による口頭発表2件とポスター発表3件、日本語国際センター研修参加者による口頭発表およびポスター発表を実施。参加者は約80人
40	書き初めワークショップ	クアラルンプール	国際交流基金クアラルンプール日本文化センター	クアラルンプール日本人会	08.01.26	Tham Kok San（クアラルンプール日本人会一般書道部講師）を講師に迎え、中等教育機関で日本語を学習している生徒および国際言語教員養成所に在籍している研修者を対象に実施。講師によるレクチャーと参加者の書道体験から構成。優秀な作品を表彰するとともに、全員の作品をギャラリースペースに展示。参加者は16名
41	日本語教育セミナー	クアラルンプール	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	08.03.02～ 08.03.03	毎年1回、マレーシア全域の日本語教師を対象に実施。平成19年度は「ことばと文化を組み合わせた教室活動」として築島史恵（国際交流基金日本語国際センター専任講師）および矢部まゆみ（津田塾大学非常勤講師）を講師に迎えて実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【図書館運営】					
42	図書館運営	クアラルンプール	国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	蔵書数17,720（日本語11,578、外国語6,142）、視聴覚資料2,287（DVD127、ビデオ1,348、CD369、その他443）、会員数820人、来館者数7,123人。
	【出版・広報】					
43	広報誌 TEMAN BARU発行	クアラルンプール	国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	クアラルンプール日本文化センターのニュースレターを隔月で発行。平成19年度は計6号を発行
44	日本語教育広報誌（ブンガラヤ）	クアラルンプール	国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	日本語教育専門のニューズレターで年4回発行。発行部数1,000部 マレーシア国内の日本語教師、教育機関、シンガポール、ブルネイ国内の日本語教師、機関にも配布
	【教室事業】					
45	一般日本語講座	クアラルンプール	国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	民間日本語教育機関であり開講されていない中級・上級のレベル別3クラスを開講。中級・上級レベルの学習者に学習の場を提供するとともに、中級・上級の教え方のモデルを示す場としても活用
46	日本語教師養成理論実践講座	クアラルンプール	国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター		06.04.01～ 08.03.31	日本語能力試験1級程度の日本語力を有する日本語学習者および永続的にマレーシアに在住する日本人に対し、初級日本語講座で教えることができる程度の教授能力を獲得させることを目標とする。平成18年度から始まった2年コースの2年目
47	ちりめん小物作りワークショップ	クアラルンプール	国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター		07.07.14	ちりめんの生地を素材にした小物を作るワークショップ。参加者11人
	【その他】					
48	武者小路千家茶道デモンストレーション	クアラルンプール クアラルンプール	駐マレーシア大使公邸 国際交流基金 クアラルンプール日本文化センター	在マレーシア大使館 武者小路千家官休庵	07.06.14～ 07.06.15	日本から招へいた武者小路千家官休庵グループによる茶道レクチャーデモンストレーションを、国際交流基金クアラルンプール日本文化センターの和室を利用して実施。関連事業として『そうだ、京都に行こう』写真展も併催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
49	在アジア・大 洋州日本文化 専門家派遣事 業：ブルネイ 邦楽	バンドルスリ ブガワン	ブルネイ大学 ホール Library, Sek. Men. Awang Semaun	在ブルネイ大 使館 ブルネイ日本 友好協会 ブルネイ大学	08.03.12～ 08.03.13	クアラルンプール日本人会邦楽部所属 の須部久子（琴の師範免状保有者）と Hafiz Othmanをブルネイへ派遣。公 演のほか学校で琴のワークショップを 実施
【本部事業受入】						
50	態変inマレー シアプロジェ クト『記憶の 森』	クアラルン プール	Pentas 2, Kuala Lumpur Performing Arts Centre	Kuala Lumpur Performing Arts Centre The Actors Studio 劇団態変	07.03.10～ 07.04.08	日本の劇団態変とマレーシアの身体障 害者による、舞台作品『記憶の森』の 3年にわたる共同制作事業（作・演出： 金満里）の最終段階
51	博報財団事業 受託（教師招 へい）	クアラルン プール	国際交流基金 クアラルン プール日本文 化センター	SBPI Temerlor Sekolah Datuk Abdul Razak SMK(P) Methodist Klang SMS Tuanku Syed Putra 財団法人博報 児童教育振興 会 マレーシア教 育省	07.04.01～ 08.03.31	財団法人博報児童教育振興会からの受 託事業を実施。3年計画事業の1年目に あたり、マレーシアからは3名の日本 語教師を日本に招へい。国際交流基金 クアラルンプール日本文化センターは 事前調査や書類等の作成・発送、同財 団からの出張者受け入れを実施
52	マラヤ大学予 備教育部日本 留学特別コー ス現地業務費	クアラルン プール	マラヤ大学予 備教育部日本 留学特別コー ス	マラヤ大学予 備教育部日本 留学特別コー ス	07.04.01～ 08.03.31	東方政策のもと日本の大学学部留学の ための予備教育を実施しているマラヤ 大学予備教育部日本留学特別コースに 日本語教育専門家13名を派遣
53	『スピリトを 写す』展	クアラルン プール	The Annexe, Central Market ペナン州立美 術館	The Annexe, Central Market ペナン州立美 術館	07.07.12～ 07.10.12	本部巡回写真展『スピリトを写す』の 展覧会。クアラルンプールでは、The Annexe, Central Marketにて7月12 日～29日の期間、マレーシアの写真家 の作品と共に'Sharing Space'と題して 実施。ペナンでは、9月20日～10月12 日にかけてペナン州立美術館にて開催

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
54	和風作りワークショップ	クアラトレンガヌ クアラランプール クアantan コタバル テメルロー	トレンガヌ州立博物館 マレーシア国立博物館 スガイソイ小学校 クランタン州立博物館 テメルロー中等学校	クランタン州立博物館 テメルロー中等学校 トレンガヌ州立博物館 パハン州立文化会館 マレーシア国立博物館	07.07.21～ 07.07.26	参加者自らが和風を作り、日本の大風、連風などと一緒に実際に揚げるというワークショップ。クアラランプールのほか、マレー半島東海岸地域の地方都市で実施
55	第11回アジア漫画展	イポー クアラ・トレンガヌ クアラランプール コタ・キナバル ジョホール・バル	ベラ州立図書館 トレンガヌ州立図書館 クアラランプール図書館 サバ州立美術館 AEON Jusco Tebrau Shopping Centre	クアラランプール市立図書館 サバ州立美術館 トレンガヌ州図書館公社 ベラ州図書館公社 マレーシア元日本留学生協会 (JAGAM) ジョホール支部	07.09.20～ 08.01.07	「アジアの若者文化」をテーマに、アジアの10カ国から1名ずつの漫画家が計75作品を製作（マレーシアからはTazidi Yusofが参加）したものを国内5か所で巡回展示
56	塩谷哲グループジャズコンサート	クアラランプール	Pentas 1, Kuala Lumpur Performing Arts Centre	在マレーシア大使館	07.11.17～ 07.11.18	ジャズはもとよりクラシック、ポップスに意欲的な音楽活動を展開し、日本の音楽シーンの次代を担う音楽家として大きな期待と注目を集めているピアニスト・塩谷をリーダーに、多彩な音楽ジャンルで活躍する新進気鋭のミュージシャン達により新たに結成されたグループによるコンサートを実施
57	日本語能力試験広報連絡会議	クアラランプール	マラヤ大学予備教育部日本留学特別コース	ベナン日本語協会 ベラ馬日友好協会 マレーシア・サバ大学 マレーシア日本語協会	08.03.03	マレーシア国内4実施機関の代表者を集め、日本語能力試験の受験者データなどをもとにマレーシア全体や各国内実施地ごとの日本語能力試験受験傾向を分析し、翌年度の広報戦略について検討
58	日本語能力試験願書データ入力	クアラランプール	国際交流基金 クアラランプール日本文化センター		07.12.01～ 08.03.31	日本語能力試験の広報戦略等に役立てるため、願書に記載されているデータを入力

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成・協力事業／助成事業】			
59	小規模日本語教材寄贈	Sekolah Menengah Jenis Kebangsaan Katholik Sekolah Menengah Kebangsaan Ghafar Baba Sekolah Menengah Kebangsaan Tinggi Perempuan Melaka Universiti Pendidikan Sultan Idris	07.04.01～ 08.03.31	日本語教育を始めたばかりで教材もなく日本語国際センターの教材寄贈プログラムを待っていたのでは授業が成立しないような機関・学校に対し、緊急に基本教材の寄贈をおこなう立ち上げ支援事業。2007年度は、SMJK Katholik, SMK Tinggi (P) Melaka, SMK Ghafar Baba, Universiti Pendidikan Sultan Idris の計4機関に寄贈
60	マルチメディア大学セミナー助成	マルチメディア大学	08.03.17～ 08.03.19	マルチメディア大学Institute of Modern Languages and Communication開催の国際セミナー。川口義一（早稲田大学大学院教授）招へいにあたり、謝金および旅費を助成。
61	シンガポール日本語教育セミナー助成	シンガポール日本語教師の会	07.10.19～ 07.10.20	シンガポール日本語教師の会が主催した「第3回日本語教育セミナー」への助成。小林ミナ（早稲田大学大学院教授）招へいにあたり、旅費、宿泊費、謝金を助成
62	マレーシアプトラ大学セミナー助成	マレーシアプトラ大学	07.08.14～ 07.08.15	マレーシアプトラ大学が開催する国際会議（MICFL2007）。川上郁雄（早稲田大学大学院教授）招へいにあたり、渡航費および宿泊費を助成
63	Notthatbalai Art Festival助成	Lost Generation Space Gallery	07.07.29～ 07.08.04	ロストジェネレーション・スペースギャラリーが主催する芸術祭に対し、反畑幸治（映像作家）を招へいする経費の一部を助成
64	障害者演劇訪日研修助成	劇団態変	07.09.01～ 07.10.08	日本・マレーシア障害者演劇交流プロジェクト（国際交流基金主催事業）のフォローアップとして、マレーシア側の中心メンバー Maryani Abdullahが研修のために訪日する渡航費の一部を助成。日本側では劇団態変が受入。
65	マレーシア国民大学国際シンポジウム助成	マレーシア国民大学	07.05.15～ 07.05.17	「言語と国家」というテーマで開催された国際シンポジウムに対し、キーノートスピーカとして招へいされた吉野耕作教授（上智大学）の招へい費の一部を助成
66	Block B	Tanjung Aru Pictures	07.03.31～ 08.04.08	ショートフィルム作品『Block B』制作（日本よりサウンドエンジニア招へい）及び日本・マレーシアのサウンドエンジニアによるワークショップ開催にかかる経費の一部助成

	事業名	助成団体	期間	事業内容
67	Games, Anime, Comic Circle (GACC) 08	マルチメディア大学 マラッカキャンパス	08.03.01～ 08.03.02	マルチメディア大学マラッカキャンパスの学生サークル、EMiNA (Exploring Magic in Anime)によるアニメ・コミックに関するイベントに対する助成。声優の森田成一（人気アニメ『BLEACH』の黒崎一護役が有名）の招へい経費を支援
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
68	文化備品貸出	Universiti Kebangsaan Malaysia School of Languages Studies and Linguistics	08.03.05～ 08.03.12	日本語教育を実施している学校の授業（浴衣デモンストラーション）に対し、文化備品を貸出
		Tsun Jin High School Japanese Society	07.04.06～ 07.04.19	Annual Co-Curriculum Dayイベントに対し、文化備品を貸出
		Sek. Men. Keb. (P) Sri Aman	07.06.27～ 07.07.02	Annual Co-Curriculum Dayイベントに対し、文化備品を貸出
		Kuen Cheng Girls' High School	07.07.03～ 07.07.11	Cultural Exhibition Fairイベントに対し、文化備品を貸出
		Perak State Library Cooperation	07.08.21～ 07.09.06	Malaysia & Japan Children's Art Exchange Programmeに対し、文化備品を貸出
		Five Arts Centre	07.09.03～ 07.09.11	‘Bunga Manggar Bunga Raya’ 舞台公演に対し、備品を貸出
		Universiti Kebangsaan Malaysia Lantern Festival Committee	07.09.07～ 07.09.13	Carnival of Jpesta Tanglung UKMイベントに対し、文化備品を貸出
		Pentas Project Theatre Production	07.09.28～ 07.10.19	‘The Lost and The Ecliptic’ 舞台公演に対し、備品を貸出
		Universiti Industri Selangor Japanese Cultural Club	07.10.26～ 07.11.09	Japanese Cultural Festivalイベントに対し、文化備品を貸出
		New Era College Japanese Club	07.10.30～ 07.11.07	Japanese Club Festivalイベントに対し、文化備品を貸出
		The Temple of Fine Arts	07.12.07～ 07.12.10	Indian Classical Dance Concertイベントに対し、備品を貸出

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
		Multimedia University (Cyberjaya Campus) Japanese Cultural Society	08.02.14～ 08.02.21	Carnival of Japan2008イベントに対し、文化備品を貸出
	【その他】			
69	中等教育シラバス改訂	マレーシア教育省	07.04.01～ 08.03.31	マレーシア教育省の依頼をうけて、中等教育新シラバス作成委員会の会議に当センター派遣専門家がアドバイザーとして参加。また完成した中学3年生および4年生用シラバスについて日本語翻訳作業に協力
70	中等教育教科書改訂	マレーシア教育省	07.04.01～ 08.03.31	マレーシア教育省の依頼を受けて、中等教育教科書作成委員会の会議に国際交流基金クアラルンプール日本文化センター派遣専門家がアドバイザーとして参加。また、教科書のドラフトに対してコメントと修正案を提出
71	中等教育日本語教師養成協力 (IPBA)	マレーシア教育省	07.04.01～ 08.03.31	マレーシア教育省の依頼を受けて、中等教育教員養成プログラムに国際交流基金クアラルンプール日本文化センター派遣専門家がアドバイザーとして協力

ニューデリー事務所

合計額 101,155,422円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
1	桂歌丸落語公演	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター		07.11.03～ 07.11.05	桂歌丸師匠、三笑亭茶楽師匠らによる落語公演を実施。2007年日印交流年事業。
2	増山美知子ソプラノコンサート	デリー	トリベニカラ サンガム劇場	ブネ印日協会	07.11.19～ 07.11.21	増山美知子ソプラノ歌手のコンサートを実施。デリー、ブネを巡回。2007年日印交流年事業。
3	沢井箏曲院コンサート	デリー	シュリラムセンター劇場		07.12.03	沢井箏曲院13名の琴コンサートを実施。バンコク、クアラルンプール、デリーを巡回。2007年日印交流年事業。
	【講演・シンポジウム】					
4	藤原帰一教授講演会	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター		07.09.03	「日本の政治」をテーマに藤原帰一東大教授の講演会を実施。2007年日印交流年事業。
5	荒木浩教授講演会	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター		07.09.28	「<すきま>と日本古典文化」をテーマに荒木浩JNU客員教授の講演会を実施。2007年日印交流年事業。
6	短歌ワークショップ	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター	デリー大学	08.02.02～ 08.02.05	俵万智の短歌をテーマに朗読会を実施。2007年日印交流年事業。
7	生け花ワークショップ・デモンストレーション	イスラマバード・ラホール	在パキスタン 日本大使館		08.03.11～ 08.03.16	ラトナ・グハ生け花師範をデリーからパキスタンに派遣し、ワークショップ・デモンストレーションを実施。
	【映画】					
8	第9回オシアンシネファン映画祭への参加	デリー	インディア インターナショナル センター	オシアンシネファン映画祭	07.07.24	標記映画祭における日本映画特集並びに佐藤忠男氏のLifetime Achievement Award授賞を記念した祝賀レセプションを実施。2007年日印交流年事業。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
9	16mm映画上映会	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター		08.03.13	16mmフィルム『スウィング・ガールズ』を上映。2007年日印交流年事業並びに2008年日印映画交流年事業。
【日本語教育】						
10	日本語教育アドバイザー事業	デリー、バンガロール	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター／バンガロール大学	バンガロール大学	07.04.01～ 08.03.31	日本語教育アドバイザー3名により、中等教育日本語科目への支援、高等教育機関や民間日本語学校へのアドバイス、日本語教育関係者のネットワーク形成支援を実施。
【図書館運営】						
11	図書館運営	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター		07.07.01～ 08.03.31	2007年7月に開館。蔵書数10,000冊。閲覧のみ可。次年度は図書貸出サービスの開始を目指す。
【出版・広報】						
12	記者懇談会	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター		07.10.26	当地の記者を対象に基金事業のプレスリリースを実施。
13	美術・文芸誌『Gallerie』日本特集号出版記念会	デリー	インディアインターナショナルセンター	Gallerie	08.02.01～ 08.03.16	『Gallerie』（季刊）の1月「日本特集」号の出版記念会を3都市で実施。『Gallerie』は当国インドの総合美術・文芸誌。国際交流基金は同誌編集長をアジア・リーダーシップ・フェロー・プログラムにて招聘しており、本号の出版は同招聘の成果の一つ。2007年日印交流年事業。
14	インドにおける日本映像祭	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター	NHKインターナショナル	08.01.10	現代日本紹介を目的として、NHKインターナショナルの映像上映祭(DVD)を実施。2007年日印交流年事業。
【その他】						
15	バンガロール日本祭り(ジャパンハッパ)への参加	バンガロール	カルナータカ州知事公邸	ジャパンハッパ実行委員会	07.08.10～ 07.08.21	バンガロールの州知事公邸で実施されたジャパンハッパの様子は、当地国営放送ドゥールダルジャンにより国内及び海外で放映。2007年日印交流年事業。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【本部事業受入】					
16	インドにおける現代日本美術展	デリー	国立近代美術館	国立近代美術館	07.10.12～ 07.12.15	デリー、ムンバイで美術展を行ったほかインド各地でアーティスト・イン・レジデンスを実施。2007年日印交流年事業。
17	アジアのキュビズム展	パリ	国際交流基金 パリ日本文化 会館		07.05.16～ 07.07.07	インドの出展作品の手配。
18	エモーショナル ドローイング 展（準備）	東京	東京近代美術 館	東京近代美術 館	07.08.01～ 08.03.31	平成20年度の展覧会につき準備。
19	第10回アジア 漫画展	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター		07.03.17～ 07.04.06	日本国内及びアジア各国を巡回する展覧会。2007年日印交流年事業。
20	第11回アジア 漫画展	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター		08.02.25～ 08.03.13	日本国内及びアジア各国を巡回する展覧会。2007年日印交流年事業。
21	海外巡回展 『熊本アート ポリス展』	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター		07.12.19～ 08.02.16	国際交流基金海外巡回展。インド4都市を巡回。2007年日印交流年事業。
22	共同演劇「演 じる女たち」	デリー	国立演劇学 校、国際交流 基金ニューデ リー日本文化 センター	国立演劇学校	07.01.01～ 07.10.14	インド・イラン・ウズベキスタン・日本の共同演劇制作。デリー、東京、ソウルで上演。2007年日印交流年事業。
23	津軽三味線・ 邦楽公演	デリー	シュリラムセ ンター劇場		08.01.27～ 08.02.05	福居典美氏、一大氏らアーティスト4名の津軽三味線・邦楽公演。インド4都市を巡回。2007年日印交流年事業。
24	俳句講演会・ ワークショップ	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター		07.11.11～ 07.11.16	俳人宮下恵美子氏の講演会及びワークショップ。デリーとコルカタを巡回。2007年日印交流年事業。
25	日本映画祭	デリー	インディアイ ンターナショ ナルセンター		07.08.20～ 08.02.02	安倍総理訪印に合わせて開催。2007年日印交流年事業。
26	中等教育日本 語教師新規養 成コンバート 研修	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化セン ター	中等教育中央 委員会	07.04.02～ 07.12.01	現職他科目教師を対象に日本語学習及び日本語教授法を指導。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
27	中等教育8年生日本語教科書作成	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター	中等教育中央 委員会	07.04.01～ 08.03.31	8年生用教科書及びワークブックの原稿を作成、出版化。
28	日本語教材寄贈	デリー	国際交流基金 ニューデリー 日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	教材の本邦からの輸送通関引取り、及び各学校への授与・配布。
29	第18回ニューデリー国際図書展への参加	デリー	プラガティマ イダン	(社) 出版文化国際交流会	08.02.02～ 08.02.10	(社) 出版文化国際交流会と共催し、日本ブースを出展。図書展の参加団体数は1350社、来場者数は25万人。
30	文化協力プログラム	パロ	国立博物館		07.04.01～ 08.03.31	ブータン国立博物館の紀要につき英語・ブータン語の相互翻訳及び出版化をサポート。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
31	パネルシアター児童教育研修	インターナショナル インスティテュート オブパフォーマンス アーツ	07.08.25～ 07.08.29	デリーで行われた児童教育研修に対して助成。パネルシアターを用いた研修で、講師は本邦から訪印。
32	ボンベイ室内オーケストラ公演	ボンベイチェンバー オーケストラ	07.09.09	ムンバイで行われたボンベイ室内オーケストラ公演に対して助成。同公演にはピアニスト森麻衣子氏が訪印のうえ競演。
33	第12回国際ナショナル・トラスト会議	INTACH (インド文化 芸術保存財団)	07.12.03～ 07.12.05	デリーで行われたINTACH主催『第12回国際ナショナル・トラスト会議』に対して助成。同会議には世界49カ国から300以上の団体が参加。
34	生花展示会	生け花インターナ ショナルグルガオン 支部	08.02.02	グルガオンで行われた生花展示会に対して助成。
35	折り紙ワークショップ	折り紙アクリテイク リエイションズ	08.03.18～ 08.03.20	ノイダで行われた折り紙ワークショップに対して助成。
36	「第45回全国ファッションデザインコンテスト」参加	杉野学園ドレスメー カー学院	07.10.20	東京で行われたファッションデザインコンテストの当地インドからの参加者に対して助成。
37	日本研究セミナー	デリー大学		デリー大学Shyam Lal Collegeにて行われた日本研究セミナーに対して助成。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【後援事業】			
38	福岡アジア文化賞	福岡市	07.07.27	インド人受賞者の記者会見をインディア・インターナショナル・センターにて実施。
	【会場提供】			
39	生け花ワークショップ (定例会)	生け花草月流デリー支部	07.04.12～ 08.03.18	生け花の展示発表会。年9回の実施。
40	盆栽ワークショップ (定例会)	デリー盆栽協会	07.10.26～ 08.03.26	盆栽の展示発表会。年2回の実施。
41	折り紙ワークショップ (定例会)	デリー折り紙クラブ	07.05.30～ 08.02.20	折り紙の折り方を学び、作品を制作する講習会。毎週水曜の実施。
42	アヌ・ジンダル絵画展	アヌ・ジンダル	07.04.13～ 07.04.23	インド人作家による日本画の手法を用いた絵画展。
43	子守唄と詩の朗読会	印日文化交流友好協会	07.05.05～ 07.05.08	子供の日にちなみ、インドと日本に伝わる子守唄をインドの詩人や在留邦人により相互に紹介。この他、子供をテーマとした詩の朗読会及び展覧会を実施。
44	マニシャ・グプタ絵画展	マニシャ・グプタ	07.09.20～ 07.09.24	インド人作家による漢字をモチーフとした絵画展。
45	中央大学武内ゼミ	中央大学武内ゼミ	07.12.01	在留邦人やインド人による日本の大学生へ向けた講演会。
46	今昔物語ワーク ショップ	ネルー大学	07.12.15	今昔物語とその時代背景につき、クイズ各種を通して理解を深めるワークショップ。
47	関口三千香ミュージカルリサイタル& ワークショップ	在留邦人有志	08.01.18～ 08.01.19	元ミュージカル俳優のリサイタル及びワークショップ。
48	日本語教師研修会	全インド日本語教師会	08.01.22	日本語教師を対象に教授法などの研修を実施。
49	日印フレンドシップ 音楽コンサート	ニムラナ財団	08.02.23	地元ミュージカル団体による音楽コンサート。
50	デリー日本人会手芸 展	デリー日本人会	08.02.14～ 08.02.16	デリー日本人会会員による手芸作品展。
51	平岡達子絵画展	平岡達子	08.02.18～ 08.02.23	ガンジス河に生きる人々をテーマとした絵画展。
52	パドミニ・メタ絵画 展	パドミニ・メタ	08.03.27～ 08.04.04	インド人作家の絵画展。

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
53	凧・独楽展	在ムンバイ日本総領事館	07.12.17～ 07.12.19	マハラシュトラ州コラプール市にて展示。
54	凧・独楽展	在ムンバイ日本総領事館	08.01.06～ 08.01.09	マハラシュトラ州ナシック市にて展示。

シドニー日本文化センター

合計額 202,964,819円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	ノーバディズ・ポートレート展	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター		07.04.07～ 07.04.27	シドニー在住のアーティスト・杉山三佐子によるポートレート版画展。多文化主義、テロ、地球温暖化などの様々な現代社会が抱える問題と日々の生活を背景に描いた作品約20点を展示。
2	筒描き友禅：風呂敷展	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター		07.05.11～ 07.06.01	金沢在住の友禅染作家 小林秀明氏の風呂敷展「Furoshiki: Reviving a Dyeing Art」。「筒描き」の技法で染めた風呂敷・約30点を展示。
3	折り紙ワークショップ	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター		07.08.23	シドニー日本文化センターのメンバー向けイベントとして折り紙ワークショップを開催。
4	書道ワークショップ	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター		07.10.02	シドニー日本文化センターのメンバー向けイベントとして書道ワークショップを開催。
5	日本の陶磁器展（本部巡回展）	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター		07.10.08～ 07.10.29	有田・唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子で、窯の伝統を引き継ぎながら、新しい陶芸を創り上げようとしている現代の陶芸作家35人の作品を展示。
6	禅画の世界 金森一咳展	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター		08.01.15～ 08.01.30	墨絵画家・金森一咳（かなもり・いちがい）氏のオーストラリアで初の個展を開催。
7	福田喜重：刺繍の世界	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター	シドニー日本人会／在シドニー総領事館	08.01.21～ 08.01.24	『刺繍』の分野で、唯一の人間国宝・福田喜重（ふくだ・きじゅう）氏の来豪にあわせて、福田氏の作品の展示会及び講演・実演会をシドニー日本人会、在シドニー総領事館との共催により開催。
8	マッチボックス・プロジェクト	シドニー	国際交流基金 シドニー日本文化センター		08.02.22～ 08.03.30	持ち運び可能な透明なアクリルケース（マッチボックス）の中に、日豪の若手アーティストの作品を入れて、移動可能な展覧会を各地で開催するプロジェクト。当センター主催の若手アーティスト支援事業（公募による若手アーティストの企画展事業）のキックオフイベントとして開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
9	JSAAオープニング・TaikOz公演	キャンベラ	オーストラリア国立大学	オーストラリア国立大学	07.06.30～07.07.04	オーストラリア日本研究学会総会のオープニング行事に太鼓グループを派遣。
10	飾り巻き寿司デモンストラーション	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター	東京寿司アカデミー	07.07.26	川澄健（東京すしアカデミー校長）による、「飾り巻き寿司」作りの実演。
11	フルート・コンサート	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.08.24	フルート奏者・アンタレス・ボイルによるフルートコンサートを開催。バス・アルト・コンサートの3種類のフルートを使い分けながら、武満徹、湯浅譲二、細川俊夫など、日本の代表的な作曲家の作品を演奏。
12	雅楽公演	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.11.13	北之台雅楽会による雅楽公演を開催。
	【講演・シンポジウム】					
13	「島」文化に関する講演会	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター	マコーリー大学	07.05.04	マコーリー大学に新設された島文化研究センターとの共催により、沖縄の文化に関する講演会を開催。
14	アジア大洋州文化人派遣（アニメ講演会）	ウェリントン オークランド カンタベリー	在ニュージーランド大使館 広報文化センター オークランド博物館 カンタベリー大学	在ニュージーランド大使館 在オークランド総領事館 在クライストチャーチ駐在官事務所	07.09.16～07.09.23	日本アニメの専門家・フィリップ・ブロフィ氏を派遣し、ニュージーランドで講演会を開催。
15	メトロポリス会議	メルボルン	ソフィテル・メルボルン	モナシュ大学、オーストラリア多文化財団	07.10.08～07.10.12	移民・多文化主義に関する国際会議に、明治大学・山脇教授を招聘し、日本の現状についての発表を行った。
	【映画】					
16	フィルムライブラリー				07.04.01～08.03.31	在豪大及び各州の総領事館、在フィジー大、NZ大及び総領事館など9公館に日本映画フィルムを貸し出し。
17	水曜映画会	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.04.01～08.03.31	フィルムライブラリーの所蔵作品を利用して、毎週水曜日に日本映画の無料上映会を開催。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
18	巡回日本映画祭	キャンベラ シドニー パース ブリズベン メルボルン	デンディー・シネマ グレーターユニオンシネマ アレクサンダー図書館 リージェントシネマ 映像美術センター	在オーストラリア公館 日豪友好協会	07.10.16～ 07.12.08	第11回目を迎えた巡回日本映画祭。シドニーでは規模を拡大して19本を上映。巡回作品は、『ヒノキオ』、『春の雪』、『パッチギ』、『リンダ・リンダ・リンダ』、『チルソクの夏』。シドニーでは、このほか『Always三丁目の夕日』、『花田少年史』、『早咲きの花』などを上映。
19	日豪学生映画フォーラム	シドニー	グレーターユニオンシネマ	日本映画学校	07.12.03	豪州と日本の学生による卒業制作作品を上映し、若手の映画制作者の交流の場を提供。第11回日本映画祭のプログラムに組み込み、無料イベントとした。
	【日本語教育】					
20	日本語教育短期集中研修会(7月)	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.07.09～ 07.07.12	全豪及びNZの初中等教育機関の日本語教師を対象とし、日本語力・教授技術の向上を目的とした研修会を開催。
21	日本語教育補助教材制作		国際交流基金シドニー日本文化センター	NSW州立美術館	07.04.01～ 08.03.31	NSW州立美術館と共同で、日本の美術を題材にしたActivity Resourceを制作。初等教育段階から中等教育段階までを対象。
22	日本語教育研修会支援	シドニー	日本語教師会など		07.04.01～ 08.03.31	各州で行われる日本語教師研修会等に、国際交流基金シドニー日本文化センターの講師が出講。
23	オンライン日本語講座	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	日本語を母語としない教師が自分の時間に日本語運用力の向上を図れるよう、オンラインによるベーシック日本語講座を開発。
24	全豪日本語弁論大会	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.10.13	各州の州予選大会を勝ち抜いた20名が4部門に分かれて競い合う全豪日本語決勝大会。今回で38回目。
25	NSW州日本語弁論大会	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.09.01	全豪日本語弁論大会の予選を兼ねたNSW州日本語弁論大会。Senior High School部門、Open Beginner部門、Open部門、Background Speaker部門の4部門。
26	日本語発表会	シドニー	国際交流基金シドニー日本文化センター		07.11.17	NSW州の初等・中等前期で日本語を学習している生徒向けに日ごろの日本語学習を発表する場を提供。
27	教材・教具の寄贈		日本語教育機関		07.04.01～ 08.03.31	日本語教育を行う機関に対し、教材・教具を寄贈する。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
28	評価委員会	シドニー	国際交流基金 シドニー日本 文化センター		07.11.02	各州代表者や大学関係者を招き、それぞれの州での日本語教育の現状を聞くとともに、国際交流基金シドニー日本文化センターの日本語教育支援事業について評価・助言を得る。
	【図書館運営】					
29	図書館運営	シドニー	国際交流基金 シドニー日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	図書館運営。月曜から金曜まで毎日開館。月2回週末（土曜日）開館。図書貸し出し、レファレンスサービス、Web-Opacなどのサービスを提供。蔵書数17181点、視聴覚資料数2007点。2007年度の年間来館者数は13709人、貸出冊数は8294点。
	【出版・広報】					
30	ニューズレター 「OMUSUBI」 発行	シドニー	国際交流基金 シドニー日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	季刊ニューズレター『OMUSUBI』を発行（年4回。各3000部）
31	日本語教師向け教材の Web配信 (Dear Sensei)	シドニー	国際交流基金 シドニー日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	ウェブサイトからダウンロード可能な日本語教育教材の配信。
32	ホームページ 運営	シドニー	国際交流基金 シドニー日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金シドニー日本文化センターのウェブサイトを経営する。
	【教室事業】					
33	日本語講座	シドニー	国際交流基金 シドニー日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	初級および中上級の日本語口座を開講。
	【その他】					
34	日本語教育に関する共同研究	シドニー			07.04.01～ 08.03.31	中等教育から高等教育にかけての日本語の継続学習の環境に関するNSW大学との共同研究
	【本部事業受入】					
35	日本語能力試験	シドニー	各地の大学など		07.12.02	オーストラリア6都市で実施されている日本語能力試験を管轄。試験補助員などとして職員が出張。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
36	日本語教育セミナー 助成	国内各地の日本語教師会	07.04.01～ 08.03.31	地方における研修会の拡充を図り、教師ネットワークの形成を支援するために、各州の関係機関が主催する日本語教師研修会などに、教師招聘費用及び地方在住教師の参加旅費を中心に助成を行う。
37	井上靖賞授賞式	シドニー大学	07.04.01～ 07.06.30	日本文学研究奨励のためにシドニー大学に設置された「井上靖賞」の実施経費の一部助成。
38	In Repose	In Reposeチーム	07.04.27～ 07.05.27	タウンズビルにある日本人墓地を舞台に、音楽、ダンス、映像を組み合わせたパフォーマンス及び展示会を実施。
39	日本フェスティバル	日豪友好協会（アデレード）	07.05.02～ 07.05.06	豪日友好協会（アデレード）の主催する日本文化紹介のためのフェスティバルに対して助成。
40	シドニーデザイン07	パワーハウスミュージアム	07.08.04～ 07.08.19	デザインをテーマにした展示会への日本人作家の招へい費用の一部を助成。
41	ワンダーラスト	Leigh Warren	07.10.03～ 07.10.12	アデレードで開催されるダンスパフォーマンス『ワンダーラスト』の公演経費の一部を助成。
42	East Meets West	East & West Art Gallery	07.11.03～ 07.11.30	日本とオーストラリアの作家による陶芸展の開催経費の一部を助成。
	【後援事業】			
43	日本の木造世界遺産 観光フォーラム	国際観光振興機構	08.02.22	ビジットジャパンキャンペーンの一環として、法隆寺や姫路城など、日本の木造世界遺産の文化的魅力についての講演会を開催する。国際観光振興機構（JNTO）主催。
	【会場提供】			
44	能楽レクチャー・デ モンストレーション	シドニー日本人会	07.04.27	シドニー大学日本研究科の客員教授として来豪することになった能楽師・寺井栄氏を講師に、能楽のレクデモを開催。
45	第1回井上靖賞授賞 式及び記念講演会	シドニー大学	07.06.08	日本文学研究を奨励する目的でシドニー大学に設置された「井上靖賞」の授賞式及び記念レクチャーを開催。

トロント日本文化センター

合計額 120,107,778円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	ビビアン・リース展：里山ストーリー	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター		07.08.08～ 07.10.25	ビビアン・リース(画家)の作品展。新潟の米作農村に3ヶ月滞在し、その村民らを題材にした、色彩豊かな人物画を中心とした作品を展示。講演会やコンサートなども併せて実施。
2	90年代の日本の絵画展	バリー	マクラレーン・アート・センター	マクラレーン・アート・センター	07.08.16～ 07.10.08	基金巡回展「90年代の日本の絵画展」を次期開催地事情により空日となった期間を利用して、オンタリオ州バリー市にて開催。
3	にほんごアートコンテスト2007	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター	にほんごアートコンテスト実行委員会／現代美術館	07.11.03～ 07.11.16	絵で漢字やひらがな単語、擬態語擬声語を表現する「にほんごアート」。この2007年度コンテストの参加作品216点を展示。
4	森正洋展(カルガリー)	カルガリー	トライアングルギャラリー	トライアングルギャラリー	07.11.15～ 07.12.27	2007年2月から5月に国際交流基金トロント日本文化センターで開催した森正洋(陶磁器デザイナー)の陶磁器作品展をカルガリーにて実施。
5	武道の精神展	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター		07.11.27～ 08.02.26	国際交流基金本部巡回展。日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介。また、それらが現代の日本でどのように姿を変えたか、「武道の精神」はどのように表現されているのかを提示。
6	Sharing Our Traditions 2007	トロント	Spadina Museum	Spadina Museum／トロント市文化局	07.11.27～ 08.01.06	スパディナ博物館にて毎年12月に開催されるクリスマス・新年をテーマとした国別文化紹介イベントに共催団体として参加。凧・こま展、ポスター展の常設展のほか、日曜日には音楽などの各種プログラムを実施。
7	武谷大介展	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター		08.03.11～ 08.05.09	トロントを拠点に活躍する武谷大介(アーティスト)による、日本とカナダの「空」をテーマにした作品展。
8	横尾忠則ポスター展	モントリオール	ケベック大学 モントリオール校デザインセンター	ケベック大学 モントリオール校デザインセンター	08.03.13	国際交流基金トロント日本文化センター所蔵の横尾忠則ポスターを作品貸与し、ケベック大学モントリオール校デザインセンターにてポスター展を開催。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
9	Katari Storytelling	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター	Katari Story Tellers／ト ロント・ス トーリー・テ リング・フェ スティバル	08.03.29	トロント・ストーリーテリング・フェ スティバルの一環行事として、トロ ントで活動するKatari Storytellersのメ ンバーを迎えて日本の物語を披露。
	【講演・シンポジウム】					
10	原万希子講演 会（90年代の 日本の絵画展 関連事業）	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		07.07.18	原万希子（現代アートキュレーター、 Centre A/バンクーバー）による、現 代絵画についての講演会。
11	キャサリン・ ゴヴィエー講 演会	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		08.02.06	カナダ人作家キャサリン・ゴヴィエー 氏による講演会「My Musashi Pilgrimage：私の宮本武蔵巡礼」を実 施。作家本人が剣聖・宮本武蔵の終焉 の地を訪ね、旅を通して見た武蔵の人 生とその人物像について語る。基金巡 回展「武道の精神展」関連事業。
	【映画】					
12	ドキュメンタ リー上映会 「Bunka Fest」	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		07.07.23～ 07.07.31	国際交流基金トロント日本文化セン ター図書館所蔵の視聴覚資料（DVD、 ビデオ）、英語吹き替え版NHKテレビ 番組等の上映会を実施。
13	キングストン 映画上映会	キングストン	クイーンズ大 学	クイーンズ大 学、在トロ ント総領事館	08.03.28	在トロント総領事館と共催。クイーン ズ大学にて映画「電車男」を上映。
	【日本語教育】					
14	日本語教育専 門家派遣	エドモントン	アルバータ州 教育省	アルバータ州 教育省	07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金本部よりアルバータ州 教育省へ日本語教育専門家を継続派遣。
15	日本語教師情 報交換会 1	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		07.08.15	国際交流基金本部よりアルバータ州 教育省へ派遣中の室屋春光日本語教 育専門家をトロントに招き、ワー クショップを実施。2006年度日本 語教師訪日研修の参加者による報 告も併せて実施。
16	日本語教師情 報交換会 2	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		07.11.06～ 07.11.08	トロント及びトロント近郊の日本 語教師を対象とした情報交換会。 アルバータ州教育省に派遣中の室 屋春光専門家を迎え、6日は「 デジタル教材の活用法」に関するレ クチャー、8日はウェブページの 作り方のPC講習会を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【図書館運営】					
17	図書館運営	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	カナダの一般の人々を対象として、日本の社会・文化の幅広い分野に関する英・仏・日語の書籍や視聴覚資料を収集。一般公開を行うほか、インターネットで蔵書リストを公開し、郵送での貸し出しも実施。平成19年度末時点での蔵書数12,345冊、視聴覚資料数3,058件、会員数10,426名。同年度の来館者数のべ18,890名。
18	かみしばい	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		08.02.16	トロントで紙芝居を紹介する活動を行う堀千賀氏による日本の紙芝居の実演。
	【出版・広報】					
19	カレンダー・ オブ・イベン ト発行	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	当センターの行事予定等を告知広報する目的で年2回（各500部）作成配布。
20	カナダ向け基 金プログラム ガイド作成	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金助成事業のうちカナダが対象となるプログラムについてプログラムガイドを作成配布。
	【その他】					
21	Doors Open Toronto	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター	トロント市役 所	07.05.26～ 07.05.27	トロント市主催の「ドアーズ・オープン・トロント2007」に参加。開催日にあたる週末に開館し、普段センターを訪れる機会のない人々に国際交流基金トロント日本文化センターの活動・施設をPRする。（90年代の日本の絵画展開催中）
22	Asian Film Night (AFIN) レセ プション	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター	(財)日本映像 国際振興協会 ／韓国映画振 興協会／日本 貿易振興機構	07.09.10	トロント国際映画祭に合わせて、4団体共催にて、映画監督・配給会社等関係者、メディア関係者、カナダの日系・韓国系コミュニティの著名人らを招待し、日本映画及びアジア映画の紹介を行う。
23	Nuit Blanche	トロント	国際交流基金 トロント日本 文化センター	トロント市役 所	07.09.29～ 07.09.30	トロント市内の各所で夜通し開かれるコンテンポラリー・アートイベントに参加。野田秀樹演出の歌舞伎DVDを上映。Vivian Reiss展も同時開催。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
24	トロント・リール・アジア・フィルムフェスティバル レセプション	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター	トロント・リール・アジア・フィルムフェスティバル	07.10.24	トロントで開催されるアジア系映画の国際映画祭の公式レセプションを国際交流基金トロント日本文化センターで開催。
25	JFTボランティア・デー	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター		07.11.02	国際交流基金トロント日本文化センターの運営に協力するカナダ市民ボランティア・メンバーを対象とした交流イベント。太鼓パフォーマンス実演。
【本部事業受入】						
26	現代日本デザイン100選展	トロント	デザイン・エクスチェンジ	デザイン・エクスチェンジ	07.02.08～ 07.04.29	プロダクト・デザイン（家具、家電、照明、文具、食器、玩具など）を中心に、1990年代に制作された日本のデザイン作品92点とその原点とも言える戦後の1950年代に制作された作品13点を紹介。
27	90年代の日本絵画展	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター		07.05.10～ 07.07.31	国際交流基金本部巡回展。現在高い評価を得ている会田誠、越前谷嘉高、小林孝亘、太郎千恵蔵、奈良美智、額田宣彦、福田美蘭、丸山直文、村上隆が1990年代に、どのように絵画に取り組み、新しい表現を獲得しようとしていたのかを紹介。作品55点を展示。
28	カナダ巡回日本映画祭	トロント、ハミルトン	イザベルベイダーシアター、その他	在トロント総領事館		「ホテルハイビスカス」（配給：シネカノン）、「たそがれ清兵衛」（配給：松竹）、「ガラスのうさぎ」（配給：映画「ガラスのうさぎ」製作委員会）、「下妻物語」（配給：東宝）を上映。
29	武道の精神展	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター		07.11.27～ 08.02.26	国際交流基金本部巡回展。日本で実際に用いられてきた武具類を、テーマ性・装飾性の高い作品を中心に展観し、日本文化を武芸・武術の観点から視覚的に紹介。また、それらが現代の日本でどのように姿を変えたか、「武道の精神」はどのように表現されているのかを提示。
30	折り紙レクチャー&デモンストレーション	トロント	国際交流基金 トロント日本文化センター、その他	在カナダ日本大使館／在カルガリー総領事館／在バンクーバー総領事館／在モントリオール総領事館	08.01.21～ 08.01.31	国際交流基金本部文化人派遣事業。神谷哲史（折り紙専門家）を日本より派遣し、カナダ主要都市を巡回して、デモンストレーション、レクチャー、ワークショップを実施。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
31	日本語遠隔地教育関連事業	ヨーク大学、セント・マリー大学	07.04.01～ 08.03.31	ヨーク大学が行う日本語教育分野におけるビデオカンファレンス方式を利用した遠隔地教育の試験的事業に対して、技術スタッフ経費の一部を助成。
32	グレン・グールド生誕75周年記念イベント	グレン・グールド財団	07.09.27～ 07.09.29	オタワで開かれたグレン・グールド（カナダ人音楽家）の生誕75周年記念イベントに日本より招へいされた宮澤準一（教授・評論家）の旅費の一部を助成。
33	SoundStream 加藤訓子マリンバコンサート	パーカッション国際フェスティバル	07.05.22	トロントで開催されたパーカッション国際フェスティバルに、加藤訓子（マリンバ演奏者）が日本より参加。その渡航費の一部を負担。
34	桂三枝落語公演	トロント日系文化会館	07.06.21	トロントの日系文化会館主催による桂三枝公演。広報費の一部を負担。
35	パウエル・ストリート・フェスティバル	パウエル・ストリート・フェスティバル実行委員会	07.06.07～ 07.07.29	バンクーバーで開催された日系移民のイベント。パシフィック・シネマテックにより、日本の現代映画の上映会が行われ、作品輸送費の一部を負担。
36	Nuit Blanche	Nuit Blanche	07.09.29	トロント市内で夜通し行われる現代アートイベント。日本人アーティストの作品輸送費の一部を負担。
37	オタワアニメ国際フェスティバル	オタワアニメ国際フェスティバル実行委員会	07.09.19～ 07.09.23	オタワで開催されたアニメ国際フェスティバルに参加した山村浩二（アニメーター）の旅費の一部を助成。
38	シネマテーク・オンタリオ	シネマテーク・オンタリオ	07.08.31～ 07.10.14	シネマテーク・オンタリオが企画中の大島渚特集のリサーチ旅行の費用の一部を負担。
39	少女漫画展	ナショナル日系博物館	07.09.19～ 07.11.09	ナショナル日系博物館（ブリティッシュ・コロンビア州バーナビー市）で徳 雅美（教授）監修の少女漫画展が開かれ、同氏の旅費・滞在費の一部を助成。
40	シネマテーク・ケベコワ	シネマテーク・ケベコワ	08.02.25～ 08.03.01	モントリオールで開催された日本の早期アニメ映画の上映会に、とちぎあきら（東京国立近代美術館フィルムセンター主任研究員）が招待され、レクチャーを実施。その旅費・滞在費の一部を助成。
41	日本研究機関小規模助成（モントリオール大学）	モントリオール大学東アジア研究所	08.01.10～ 08.02.01	モントリオール大学で開催される日本を含むアジア文学分野のビデオカンファレンス「Monolith2008」の活動費用の一部を助成。
42	加藤幸子ピアノコンサート	在トロント総領事館	08.02.13	日本週間等支援事業として、ニューヨークより加藤幸子（ピアニスト）をトロントに招待し実施されたコンサートの費用の一部を助成。
43	加藤幸子ピアノコンサート	在カナダ大使館	08.02.15	日本週間等支援事業として、ニューヨークより加藤幸子（ピアニスト）をオタワに招待し実施されたコンサートの費用の一部を助成。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
44	バンクーバー藤間流公演・デモンストレーション	New Works	08.03.16	バンクーバーで開催されたダンスイベント「Dance Allsorts」にて行われた藤間流公演・デモンストレーションに対して費用の一部を助成。
	【会場提供】			
45	トロント折り紙ソサエティによる折り紙勉強会	トロント折り紙ソサエティ	07.04.01～ 08.03.31	毎月1回開催されるトロント折り紙ソサエティ主催の折り紙勉強会に、会場提供等により協力。
46	JET出発前オリエンテーション	在トロント総領事館	07.06.16～ 07.06.17	在トロント総領事館への協力事業として、JET参加者の出発前オリエンテーションのために会場提供等を実施。
47	カナダ日本協会(CJS) 理事会	カナダ日本協会(CJS)	07.06.28	日加文化交流団体であるカナダ日本協会(CJS)の理事会に会場提供により協力。
48	JET世界大会国際会議	在トロント総領事館、自治体国際化協会	07.09.14～ 07.09.15	在トロント総領事館、自治体国際化協会主催のJET過去参加者による国際会議。会場提供及び運営協力。
49	JETアラムナイ・アソシエーションイベント	JETアラムナイアソシエーション	08.02.24	カナダのJETプログラム参加者によるイベントに会場提供などで協力。
50	木村悦子・加藤めぐみコンサート	在トロント総領事館	08.02.25	木村悦子(バイオリニスト)と加藤めぐみ(ピアニスト)によるデュオコンサート。
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
51	横尾忠則ポスター展作品貸与	ソウル日本文化センター	07.08.30～ 07.09.30	国際交流基金トロント日本文化センター所蔵の横尾忠則ポスター作品を国際交流基金ソウル日本文化センターに貸出協力。
	【その他】			
52	ヨーク大学「カルチュラル・ディプロマシー会議」	ヨーク大学	08.02.01	カルチュラル・ディプロマシーに関する専門家会議に国際交流基金トロント日本文化センター所長がパネリストとして参加協力。
53	マクマスター大学演劇学部「ゴジラ」公演	マクマスター大学	08.01.15～ 08.01.18	同大学演劇学部の「ゴジラ」公演への協力(広報、アドバイス)。

サンパウロ日本文化センター

合計額 217,907,375円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	信行信哉展	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター	ブラジル裏千 家	07.05.05～ 07.05.12	ブラジル裏千家との共催で、サンパウロ日本文化センターのホールにて、知的障害をもつ芸術家信行信哉氏の絵画及び陶芸作品を展示。
2	ジャパン・フェスティバル	サンパウロ	イミгранテス見本市会場	ブラジル日本都道府県人会連合会	07.07.21～ 07.07.23	イミгранテス見本市会場にて開催されたジャパン・フェスティバル会場内にサンパウロ日本文化センターの展示スペースを設置。文化備品や日本関連書籍を展示の他、狂言を基にした創作劇の公演を実施。
3	「文楽の世界」展示・上映会・講演会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.08.21～ 07.08.24	文楽写真展（サンパウロ日本文化センター備品）の展示に併せ、国際交流基金本部からの新規購送DVD「冥土の飛脚」上映、及び文楽研究者ダルシ・クサノ女史による講演会を実施。
4	東京画aqui	サンパウロ	セスキパウリスト	サンパウロ商業連盟社会サービス	08.03.15～ 08.05.04	セスキパウリストにて実施された「東京画aqui」（東京画ここにあり）を同団体と共催。展示、映像だけでなくパフォーマンスも実施。
5	七宝展	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		08.03.30～ 08.04.18	ブラジルで活躍する「七宝Kazu」グループと日本からの七宝焼専門家7名の参加により、サンパウロ日本文化センターのホールにて作品の展示及びワークショップを実施。
	【公演】					
6	ドミンゴ・コンサート「清水由香ピアノリサイタル」	サンパウロ	ブラジル日本文化福祉協会	ブラジル日本文化福祉協会	07.05.27	リオデジャネイロ在住の日本人ピアニスト清水由香女史が披露するブラジル音楽の名曲を中心としたクラシックピアノリサイタル。
7	レチシア・セキト現代舞踊巡回公演	ヴォトランチン、サンジョゼドスカンボス、サンジョゼドリオブレット、カタンプバ、アララクアラ、カンピナス	各都市の商業連盟社会サービス文化センター	サンパウロ州文化局、サンパウロ商業連盟社会サービス	08.03.17～ 08.03.30	サンパウロ州文化局との共催で、現代舞踊家レチシア・セキト女史の公演をサンパウロ州内の5都市で実施。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
8	神楽公演	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ私 立文化セン ター	広島県人会	08.01.25～ 08.01.27	神楽の公演と衣裳展示
	【講演・シンポジウム】					
9	「味覚の知 恵」シリーズ 第5回企画「は かなさの美学 ジュン×ジュ ン」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.04.11	シェフのジュン・サカモト氏とファッ ションデザイナーのジュン・ナカオ氏、 ふたりの「ジュン」による講演会。流 行が移ろいやすい食とモードを追求し ながら、高度消費社会の中で生き残っ ていくための『美学』を考える対談。 モデレーターとして、サンパウロ・カ トリック大学教授クリスチーネ・グラ イナー女史が参加。
10	平成18年度日 本研究フェ ローによる研 究成果発表会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.05.23	平成18年度日本研究フェローの吉田ル イザ那女史及びガルシア優美ドスサ ントス女史による研究成果発表会。 各々のテーマは中世隠者文学とシング ルマザー問題。
11	「味覚の知 恵」シリーズ 第7回企画「寿 司の歴史」文 化講演会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.05.30	ブラジル人企業家セルジオ・ホルスマ ン氏が、長年の日本生活で味わった寿 司、寿司の歴史、種類、食べ方等つい て講演。
12	「味覚の知 恵」シリーズ 第8回企画「食 と食器」対談 講演会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.06.13	陶芸家の本間ヒデコ女史とシェフのア ドリانو金城氏が、料理と器の視覚的 関係について講演。
13	文化講座「仏 教・西欧と東 洋の対話」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.07.03～ 07.07.11	シドニー大学教授クリスチナ・ロッ シャ女史（基金元フェローシップ）に よる全4回の文化講座。同講座と並行 してレオ・ラマ監督の演劇作品の紹介 や専門家の対談を実施。
14	「味覚の知 恵」シリーズ 第6回企画「世 界の味覚」レ クチャー・デ モンストレー ション	サンパウロ	セスキカルモ	サンパウロ商 業連盟社会 サービス	07.07.19	セスキカルモとの共催で日本アニメポ スター展及びシェフのカルロス・リベ イロによる日本食のレクチャー・デモ ンストレーションを実施。
15	国際日本文化 研究センター 教授陣による 講演会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.08.02	国際日本文化研究センター教授細川周 平氏及び准教授テモテ・ケール氏によ る「笑い」をテーマとした講演。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
16	文化講演会 「シネマ屋・ ブラジルを行 く」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.08.09	国際日本文化研究センター教授細川周平氏による「ブラジルにおける日本移民の大衆娯楽であった日本映画鑑賞の歴史」をテーマとした講演及び同テーマを取り上げたオルガ普天間監督の短編映画「お茶漬け」の上映会。
17	第18回全ブラ ジル日本語・ 日本文学・日 本文化大学教 師学会参加者 による講演会	サンパウロ	サンパウロ州 立パウリスタ 大学アシス キャンパス		07.08.27	基金本部助成事業「第18回全ブラジル日本語・日本文学・日本文化大学教師学会および第5回国際日本研究学会」参加者の米国Emory大学教授Jeffrey Lesser氏とフランスの研究者Le Quere David氏による講演会。
18	文化講座「春 画の春」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.09.04～ 07.09.25	サンパウロ大学日本文化研究所助教授マダレナ橋本女史（平成18年度基金フェローシップ）による全4回の文化講座。浮世絵・春画の時代背景や構図・テーマの分類などを分析する。
19	「味覚の知 恵」シリーズ 第11回企画 「日本酒の粋」 文化講演会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.09.26	酒造メーカー「白鹿」との共催事業。日本酒のソムリエ育成や試飲についてなど、日本酒の可能性を追求する講演。関連書籍の出版記念会を含む企画。
20	文化講座「日 本に関わる5 つのエピソードと1つの秘密」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.11.06～ 07.11.14	サンパウロ・カトリック大学教授クリスチーネ・グライナー女史（元基金フェローシップ）による日本現代文化分析講座。外国から見た日本をテーマに、映像資料を使用。ドイツ映画の巨匠ヴィム・ヴェンダースが解読した小津安二郎の「東京物語」などあらゆる視点で「外から観察された日本」を紹介。
21	「味覚の知 恵」シリーズ 第12回企画 「ブラジルに おける和食の 展望」対談講 演会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.11.08	ホテル経営者青木チエコ女史、ジャーナリストのマルセロ・カツキ氏、元ブラジル中央銀行総裁パウロ横田氏、和食研究家安本静子女史、東山農場取締役社長岩崎透氏により、「ブラジルにおける和食の変遷、将来に向けての展望」について座談会を実施。
22	「味覚の知 恵」シリーズ 第13回企画 「味覚と色彩」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日 本文化セン ター		07.12.11	画家の福島隆氏を招いて、サンパウロ市在住の著名なシェフの料理を対象に、味覚、料理プレゼンテーション、器の美の接点を追求する実験の成果発表。パネルディスカッションには福島氏以外に陶芸家のシルマラ・ワタリ氏、泉シュウゴ氏、シェフのジュン・サカモト氏、小池新氏が参加。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
23	日本思想に関する第2回討論会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター		07.12.15	サンパウロ・カトリック大学、カンピーナス大学で教鞭をとるZeljko Loparic氏を中心とする日本思想研究者グループによる討論会。
24	「味覚の知恵」シリーズ第14回企画「国際食文化見本市」における文化講演会	サンパウロ	アニエンビー国際会議場	ブラジル飲食店協会	08.03.10～ 08.03.12	アニエンビー国際会議場にて行われた国際食文化見本市において、カルロス・リベイロ氏、アルナルド・ロレンサート氏、マルセロ・カツキ氏そしてパウロ・横田氏をパーソナリティに迎え講演会を実施。
	【映画】					
25	パイネイラス・クラブ日本祭り	サンパウロ	パイネイラス・クラブ	パイネイラス・クラブ	07.04.20～ 07.04.22	総合文化施設パイネイラス・クラブが主催する日本祭りにおいて、同クラブおよびサンパウロ総領事館との共催で、日本映画の上映会を実施。
26	定例映画上映会「いつでもシネマ・青春シリーズ」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター		07.05.22～ 07.06.28	「あの夏一番静かな海」、「学校II」、「我が青春に悔いなし」を上映。
27	定例映画上映会「いつでもシネマ・山田洋次特集」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター		07.07.10～ 07.09.27	山田洋次の代表作品を紹介。「学校15才」、「男はつらいよ 寅さんの休日」、「男はつらいよ 紅の花」、「キネマの天地」、「家族」を上映。
28	「リベルダーデ」上映会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター		07.07.12	サンパウロ市文化局と教育局が制作した市内代表区の歴史をたどる記録映画シリーズのうち、「東洋人街」として知られるリベルダーデ区をテーマとした短編映画の上映会、パネル討論会の実施。
29	定例映画上映会「いつでもシネマ・恐怖と笑いシリーズ」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター		07.10.09～ 07.12.20	ホラー映画をシリーズで紹介。「怖がる人々」、「居酒屋幽霊」、「新・居酒屋幽霊」、「学校の会談4」を上映。
30	定例映画上映会「いつでもシネマ・スポーツシリーズ」	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター		08.01.22～ 08.03.13	「遙かなる甲子園」、「頑張っていきまっしょい」、「800 TWO LAP RUNNERS」、「シコふんじゃった」を上映。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【日本語教育】					
31	CEL・CELEM教師研修(初任者)	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	07.04.23～ 07.04.25	サンパウロおよびパラナ両州教育局の運営する州立学校(中等教育課程)の課外講座としての日本語講座の奨励協力事業として、その教師の定期的研修(初任者レベル)を実施
32	CEL・CELEM学生研修	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター	サンパウロ州教育局/パラナ州教育局	07.07.20～ 07.07.21	サンパウロ、パラナ両州教育局運営の中等教育課程日本語講座の学習者支援、学習奨励として、成績の優秀な学習者を選抜して研修を実施
33	大学研究会(調査・出張)	リオデジャネイロ	リオデジャネイロ連邦大学		07.08.30～ 07.08.31	リオデジャネイロ連邦大学にて開催された第17回全伯日本語日本文学日本文化大学教師学会(年1回開催)への参加
34	日本語スピーチコンテスト全国大会	サンパウロ	国際交流基金 サンパウロ日本文化センター		07.11.10	ブラジル各州(全8地区)で行なわれる弁論大会で優秀な成績を修めた者を招き、全国大会を実施
	【出版・広報】					
35	機関紙「TOBIRA」発行	ブラジル全国へ配布			07.04.01～ 08.03.31	各事業の事前広報用機関紙「TOBIRA」の発行。
36	「ブラジリア大学日本特集」出版記念会	ブラジリア	ブラジリア大学	ブラジリア大学	07.12.10	サンパウロ日本文化センターが推薦する文化人および日本研究者が記事を執筆しブラジリア大学が出版した、ブラジル日本人移住100周年特別企画書籍の出版記念会。
37	ウェブサイト管理	サンパウロ			07.04.01～ 08.03.31	ウェブサイトを通じてセンターの事業・図書館ほか各種日本語文化関連情報を紹介したほか過去の講演記録などを掲載した。ウェブサイト使用言語はポルトガル語。URLは www.fjsp.org.br
	【図書館運営】					
38	図書館運営	サンパウロ			07.04.01～ 08.03.31	図書館における閲覧、貸し出し、各種リファレンスサービス、文化芸術事業など基金事業の展開に合わせた所蔵資料の展示を行った。年間入館者数12,653名、貸し出し冊数21,211冊。会員数約1,418名。通常開館時間は、事務所休日を除く月曜日から金曜日までの10時から20時まで。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【本部事業受入】					
39	「味覚の知恵」シリーズ第6回企画「ブラジル風日本・食と文化」レクチャー&デモンストレーション	サンパウロ、リオデジャネイロ、ブラジリア			07.04.18～ 07.04.27	サンパウロ市営市場において、国立民族学博物館名誉教授石毛直道氏による「和食の成立・変遷といった歴史的背景と近年の状況」をテーマとした講演及び、シェフ・伝統料理研究家奥村彪生氏による日本食のレクチャー・デモンストレーションを実施。別途、サンパウロ日本文化センターでも講演会を実施。
40	「ブラジルにおけるサンパウロ藤田嗣治」展	サンパウロ	ブラジル銀行文化センター	ブラジル銀行文化センター	08.03.01～ 08.06.01	フランス在住の世界的日本人画家藤田嗣治が8ヶ月間のブラジルでの生活において、当地文化人に与えた影響を追跡する展示
41	「味覚の知恵」シリーズ第10回企画「日本食の定番」テレビ番組放映	ブラジル全国		バンデイランテス・テレビ局	07.06.03～ 07.07.06	平成18年度・19年度テレビ番組交流促進事業の番組提供先であるBandテレビ局が、代表的な日本食の歴史・作り方とその文化的背景を紹介するNHK制作番組をシリーズで放映。6月は「すき焼き」（「味覚の知恵」シリーズ第9回企画と関連付ける）の他、「どんぶり」、「ラーメン」、「てんぷら」を毎週日曜日に放送。
42	「結城座」公演	サントス、サンパウロ、ブラジリア、リオデジャネイロ	セスキサントス、セスキコンソラソン、フナルテ、セジ	サンパウロ商業連盟、ブラジル連邦政府文化省	08.02.14～ 08.02.28	ブラジル国内4都市にて各2回、合計8回公演。サンパウロ市及びサントス市ではセスキとの共催。
43	映画特集「名作20本にみる日本映画史」	サンパウロ	ブラジル銀行文化センター	ブラジル銀行文化センター	08.02.19～ 08.03.08	ブラジルで上映記録のある代表的名作20本の上映会。「日本映画がブラジル映画と文化に与えた影響」がテーマ。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
44	文協大総合美術展	ブラジル日本文化福祉協会	07.10.10～ 07.10.21	日系社会の代表的な美術サロンを、今回は毎年ブラジル日本文化社会福祉協会にて行われる「工芸」展と「具象」展とを合併した形で実施。参加作品は433展、参加作家283人という規模で構成。国際交流基金サンパウロ日本文化センターはカタログ作成費の一部を負担。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【後援事業】			
45	「味覚の知恵」シリーズ第9回企画「善のすき焼き」ディナー試食会	「希望の家」	07.06.23	シェフのアドリアノ金城氏が「すき焼き」の作り方を披露するチャリティ・ディナー。サンパウロ・グランド・ハイアットホテルを会場とし、参加予定人数500人のフェスティバル。同事業は「味覚の知恵」シリーズの一環。
46	合気道ワークショップ		07.11.29～ 07.11.30	ブラジル合気会との共催で日本より心身統一合気道会の柏屋八段を講師として招き、国際交流基金サンパウロ日本文化センターにてワークショップを実施。
	【文化備品・視聴覚資料貸出】			
47	世界コスプレ・サミット ブラジル予選	JBC出版	07.06.09	8月に名古屋で行なわれる「世界コスプレ・サミット」に参加するブラジル代表を決定するイベントに、国際交流基金サンパウロ日本文化センター備品の「アニメ・パネル」展を提供、また同センター職員が審査委員としても参加。
48	ベロオリゾンテ市日本週間	ウジミナス製鉄所文化センター	07.10.16～ 07.10.21	ベロ・オリゾンテ市日本名誉総領事主催事業。国際交流基金サンパウロ日本文化センターは備品である「日本庭園」、「アニメポスター」のパネルなどを送付して協力。
49	アナポリス市日本祭り	在ブラジル日本大使館	07.12.18	ゴイアス州アナポリス市のウニ・エヴァンジェリカ・アナポリス会館にて行われた日本祭りに、在ブラジル日本大使館との共催で国際交流基金サンパウロ日本文化センター所蔵のアニメポスターパネルを貸出。
50	セスキカルモ日本アニメポスター展	サンパウロ商業連盟社会サービス	07.07.16～ 07.07.31	サンパウロ市内のSESC（商業連盟社会サービス）カルモ支部にて行われた日本アニメポスター展に、共催形態で国際交流基金サンパウロ日本文化センター所蔵のアニメポスターパネルを貸出。
	【その他】			
51	文化講演会「福留功男・崩壊する日本のテレビ」	ブラジル日本文化福祉協会	07.09.01	ブラジル日本文化福祉協会の主催による福留功男の講演会。国際交流基金サンパウロ日本文化センターは広報協力を行なった。
52	「ブラジル日本文化ガイドブック」調査協力	JBC出版	08.01.01～ 08.03.31	「ブラジル日本文化ガイドブック」（2008年6月にJBC出版社より刊行）の原稿執筆のための調査に協力。

マニラ事務所

合計額 34,896,355円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	「トラウマ・インターラプテッド」展	マニラ	フィリピン文化センター	フィリピン文化センター	07.06.14～ 07.07.29	日本、フィリピン、米国等のアーティストによるトラウマとジェンダーをテーマとする展示とパフォーマンス
2	「ポップスケープ」展	マニラ	フィリピン文化センター	フィリピン文化センター	07.06.14～ 07.07.29	インドネシアのアーティスト5名の作品展。コーディネータは同国在住のアーティスト廣田 みどり
	【公演】					
3	パパ・タラフマラ公演	マニラ	カルロス・ロムロ劇場		07.07.20～ 07.07.21	チェーホフの同名戯曲をモチーフにしたパパ・タラフマラのオリジナル・コンテンポラリーダンス作品『三人姉妹』の上演。演出：小池 博史
4	ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク (JCDN) 公演	マニラ	フィリピン文化センター	NPO法人 ジャパン・コンテンポラリー・ダンス・ネットワーク	07.08.24～ 07.08.25	JCDNに参加するKo&Edge Co.、ほうほう堂、ピンク、三浦 康之、ならびにフィリピンのアヴァ マウリーン ヴィラヌエバによるコンテンポラリーダンス公演を開催
	【講演・シンポジウム】					
5	フィリピン・ベン・クラブ 50周年記念会議	マニラ	フィリピン国立博物館	フィリピン・ベン・クラブ	07.12.08～ 07.12.09	フィリピン・ベン・クラブからの要請を受け、日本の作家、中上 紀を招聘、同クラブ設立50周年記念会議の際に講演を実施
	【映画】					
6	日本映画祭	マニラ	EDSA シャングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター、アヤラセンター	セブ商工会 セブ日本人会 在セブ出張駐在官事務所	07.06.20～ 07.07.29	2000年以降製作の映画10作品の上映。『下妻物語』、『Blue』、『チルソクの夏』、『この世の外へクラブ進駐軍』、『ホテルハイビスカス』、『命』、『金融破滅ニッポン』、『桃源郷の人々』、『若い春』、『害虫』、『バカのハコ船』。セブは6作品のみ

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
7	第1回国際サイレント映画祭	マニラ	グリーンベルト	インスティテュート・セルバンテス、ゲート・インスティテュート	07.09.04～ 07.09.13	日独西の文化交流団体3機関共催によるサイレント映画祭。日本は『雄呂血』(二川文太郎)を、マキリン・アンサンブルの演奏にあわせて上映
8	映画祭フリンジ	マニラ	アオントニオ・モリナ・ホール、フィリピン大学フィルムセンター	アオントニオ・モリナ・ホール、フィリピン大学フィルムセンター	07.11.08～ 07.11.17	北朝鮮拉致家族を扱ったドキュメンタリー『めぐみ 引き裂かれた家族の三十年』、フィリピンを舞台にした今泉光司監督の『アボン』、日本映画『風音』、『AIKI』、『父と暮らせば』、『十五歳 学校Ⅳ』を上映
9	シネマキャラバン・イン・ヴィサヤ	イロイロ	国立西ヴィサヤ大学	国立西ヴィサヤ大学	07.11.23	日本映画に接する機会の少ないヴィサヤ地方のパナイ島で、『生きる』、『たそがれ清兵衛』、『十五歳 学校Ⅳ』を上映
10	シネマキャラバン・イン・ミンダナオ	カガヤン・デ・オロ ミンダナオ	キャピトル大学 国立ミンダナオ大学イリガン技術研究所	キャピトル大学 国立ミンダナオ大学イリガン技術研究所	08.01.23～ 08.01.24	日本映画に接する機会の少ないミンダナオ島の2都市で、『椿三十郎』、『たそがれ清兵衛』、『十五歳 学校Ⅳ』を上映
【主催・共催事業／日本語教育】						
11	ウィークリーワークショップ	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.04.01～ 08.03.31	毎週金曜日夕方に開催する日本語教師向けのワークショップ。(無料)
12	教科書ワークショップ(セブ)	セブ	セブ日本人会	セブ日本人会	07.07.27	教科書「みんなの日本語」の構造分析、使い方のコツなどに関するワークショップ(無料)
13	ニューズレター『みりえんだ』発行	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.05.01	日本語教育関係者向けニューズレター『みりえんだ』(Vol.V No.1、2)発行。発行部数3000部。国際交流基金マニラ事務所サイト上でも公開
14	第5回フィリピン日本語教師フォーラム	マニラ	JICAフィリピン事務所		07.05.18～ 07.05.19	日本語教育の実践報告、研究発表、ネットワーキングのための日本語教師フォーラムの開催。テーマ「フィリピンにおける日本語教育の多様化」
15	第6回フィリピン日本語教師フォーラム	マニラ	JICAフィリピン事務所、アオントニオ・モリナ・ホール	フィリピン人日本語教師会(AFINITE)	07.11.16～ 07.11.17	日本語教育の実践報告、研究発表、ネットワーキングのための日本語教師フォーラムの開催。フィリピン人日本語教師会との共催。テーマ「フィリピンの日本語教育：過去、現在、未来」

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
16	日本語フィエスタ	マニラ	EDSAシャングリラ・プラザ・モール		08.02.23	マニラ、セブ、ダバオで予選を勝ち抜いた出場者による第35回日本語弁論大会、日本語学習者などによるパフォーマンスコンテストをメインとした日本文化紹介事業
17	日本語教育研究交流会	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.04.27～ 08.03.31	日本語教育およびその周辺領域における分野の実践/研究月例報告会。
18	「第1回ダバオ日本語弁論大会」	ダバオ	ミンダナオ国際大学	フィリピン日系人会	08.01.25	「第1回ダバオ日本語弁論大会」の審査員として、星 亨(マニラ事務所日本語教育アドバイザー)が参加。同弁論大会は、全国大会の予選を兼ねる
19	「第6回セブ日本語弁論大会」	セブ	SMセブシティ会議場	セブ日本人会	08.02.02	「第5回セブ日本語弁論大会」の審査員として、和栗 夏海(マニラ事務所日本語教育アシスタントアドバイザー)が参加。同弁論大会は、全国大会の予選を兼ねる
20	日本語キャラバン	マニラ	カロオカン市サイエンス高校、パシグ市サイエンス高校、フィリピン・サイエンス高校、マカティ市サイエンス高校、マリキナ市サイエンス高校、ムンティンルパ市サイエンス高校、F.トレス高校	フィリピン人日本語教師会(AFINITE)	07.11.09～ 08.02.28	中等教育レベルにおける日本語普及のアウトリーチ事業として、日本の伝統文化やポップカルチャーの体験プログラム、日本語授業デモンストレーションをパッケージした出前授業を、メトロマニラ首都圏の高校7校で実施。
【図書館運営】						
21	図書館運営	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.04.01～ 08.03.31	2007年7月13日に、国際交流基金マニラ事務所の入居するビルの1階に図書館/日本語教室をオープン。マンガ、JポップCDなどをはじめとする日本文化、日本語教育関係書籍・資料の閲覧、貸出。蔵書数3,435冊、視聴覚資料367点、会員数73名、来館者数7,551名
【出版・広報】						
22	事務所ホームページ	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金マニラ事務所のイベント、グラントなどを紹介するサイト

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
23	ニューズレター『SUKI』発行	マニラ	国際交流基金マニラ事務所			国際交流基金マニラ事務所の文化・芸術交流、日本研究・知的交流に関するニューズレター。年3回発行。発行部数6,000部
	【教室事業】					
24	日本語教師のためのブラッシュアップコース	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.05.08～07.11.27	日本語能力試験3級以上の日本語教師向け講座(有料)。モジュール2(5～6月 登録16名、修了12名)、同3(7～8月 登録13名、修了9名)、同4(10～11月 登録12名、修了10名) 各48時間
25	日本語教育学概論講座	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.09.22～08.02.09	日本語能力試験2級以上の日本語教師向け講座(有料)。日本語学、日本語教授法、コースプランニングなどを学ぶ。計45時間。登録7名
26	日本語教師のための日本語指導法講座(RC1)	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		08.01.08～08.02.28	日本語能力試験2級以上の日本語教師向け教授法講座(有料)。日本語教育の基礎的技能の整理、その発展/応用について理論、実習の両面から学ぶ。計32時間。登録10名
27	先生の日本語I	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.10.15～08.02.20	日本語能力試験4級以上の日本語教師向け日本語講座(有料)。計64時間。登録9名
	【その他】					
28	極真空手演武会	マニラ	マーケット・マーケット	アヤラ・モールズ マーケット・マーケット、 極真館	08.02.24	極真空手道連盟極真館による空手の演舞会共催
29	村上春樹感想文コンテスト	マニラ	国際交流基金マニラ事務所		07.07.13～07.11.12	国際交流基金マニラ事務所の図書館／日本語教室のオープニングにあわせ、村上 春樹の作品の読後感想文コンテストを実施
30	全国弁当コンテスト	マニラ	EDSAシャングリラ・プラザ・モール	EDSAシャングリラ・プラザ・モール	08.02.24	フィリピン各地から、その土地の食材を使った弁当を考案してもらう、全国弁当コンテストを開催。あわせて、日本の代表的な駅弁50選の展示、日比両国の専門家による弁当作りデモンストラーションを実施

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【本部事業受入】					
31	第10回アジア漫画展	マニラ	SMモール・オブ・アジア、ポーディアム、ザ・ブロックSMノースEDSA	SMモール・オブ・アジア、ポーディアム、ザ・ブロックSMノースEDSA		「アジアの環境問題」をテーマとする日本、フィリピン、中国、韓国、インド、インドネシア、マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジアの10カ国10名の漫画家による77作品の展示
32	現代日本の陶磁器展		アヤラ美術館、シリマン大学、タマワン・ビレッジ、ナショナル・プレスクラブ	アヤラ美術館、シリマン大学、タマワン・ビレッジ、チャナム財団、ドゥマゲッティ市、マリヤー・ギャラリー	07.06.09～ 07.08.05	有田、唐津、萩、備前、京都、久谷、瀬戸・美濃、益子の現代若手陶芸家の作品71点を展示。あわせて、フィリピン在住の萩焼陶芸家・丸山 陶心の作品展示、ワークショップを開催
33	日本映画祭	マニラ	アヤラセンター、EDSA シャングリラ・プラザ・モール、フィリピン大学フィルムセンター、フィリピン文化センター	セブ商工会、セブ日本人会、在セブ出張駐在官事務所	07.06.20～ 07.07.29	2000年以降製作の映画10作品の上映。『下妻物語』、『Blue』、『チルソクの夏』、『この世の外へクラブ進駐軍』、『ホテルハイビスカス』、『命』、『金融破滅ニッポン』、『桃源郷の人々』、『青い春』、『害虫』、『バカのハコ船』。セブは6作品のみ
34	第1回国際サイレント映画祭	マニラ	グリーンベルト	インスティテュート・セルバンテス、ゲーテ・インスティテュート	07.09.04～ 07.09.13	日独西の文化交流団体3機関共催によるサイレント映画祭。日本は『雄呂血』(二川文太郎)を、マキリン・アンサンブルの演奏にあわせて上映
35	歌舞伎レクチャーデモンストラーション	マニラ	カルロス・ロム口劇場	松竹株式会社	08.02.07	中村 京蔵、中村 又之助による歌舞伎に関する講演、デモンストラーションの開催。演目：鶯娘、石橋
36	和太鼓公演	バギオ マニラ	セッション通り、バギオ市コンベンション・センター、EDSA シャングリラ・プラザ・モール	EDSA シャングリラ・プラザ・モール、バギオ市		2007年度「第6回東京国際和太鼓コンテスト」最優秀賞の塩原 良(大太鼓部門)、創造和太鼓集団大太(組太鼓部門)による公演

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
37	小規模助成（日本研究・知的交流）：坂本知壽子	フィリピン大学女性研究センター	06.04.01～ 09.03.31	フィリピンにおける従軍慰安婦生存者の記録映像プロジェクト経費助成
38	小規模助成（文化・芸術）：DAWN	女性のための行動ネットワーク (Development Action for Women Network (DAWN))	07.04.16～ 07.05.15	NGO「DAWN(女性ネットワークのための開発活動)」の演劇を通じたジャパニーズ・フィリピーノ・チルドレン(JFC)のためのセラピー/教育/アドボカシー・プロジェクト実施経費助成
39	小規模助成（文化・芸術）：コーディネリエラ・グリーン・ネットワーク	コーディネリエラ・グリーン・ネットワーク	07.05.05～ 07.07.01	ルソン島北部コーディネリエラ地方の住民に対する陶芸を通じた環境問題意識啓発ワークショップ、展示プロジェクト「世界環境デー：猿はどこへ行った？」実施経費助成
40	小規模助成（文化・芸術）：ザ・ライターズ・ブロック	ザ・ライターズ・ブロック	07.06.26～ 07.07.07	今まで上演されたことのないフィリピンの戯曲家の脚本を上演する「第3回ヴァージン・ラブフェスト」の開催経費助成。期間中、坂手 洋二脚本の『三人姉妹』も上演
41	小規模助成（文化・芸術）：世界ダンス連盟フィリピン支部	フィリピン文化センター／世界ダンス連盟フィリピン支部	07.07.12～ 07.07.15	「Wi-Fiボディ：第2回インディペンデント・コンテンポラリー・ダンス・フェスティバル」開催経費助成
42	小規模助成（文化・芸術）：第3回シネマラヤ	フィリピン文化センター	07.07.20～ 07.07.29	デジタル映画祭「第3回シネマラヤ」の開催経費助成、ならびに同映画祭期間中に実施されるシンポジウムに、木村 美砂(SKIPシティ国際Dシネマ映画祭プログラミング・ディレクター)を招へい
43	小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン心理学会	フィリピン心理学会	07.08.16～ 07.08.18	フィリピン心理学会の年次総会開催経費助成。基調講演：山口 勸(東京大学教授)
44	小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン大学国際研究センター	フィリピン大学国際研究センター	07.09.05～ 07.09.12	ルソン島北部のイフガオに伝わる詠唱『フドゥフドゥ』と日本の能に関するワークショップ、学術会議、公演の実施経費助成
45	小規模助成（日本研究・知的交流）：ピース・ウーマン・パートナーズ	ピース・ウーマン・パートナーズ	07.09.11～ 07.09.20	平和と秩序構築のため、ミンダナオ地方のイスラムリーダーを含めた宗教、文化的背景の異なる女性によるフォーラム、円卓会議開催経費助成
46	小規模助成（文化・芸術）：ジェローム ロリコ	学校法人杉野学園／財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会	07.10.13～ 07.10.20	日本で行われた「第45回全国ファッションデザインコンテスト」(主催：財団法人ドレスメーカー服飾教育振興会等)の第一次審査に合格したジェローム ロリコへの作品製作経費助成。本選にて審査員特別賞を受賞

	事業名	助成団体	期間	事業内容
47	小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン大学アジアセンター	フィリピン大学アジアセンター	07.11.20～ 08.01.15	「ハボン：バギオにおける20世紀初頭の日本人社会」写真展の開催経費助成。「フィリピンへの日本移民の歴史、課題、今後」と題するシンポジウムをあわせて開催
48	小規模助成（日本研究・知的交流）：フィリピン・アニメーション協議会	フィリピン・アニメーション協議会	07.11.21～ 07.11.25	フィリピンのアニメーターによる作品を上映する「アニメマヘナション：ピノイ・アニメーション・フェスティバル」開催経費助成
49	小規模助成（日本研究・知的交流）：アテネオ・アジア研究センター	アテネオ・アジア研究センター	08.02.01	「アジアにおける宗教多元的共存、地域主義、グローバルイズムの宗教への影響」に関する会議実施経費助成
50	小規模助成（文化芸術交流）TUPADA	Tupada Action and Media Art	08.02.01～ 08.05.01	日本、フィリピン、中国、香港他世界各国からアーティストを招へいし、新しいメディアを活用したアート・パフォーマンスに関するフォーラム、ワークショップや公演を行う、第5回国際アクション・アート事業の開催経費助成。
51	小規模助成（日本研究・知的交流）：Philfeja	フィリピン元留学生協会	08.03.25	フィリピン人看護師・介護士の日本での就労問題に関する会議の開催経費助成。
	【後援事業】			
52	「第5回セブ日本語弁論大会」	セブ日本人会		「第5回セブ日本語弁論大会」への後援名義付与
53	つながりぶろじえくと企画 第2回フィリピンと日本の子どもの絵画展	チャイルド・ファンド・ジャパン	07.05.25～ 07.05.27	「愛=Love」をテーマとした、「第2回フィリピンと日本の子どもの絵画展」への後援名義付与
54	「ハウス・オブ・コンフォート・イン・大阪」	特定非営利活動法人大阪アーツ アポリア	08.01.25～ 08.01.27	フィリピンの現代芸術家アルマ キントによるアートワークショップ&フォーラム「ハウス・オブ・コンフォート・イン・大阪」への後援名義付与

ニューヨーク事務所

合計額 100,070,658円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
1	在米日本文化 専門家中南米 派遣（なら春 子）			在パナマ大使 館／在ホン ジュラス大使 館	07.11.01～ 07.11.10	在ホンジュラス大使館および在パナマ 大使館からの要請に基づき、ニュー ヨークに活動拠点を置くジャズピアニ スト、なら春子（コロンビア大学教育 学部助教授）とカメルーン出身の ヴォーカリスト、ジーノ・シトソンを 派遣し、公演およびレクチャー・デモ ンストレーションを行なった
2	在米日本文化 専門家中南米 派遣（石樽 雅代）			在ジャマイカ 大使館	07.11.09～ 07.11.11	在ジャマイカ大使館からの要請に基づ き、ニューヨークに活動拠点を置く 箏・地歌三味線演奏家、石樽 雅代（沢 井箏曲院ニューヨーク支部代表）を代 表とする邦楽グループ「綴音」を派遣 し、公演およびレクチャー・デモンス トレーションを行なった
3	在米日本文化 専門家中南米 派遣（加藤 幸子）			在ベレン総領 事館／在マナ ウス総領事館 ／在レシフェ 総領事館	08.03.17～ 08.03.27	在ベレン総領事館、在レシフェ総領事 館および在マナウス総領事館からの要 請に基づき、ニューヨークに活動拠点 を置くコンサート・ピアニスト、加藤 幸子（ラガーディア・カレッジ人文学 部講師）とヴァイオリニストの吉岡あ いり（メリーランド大学音楽学部講師） を派遣し、公演およびレクチャー・デ モンストレーションを行なった
	【講演・シンポジウム】					
4	在米日本文化 専門家中南米 派遣（徳 雅 美）			在コロンビア 大使館／在チ リ大使館／在 ペルー大使館 ／在ボリビア 大使館	07.10.28～ 07.11.10	コロンビア、ペルー、ボリビア、チリ の各大使館からの要請に基づき、徳 雅美（カリフォルニア州立大学チーコ 校芸術学部準教授）を派遣し、日本の 少女マンガに関する講演会を行なった
5	チャールズ・ ドゥウルフ氏 との夕べ				07.10.02	芥川龍之介の翻訳作品集「Mandarine」 の出版を記念を記念し、翻訳者を招い た講演会を実施（Archipelago Books 共催）

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
6	【映画】 大学巡回日本映画祭（中西部）			アイオワ大学／カンザス大学／クレイトン大学／シカゴ大学／ボーリンググリーン州立大学／ワシントン大学（ミズーリ州）／西ミシガン大学	08.01.22～ 08.03.28	最近の映画から5作品を選考し、日本文化が紹介される機会が比較的少ない地域において、巡回上映を実施
7	周防正行監督招聘				07.10.04～ 07.10.11	ニューヨーク映画祭における「それでも僕はやってない」の上映にあわせ、周防正行監督を招聘。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
8	【助成事業】 『最後の炎 時を超えた怪談』（PAJ）	CAVE Organization	07.04.01～ 07.11.08	在ニューヨークの黎明ダンスシアターが日本の怪談と百物語に着想を得て、新作『最後の炎 時を超えた怪談』を創作し、第3回ニューヨーク舞踏フェスティバルで発表した。石出 卓也、可世木 祐子、目黒 大路ら日本の舞踏家も参加
9	『暗黒の中で美を収穫する』（PAJ）	ダンサーズ・グループ	07.04.01～ 08.03.31	日米両国の舞踏家、桂 勘（京都）とソー・リーダー（サンフランシスコ）が土方 巽の残した「舞踏譜」を検討し、新しいグローバルな文脈において舞踏の詩学の再生を試みる目的で、新作『暗黒の中で美を収穫する』の制作に取り組んだ
10	『連続性／ムーヴメントの遮断：ライブ・シネマ』（PAJ）	ダンソロジー	07.04.01～ 08.03.31	在ニューヨークの舞踊家・振付家、クーシルジャ・ホワン（黄本 久美子）が人間存在、地理的・空間的認識や身体政治学といった概念を探求する目的で、ジェフ・マッターズ（作曲家）、カスパー・シュトラッケ（映像作家）とともに新作の制作に取り組んだ
11	『舞踏：アメリカ』（PAJ）	ジャパン・ソサエティ	07.04.01～ 07.10.27	ニューヨーク日本協会創立100周年記念事業の一環として、舞踏家の笠井 叡に新作を委嘱。オーディションで選ばれた5人の若手アメリカ人舞踏家が参加、新作は同協会の大野一雄生誕101周年記念シリーズで発表された
12	サウンド・スペース：日本／USA（PAJ）	リンクス・ホール	07.04.01～ 08.03.31	日米両国の8名の音楽家・舞踊家が全米3都市でレジデンシーを行い、それぞれの空間に呼応した作品を共同創作した。日本からは石川 高（笙）、西 陽子（箏）、高田和子（三味線）、内橋 和久（ギター／電子楽器）が参加。プロジェクト・ディレクターは作曲家でクラリネット奏者のジーン・コールマン

	事業名	助成団体	期間	事業内容
13	『ねじまき鳥クロニクル』(PAJ)	劇団マ・イー	07.04.01～ 08.03.31	在ニューヨークの劇団マ・イー・シアターカンパニーが、村上春樹の長編小説『ねじまき鳥クロニクル』に基づくマルチメディア作品の創作に取り組んだ。芸術監督はスティーヴン・アーンハート
14	現代日本戯曲の英訳と全米への紹介(PAJ)	プレイライツ・センター	07.04.01～ 08.03.31	演劇の研究と開発に取り組む在ミネアポリスのプレイライツ・センターが日本の現代戯曲2作品(松田 正隆、永井 愛)を英語に翻訳し、リーディングを行なった
15	スポットライト・ジャパン 日本の新作演劇(PAJ)	ニューヨーク市立大学	07.04.01～ 07.11.19	日本の新進気鋭の劇作家と在ニューヨークの劇団の交流を促進するニューヨーク市立大学(CUNY)大学院演劇センターのプロジェクト。宮沢 章夫『ニュータウン入口』、松田 正隆『アウト・ダ・フェ』、岡田 利規『エンジョイ』、矢内原 美那『青の鳥』を日米両国の演劇人の手で英語に翻訳、その成果の一端を前衛劇団の俳優がプレリウド演劇祭においてリーディング上演した
16	c(H)ord (PAJ)	ヤーバ・ブエナ芸術センター	07.04.01～ 08.03.31	韓国の伝統芸能、ロックンロール、ニューミュージック、ロイ・ハート式ヴォーカル訓練法、身体演劇など様々な分野のアーティスト9名が世界各国から集まり、新作『c(H)ord』の創作に取り組んだ。芸術監督は、サンフランシスコとベルリンに活動拠点を置くinkBoatの主宰者で舞踏家のシンイチ・コガ
17	POOOM (PAJ)	7 Loaves, Inc. AKA GOH PRODUCTIONS	07.04.01～ 08.03.31	在ニューヨークの舞踏家・振付家、中馬 芳子がマニプル(インド)、日本、米国でレジデンシーを重ね、各国の舞踏家や音楽家を巻き込みながら新作『POOOM』を創作に取り組んだ。日本からは般若帝國(尺八トリオ)、おおたか静流(ヴォーカリスト)、平野 共余子(ドラマターグ)らが参加。
18	東海岸日米学生リーグ2007	タフツ大学	07.04.06～ 07.04.08	日本のソフトパワーに焦点を当てたシンポジウム「Soft Power: Exporting Japanese Culture」をタフツ大学にて開催
19	『不老の水』(PAJ)	ニューヨーク芸術基金	07.04.14～ 07.11.04	イェーツの詩劇『鷹の井』に着想を得た舞踏家・振付家モーリーン・フレミングの新作『不老の水』の全米4都市ツアー。音楽は尺八奏者の中村 明一が担当。フレミングとともに巡回公演した
20	『堀川波鼓』	ペリシャブル・シアター	07.04.19～ 07.04.29	ロードアイランド州プロヴィデンスにおいて、在ニューヨークの劇団The Theatre of a Two-Headed Calfが近松門左衛門『堀川波鼓』を歌舞伎とパンクロックの融合による新たな解釈によって上演。アーティスト・トークや地元の学生を対象とするワークショップにも取り組んだ
21	2007年ロングアイランド桜祭り	ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校	07.05.05	日本文化紹介を目的として、ニューヨーク州立大学ストーニー・ブルック校日本センターの主催により、地元ロングアイランドの住民を対象に桜祭りを開催。盆栽や生け花から和太鼓や箏の演奏に至る多彩なプログラムを実施した

	事業名	助成団体	期間	事業内容
22	一戸小枝子ダンスカンパニー フィラデルフィア公演	一戸小枝子ダンス・カンパニー	07.05.06	フィラデルフィア美術館における「池大雅・徳山玉瀾」展の開催を祝し、一戸小枝子ダンスカンパニーが同美術館で公演を行なった
23	ウィーヴィング・ジャパニーズ・サウンドス・コンサート	フラクチャード・アトラス	07.05.11	日本の現代音楽をアメリカの聴衆に紹介することを目的にするWeaving Japanese Soundsが、一柳 慧、佐藤聡明、西村 朗の名作から長田 原、藤倉 大、高野マリら若手作曲家の作品を演奏。主宰者の加藤 幸子(ピアニスト)をはじめ、ニューヨークの現代音楽シーンを中心に活動する実力派の音楽家たちが出演した
24	『カンボジアの夢』(PAJ)	Inta, Inc. (Eiko & Koma)	07.05.24～ 07.06.29	在ニューヨークの舞踏家・振付家エイコ&コマがカンボジアの若手パフォーマー2名と新作『カンボジアの夢』を共同創作し、全米3都市を巡回公演した
25	ニューヨーク国際バレエ競技会	ニューヨーク国際バレエ競技会	07.06.04～ 07.06.24	ニューヨーク国際バレエ競技会に日本から森下 洋子が審査員として参加したほか、世界各国から集まった若手バレエダンサーとの交流を通じて彼らのメンターとしても貢献した
26	落語と太神楽の夕べ	ミドルベリー大学夏期日本語学校	07.07.08～ 07.07.17	ヴァーモント州のミドルベリー大学日本語学校とボストン近郊のタフツ大学において、学生と地元の一般市民を対象に、柳家さん喬、柳家左龍、柳家仙花の3名が落語と太神楽の公演を行なった
27	「金子潤」展	ノックスヴィル美術館	07.08.24～ 07.11.11	日本文化の露出の低いテネシー州東部のノックスヴィル美術館において、日米両国で活躍する名古屋出身の現代陶芸作家、金子潤の回顧展を開催。リソース・キットの配布、陶芸に関するパネルディスカッション、ガイドによる展示ツアーなど、充実した教育プログラムも提供された
28	アメリカン・ダンス・フェスティバル 日本特集	アメリカン・ダンス・フェスティバル	07.09.15～ 07.09.24	アメリカで最も由緒あるダンスの祭典、アメリカン・ダンス・フェスティバルが2008年の創立75周年記念シーズンにおいて日本特集を組むにあたり、同フェスティバルの共同芸術監督2名が訪日し、準備調査を行なった
29	サム・キャッツ・フロム・ジャパン2007 (PAJ)	キッチン	07.09.16～ 07.09.28	東京の前衛エレクトロニクス音楽シーンで創意に富んだ活動を展開する山川 冬樹、堀尾 寛太、伊藤 篤弘の3名に焦点を当てたパフォーマンスの北米3都市ツアー
30	サギノー日本祭	サギノー日本文化センター	07.09.22	ミシガン州サギノー市の日本庭園において日本文化祭を開催、地元の一般市民を対象に、茶道、日本舞踊、邦楽、日本料理などをレクデモ形式で紹介した
31	アトランタ日本祭	ジャパンフェスト	07.09.29～ 07.09.30	ジョージア州アトランタで開かれる米南部最大の日本文化祭。フロリダから祭座(和太鼓)と寺沢 政次(鉛細工師)が招かれたほか、地元アトランタを中心に活躍する様々な日本文化専門家が幅広いプログラムを実施した

	事業名	助成団体	期間	事業内容
32	「ジャマイカ・フラックス」展	ジャマイカ芸術学習センター	07.09.29～ 08.01.12	ニューヨーク・クイーンズ区のジャマイカ・アヴェニュー沿いの公共スペースで世界各国の現代美術作家のサイトスペシフィックな作品を展示。日本からは秋吉 恩、平川 滋子、市川 暁子の3名が参加。記念シンポジウムなど充実した教育プログラムも行なわれた
33	文楽2007年全米ツアー (PAJ)	ボストン日本協会	07.10.02～ 07.10.20	文楽の全米5都市ツアー。巡回各地では各種教育アウトリーチ・プログラムも実施された
34	鶴賀若挾掾の新内節と西川 古柳の八王子車人形 (PAJ)	ワシントン大学 (ミズーリ州)	07.10.05～ 07.10.19	人間国宝の鶴賀 若挾掾 (新内節) と西川古柳座 (八王子車人形) による全米4都市ツアー。セントルイスとアマーストでは大学生向けの教育プログラムも実施された
35	川本喜八郎『死者の書』上映会	人形劇芸術センター	07.10.06	ジョージア州アトランタの人形劇芸術センターにおいて、地元の大人と子供を対象に、川本喜八郎の人形アニメ映画『死者の書』を上映した
36	「青山悟」展	シカゴ文化センター	07.10.13～ 07.12.30	シカゴ文化センター (シカゴ文化局) 内のギャラリーにおいて、日米欧で活躍する若手現代美術作家、青山 悟の個展を開催。シカゴ・ロンドン・東京という3つの都市に焦点を当て、場所の匿名性と文化的アイデンティティーを探求する作品群が展示され、会期中はアーティスト・トークなどの教育プログラムも行なわれた
37	「踊る男たち 能から舞踏へ」展	ニューヨーク公共図書館	07.10.15～ 08.01.05	ニューヨーク公共舞台芸術図書館において、伊藤 美露の撮影による舞踏と能の写真展を開催。ニューヨーク日本協会創立100周年およびニューヨーク舞踏フェスティバルの記念企画。
38	千日前青空ダンス倶楽部 ニューヨーク公演	パフォーマンス・スペース122	07.10.18～ 07.10.21	ニューヨーク日本協会創立100周年を記念し、千日前青空ダンス倶楽部がニューヨークを代表する前衛パフォーマンス・スペースPS122で『夏の器』の連続公演を行なった
39	「田中泯」展	P.S.1現代美術センター	07.10.21～ 08.01.24	P.S.1現代美術センター (ニューヨーク近代美術館の分館) において、日本を代表する舞踏家、田中 泯の芸術を紹介する回顧展を開催。岡田 正人撮影の写真作品を展示するほか、11月半ばには田中自身がニューヨークを訪れ、同センターで公演を行なった。
40	有原誠治『NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘』上映会	キッズ・フォー・ザ・フューチャー	07.10.25	国連軍縮週間の一環として、有原 誠治監督の長編アニメ『NAGASAKI1945 アンゼラスの鐘』を小中高校生を対象に国連本部で上映。国連日本政府代表部、国連国際学校、国連軍縮部などが協力。
41	近藤譲とロバート・ウィルソン	ワークス&プロセス	07.11.18～ 07.11.19	グッゲンハイム美術館において、アメリカ実験音楽の系統を汲む現代音楽作曲家、近藤 譲 (お茶の水大学教授) とロバート・ウィルソンの振付・演出による共同創作作品を発表。両アーティストによるディスカッションも行なわれた

	事業名	助成団体	期間	事業内容
42	ジェームズ繁田映画祭	ニューヨーク大学	07.12.06～ 07.12.07	ニューヨーク大学アジア／太平洋／アメリカ研究所の主催による、日系人俳優ジェームズ繁田の出演作『クリムゾン・キモノ』『太陽にかけける橋』の上映会。戦後アメリカを代表する二枚目の日系人俳優としてアジア人に対するステレオタイプの打破の先頭に立ってきた繁田をゲストに招き、ハリウッド映画におけるアジア（系）アメリカ人のイメージ変遷を検討。
43	「吉田 亜世美」展	北イリノイ大学付属美術館	08.01.02～ 08.03.07	日本文化の露出の低いイリノイ州デカブ市の北イリノイ大学付属美術館において現代美術作家、吉田 亜世美の個展を開催。19世紀から現代までの日本版画を比較する「日本における国家／国際意識」展の一部。アーティスト・トーク、学芸員によるレクチャー、武蔵野美術大学学生との交流など充実した教育プログラムも行なわれた
44	No Borders, No Limits: 日活アクションシネマ, 1960-1964	UW Cinemtheque	08.02.02～ 08.02.23	ウイスコンシン大学マディソン校に併設するCinemthequeにおいて日活アクションシリーズの上映を実施
45	カンボジア舞台芸術支援事業	Leveraging Investments in Creativity (LINC)	08.02.14～ 08.02.20	日本とカンボジア外交関係樹立55周年を記念した舞台芸術家による文化交流事業。カンボジアのプノンペンにて現地アーティストとアメリカ、およびインドネシアのアーティストやプロデューサーと交流セミナーを行い、カンボジアの若者を刺激すると共に、訪れる外国芸術家たちの現地への理解も深めた。
46	ネブラスカ・ウェズリアン大学国際映画祭	ネブラスカ・ウェズリアン大学	08.02.17	日本文化の露出の低いネブラスカ州リンカーンのウェズリアン大学における国際映画祭の一環として、是枝 裕和監督『誰も知らない』の上映を行なった
47	ミュージック・フロム・ジャパン2008年フェスティバル (PAJ)	ミュージック・フロム・ジャパン・インク	08.02.23～ 08.02.29	日本の打楽器奏者の第一人者、山口 恭範と龍笛・尺八演奏の第一人者、笹本 武志を中心とするアンサンブルの全米4都市ツアー
48	春一番 - 日本から音のそよ風	World Music Institute	08.03.18～ 08.03.22	ワールド・ミュージック・インスティテュートはイーストビレッジのドロムにて邦楽を紹介。日本から琴奏者八木美知依、尺八奏者大由鬼山、および前衛電気音楽家藤川清が招聘され、米国在住アーティストでは太鼓座や和風が出演した。
49	日本関係教育者パートナーシップ構築プロジェクト	Japan Special Interest Group	08.03.18	日本の教育に関する研究者間のネットワーク構築を目的とした「Japan Special Interest Group」の設立とコロンビア大学での第一回会合を開催
50	ミシガン日本食文化祭	Japan America Society of Greater Detroit and Windsor	08.03.26	デトロイト日米協会、在デトロイト日本総領事館、およびキッコーマン社が共催し、食を通して日本文化を紹介。寿司シェフや日本酒ソムリエによるデモが実施され、日本食への関心を増強した。

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【後援事業】			
51	国際七五三	インターナショナル・シントウ・ファンデーション	07.11.03～ 07.11.04	日米両国間のより深い相互理解に寄与することを目的として、子供の成長を感謝し、将来の幸福を祈るという日本古来の伝統文化行事である七五三をニューヨーク日本協会で開催。

ロサンゼルス事務所

合計額 134,112,526円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
【講演・シンポジウム】						
1	文字レク チャー・デモ ンストレー ション	サンタフェ ユージン ラスベガス ロサンゼルス ワシントン	サンタフェ大 学 レーン・コ ミュニ ティー・カ レッジ ネバダ大学ラ スベガス校 アラタニ日米 劇場 ワシントン大 学	サンタフェ大 学 ネバダ大学 レーン・コ ミュニ ティー・カ レッジ ワシントン大 学 日米文化会館	07.09.28～ 07.10.10	阿辻 哲次（漢字・象形文字の専門家 ／京都大学院教授）を米国5都市（ロサ ンゼルス／ユージン／シアトル／サ ンタフェ／ラスベガス）に派遣し、講 演及び書のデモンストレーションを実 施。
2	着物レク チャー・デモ ンストレー ション	ロサンゼルス （サンタアナ） ラスベガス	日米文化会館 カリフォルニ ア大学ロサン ゼルス校 韓国文化院 サハラ・ウエ スト図書館	日米文化会館 カリフォルニ ア大学ロサン ゼルス校 韓国文化院 ネバダ日米協 会	08.03.11～ 08.03.17	富田 伸明（着物スタイリスト）と熊 木 馨（着付師）の両氏を招き、着物 に関する講演と着付けショーをラスベ ガス／ロサンゼルス／サンタアナで実 施。本事業では韓国文化院との日韓コ スチューム講演会・展覧会「スプレー ダー・オブ・アジア」と6つの共催機関 との巡回講演会「シー・オブ・シルク」 の2つの企画を同時開催。
【日本語教育】						
3	リーダー教師 育成研修	オックス フォード	ミシシッピ大 学	ミシシッピ大 学 全米日本語教 師会連合	07.06.18～ 07.06.22	日本語教師及びそのリーダー育成を目 的とした地方巡回研修。オンラインと 実地の2部構成。教師会設立の機運が 高まりつつある南部（ミシシッピ州・ アラバマ州・アーカンソー州・テネシー 州・ケンタッキー州等々）周辺の教師 を中心に研修を開催、教師会設立に向 けての具体的な話し合いを実施。
4	日本語教育専 門家会議	ロサンゼルス	国際交流基金 ロサンゼルス 事務所	米国日本語教 師会連合 （AATJ）	07.10.27～ 07.10.28	オンラインによる教師養成講座の開発 再開へ向けた専門家会議を開催。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
5	米国外語教育協会日本語教師会活動支援	サン・アントニオ	マリオット・リバーセンター	全米日本語教師会 (NCJLT) 米国外語教育協会 在ニューヨーク総領事館	07.11.16～ 07.11.18	米国外語教育協会 (ACTFL) 年次総会期間内に全米日本語教師会 (NCJLT) が主催する日本パビリオンにブースを出展。各地から参加する日本語教師の交流及び情報交換の場を提供。 また、期間内にNCJLTが主催するパンケット及び日本パビリオンの開催を支援することで、各地から参加する日本語教師の交流及び情報交換の場を提供。
6	日本語教育ジョイント・プロジェクト				08.01.01～ 08.03.31	オンラインによる教師養成講座 JOINT(ジョイント) の開発を支援。 専門家による準備会合を開催。
7	日本語教育コンサルティング委員会 (予備審査会)	ロサンゼルス	国際交流基金 ロサンゼルス事務所		08.01.11	平成20年度対米日本語関係プログラムの予備審査過程として、米国在住日本語専門家3名による委員会を開催。
【図書館運営】						
8	図書館運営	ロサンゼルス	国際交流基金 ロサンゼルス事務所		07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金ロサンゼルス事務所に併設されている図書館の運営。日本語教育専門図書館であり、主な利用者層は日本語教師。一部、日本研究、日本文化・芸術に関する書籍も所蔵。
【出版・広報】						
9	日本語教師向けニューズレター発行『ブリーズ』	ロサンゼルス			07.04.01～ 08.03.31	全米の日本語教育関係者によるエッセイや、米国における日本語教育事情の調査結果等を報告する情報誌をオンラインで刊行
10	中学・高校生向け日本語情報誌発行『ワフー!』	ロサンゼルス			07.04.01～ 08.03.31	中学・高校で日本語を学習する生徒を対象に作成した日本語学習ウェブマガジン。日本文化紹介と遊びの要素を含んだ自習用日本語練習問題から構成されている。中学・高校に加えて全米各地の日米協会・在米公館にもオンラインにより紹介
11	広報強化策 (DVD制作)	ロサンゼルス	国際交流基金 ロサンゼルス事務所		07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金ロサンゼルス事務所事業全般の広報を強化するための対策として、事務所主催イベントを紹介するDVDを制作。
【本部事業受入】						
12	巡回展「武道の精神」	ロサンゼルス	日米文化会館		07.09.15～ 07.11.10	巡回展「武道の精神」開催。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
13	日本語教材寄贈プログラム	ロサンゼルス			07.04.01～ 08.03.31	米国向け日本語教材寄贈プログラムを運営。
14	アドバンス ト・プレース メント・プロ グラム年次総 会出張	ラスベガス	ベラジオホテ ル		07.07.12～ 07.07.14	アドバンスト・プレースメント・プログラム全国大会に伊藤 雅夫（国際交流基金ロサンゼルス事務所長）が出席し、本プログラムの日本語について協議。
15	米国芸術見本 市	ロサンゼルス	ビルトモアホ テル		07.08.29	米国地方芸術見本市を視察。
16	アドバンス ト・プレース メント・プロ グラム日本語 試験作成委員 会会合	ニューヨーク	カレッジ・ ボード		07.08.17～ 07.08.19	AP日本語試験作成委員会会合に渡邊真紀（国際交流基金ロサンゼルス事務所専任講師）が出席
17	米国邦楽公演	ロサンゼルス	アラタニ日米 劇場 南カリフォル ニア大学	日米会館 南カリフォル ニア大学	08.01.16	米国邦楽公演。南カリフォルニア大学での無料公演をアラタニ日米劇場での一般公演を開催。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
18	文化・芸術ミニグラ ント（マコ 岩松追 悼上映会）	オーロラ日本語奨学 基金	07.04.29～ 07.04.29	2006年永眠したマコ 岩松（ハリウッドスター）を追悼するために企画された映画上映会。山田 洋次脚本、主演マコ 岩松の作品『祖国』とマコ岩松の父である八島太郎（画家）のドキュメンタリー『画家・八島太郎 慈しむ生命』の2作品を上映。
19	文化・芸術ミニグラ ント（マコ岩松追悼 イベント）	イースト・ウエス ト・プレーヤーズ	07.05.06	2006年永眠したマコ 岩松（ハリウッドスター）を追悼するために企画されたイベント。マコ 岩松が立ち上げたアジア系俳優のための演劇団体が主催し、主演映画『The Wash』を上映、同氏をよく知る演劇界の人々によるパネルディスカッションを開催。
20	文化・芸術ミニグラ ント（舞踏の夕べ）	ハイウェイズ・イン コーポレーション	07.05.25～ 07.05.26	桂 勘（舞踏家）がロサンゼルスとサンフランシスコにおいて米国人ダンサーと共演した舞踏公演。現代美術作品の展示も同時に実施。
21	文化・芸術ミニグラ ント（床の間 日本 文化祭）	サングレ・デ・クリ スト・アーツ・アン ド・コンファランス センター	07.06.15	子供美術館で開催された日本祭。2つの施設で現代日本文化としてアニメ展示（ジブリ美術館協力のネコバスやアニメセル画）及び伝統的文化として茶室や浮世絵・書道の展示を、また日本風・折り紙・しおり作り・書道のワークショップや太鼓・空手のパフォーマンスを実施。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
22	日本語教育ミニグラント（米国北東部日本語教師会ニューイングランド日本語教師会合同学会）	米国北東部日本語教師会（NECTJ）	07.06.23～ 07.06.24	米国北東部における初中等レベルの教師会（米国北東部日本語教師会）と、高等レベルの教師会（ニューイングランド日本語教師会）の合同学会。これら2つの教師会は長年にわたり別々に活動してきたが、平成18年度から教育レベル間の連携向上を意識して、共同企画として教師研修会を実施。本研修では、日本語教育の教授法についての講演を開催。
23	日本語教育ミニグラント（米国南東部日本語教師会大会）	米国南東部日本語教師会（SEATJ）	08.02.29～ 08.03.02	米国南東部の日本語教師を対象とした学会。畑佐 一味（パデュエ大学教授）が自身の著書である日本語教材『なにかま』を取上げながら、初級教科書における周辺サポートのあり方について講演。
24	文化・芸術ミニグラント（ザ・サイクル・プレイヤーズ）	シアター・オブ・ユージェン	07.07.07	ユリコ・ドイ（パーフォーマー）はサンフランシスコ州立大学演劇学部卒業後、日本で野村 万作の弟子となり、帰米のちに西洋舞台とのコラボレーションした劇団を創設。本イベントはドイによる伝統的な能に米国人による演出を加えた実験的な舞台。
25	文化・芸術ミニグラント（全米相撲選手権）	全米相撲協会	07.08.18	毎年日本で開催される世界相撲選手権の米国代表を決定する公式トーナメント。本大会は日本相撲協会から公式認定を受けた米国内唯一のトーナメントであり、今年からトロイ・コリンズ（新会長／現職ロサンゼルス市警察官）を迎え、さらに活動が活性化。
26	文化・芸術ミニグラント（源氏物語の世界）	パシフィック・アジア美術館	07.08.26	世羅 博昭（四国大学教授）が平安時代の文学『源氏物語』をテーマに講演し、平安時代の装束のファッションショー（着付けも含む）を同時開催。
27	文化・芸術ミニグラント（ジャパニーズ・アウトロー・マスターズ）	アメリカン・シネマテーク	07.09.06～ 07.09.09	アウトローマスターズと題し1950から1980年代の映画6本（今村 昌平、工藤 栄一、岡本 喜八、鈴木 清順作品）を特集上映。
28	日本語ミニグラント（ジョージ・ワシントン大学）	ジョージ・ワシントン大学	07.10.15～ 08.02.15	既存の日本語ウェブ教材に、フラッシュ・アニメーション追加、ナレーション編集、及びクイズ作成等の作業を行ない、コンテンツの改良プロジェクトを実施。
29	日本語ミニグラント（フロリダ州日本語教師会）	フロリダ州日本語教師会	07.10.18～ 07.10.20	「2007年フロリダ州外国語教師会大会」日本語部門においてサンディー・ガルシアを基調講演者に招き、「Total Physical Response Storytelling」を利用した日本語教授法についてのワークショップを実施。
30	文化・芸術ミニグラント（日本音楽および文化祭）	パシフィック大学音楽学部	07.10.24～ 07.10.26	サンフランシスコ郊外ストックトンのパセフィック大学音楽学部における3日間の日本音楽祭。日本から作曲家・湯浅譲二、尺八奏者・倉橋義雄を招き、コンサートを開催。
31	文化・芸術ミニグラント（日本音楽コンサート、レクチャーデモンストレーション）	ハーモニー・ヒューマニティー・インコーポレーション	07.10.27～ 07.11.03	太宰みつき（生田流インストラクター）とピーター・ヒル（京都琴古流）による琴と尺八の演奏会。ワークショップと和楽器展示も同時開催。

	事業名	助成団体	期間	事業内容
32	文化・芸術ミニグラ ント（大和楽ワーク ショップ）	松豊会	07.10.28	大和楽とは大正から昭和にかけて今までにない新しい日本の音楽を創作するために大倉 喜七郎が始めたもの。米国の学生に向けて琴、三味線、太鼓を融合した大和楽を通して日本の音楽を紹介するイベント。パフォーマンスのあとにはワークショップを開き、和楽器にもっと親しんでもらう交流の場を提供。
33	日本語教育ミニグラ ント（全米日本語教 師会運営規約改定）	全米日本語教師会 （NCJLT）	08.01.01～ 08.10.31	2007年秋に実施した全米日本語教師会主催の代表者会議において、同教師会の抜本的な組織改革の必要性が大きく取り上げられ、その解決策の一環として、教師会運営規約の見直し・改定を行なうための手続を開始。
34	文化・芸術ミニグラ ント（事始め）	日米文化会館	08.01.06	『初昔』というタイトルで3つの舞台で構成された新年行事パフォーマンス。儀式的な弓道のパフォーマンス、カルバンスクールの少女ダンサーによるコンテンポラリーのパレーダンス、日本から招待した日本舞踊家によるパフォーマンスが披露され、地元コミュニティと日系コミュニティの共同文化イベント。
35	文化・芸術ミニグラ ント（ヒダノ・スー パータイコ・コン サート）	ソーゼンジ・ブディ スト・テンプル	08.02.16	ヒダノ修一（太鼓奏者）がロサンゼルスポップミュージシャン、ジェニファー バトゥン（ギターリスト）やジョン ロビンソン（ドラマー）、ケビン メッツ（津軽三味線）そして地元タイコグループと共演したコラボレーションコンサート。伝統的な民謡を太鼓やギターを使って現代的に表現、また和太鼓でポップミュージックを演奏した先駆的コンサート。
36	日本語教育ミニグラ ント（カリフォルニ ア州日本語学園協会 年次総会/ワーク ショップ）	カリフォルニア州日 本語学園協会 （CAJLS）	08.02.16	片岡裕子（カリフォルニア州立大学ロングビーチ校教授）を招き、継承日本語学校の教師を対象にナショナル・スタンダーズについての講演を開催。
37	日本語教育ミニグラ ント（アクトフル・ ガイドライン・ワー クショップ）	アリゾナ州日本語教 師会	08.02.17	スワコワタナベ（ポートランド州立大学日本語講師）をゲストスピーカーに招きACTFL Proficiency Guideline（全米外国語教育協会が策定した能力ガイドライン）についての講演を開催。
38	日本語教育ミニグラ ント（日本語実践言 語学国際大会）	北加日本語教師会	08.03.01～ 08.03.02	言語学の専門家が日頃の研究成果を発表するとともに、現場の日本語教師が、それらの最新専門知識をいかにして普段の指導に取入れていくべきか考察。
39	文化・芸術ミニグラ ント（「甘さ苦さ」現 代日本の少女写真 展）	カリフォルニア大学 ロサンゼルス校社会 学部	08.03.14	蛭川実花（写真家）と原美樹子（写真家）の写真展とパネルディスカッション。中村浩美（東京都写真美術館学芸員）、シャロット コットン（ロサンゼルス群美術館）、ローラ ミラー（ロヨラ大学シカゴ校）シャロン キンセラ（オックスフォード大学）、毛利 嘉孝（東京藝術大学）による日本のポップカルチャーと写真に関して公開討論も開催。

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
40	文化・芸術ミニグラ ント（フロム・ザ・ ビレッジ）	ポートランド・タイ コ	08.03.14～ 08.03.15	ポートランドの地元太鼓グループと日本から招待した花 結（はなゆい）の共演コンサート。花結とは小島千絵子 が率いる日本の唄や踊りの公演活動を行うグループ。 14.15日は琴・三味線・太鼓のパフォーマンスを行い、 17.18日はタイコセンターにてワークショップを開催。
41	日本語教育ミニグラ ント（ワシントン近 郊アドバンスト・プ レースメント・プロ グラム・フォーラム）	ジョージメイソン大 学	08.03.17	ワシントンDC, メリーランド州, バージニア州の日本語 教師を対象に、アドバンスト・プレイスメント日本語テ ストをテーマに勉強会を実施。平成19年度から開始され たばかりの同日本語テストに対する理解増進および初中 等・高等教育間のアーティキュレーション向上を目的と した事業。
42	文化・芸術ミニグラ ント（ジャパン・イ ン・アメリカ）	タウン・ホール・ア ソシエーション	08.03.18～ 08.03.23	シアトルの文化会館が企画した日本音楽の紹介イベン ト。日本から山上 すずむ（三味線）、渡辺 薫（笛）を 招待し、地元のミュージシャンであるケニー 遠藤（太 鼓）やシアトル古今太鼓が共演する日本人と日系人のコ ラボレーションコンサートを開催。

メキシコ事務所

合計額 36,114,592円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【講演・シンポジウム】					
1	日本のフィギア祭	メキシコ市	3文化広場及びパサグエロ文化センター	在メキシコ日本大使館	07.11.02～ 07.11.12	日本大使館との共催で、日本のポピュラー文化を紹介するために日本からフィギア製作師を招へいし、フィギアやポピュラー文化に関するワークショップや討論会を実施
	【日本語教育】					
2	日本語教育ボランティア事業	メキシコ市	メキシコ国立自治大学外国語教育センター	メキシコ日本語教師会	07.04.01～ 08.03.31	メキシコの日本語学習者に日本人と会話する機会を与えるため、メキシコに在住する日本人にボランティアとして協力を求め、日本語学習機関の授業に参加するシステムを、メキシコ日本語教師会と共同で開発する
3	日本語教師研修ブラッシュアップコース	メキシコ市	メキシコ国立工科大学イスタカルコ校	メキシコ日本語教師会及びメキシコ国立工科大学	07.05.19～ 07.11.24	メキシコ人日本語教師の日本語運用能力の向上を目指して、5月から11月までの期間に合わせて14回のレッスンを実施。メキシコ人教師18名がこのコースに参加。
4	日本語教師夏期集中講座	メキシコ市	在メキシコ日本大使館広報文化センター	メキシコ日本語教師会及び在メキシコ日本大使館	07.07.02～ 07.07.03	メキシコ日本語教師会と共催で、テストの作成を主なテーマとするワークショップを2日間開催
	【図書館運営】					
5	図書館運営	メキシコ市	国際交流基金メキシコ日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	日本の図書、日本語教材、日本に関するスペイン語および英語の図書、その他、日本文化を紹介するための視聴覚資料を収蔵した図書館を運営
	【出版・広報】					
6	広報誌の発行	メキシコ市	国際交流基金メキシコ日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	メキシコにおける日本語教育に関する情報誌「El Patio」を年3回各500部発行。日本語教授法や教材に関する情報を提供し、国内で開催される日本語教育に関する催し、日本語教育機関の活動などを紹介
7	ホームページの運営	メキシコ市	国際交流基金メキシコ日本文化センター		07.04.01～ 08.03.31	ホームページを運営し、基金の活動およびメキシコにおける当所の事業について広報する

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
8	情報発信機能強化	メキシコ市	国際交流基金 メキシコ日本 文化センター		07.04.01～ 08.03.31	日本の芸術に関する最新状況を紹介することで、日本の芸術に対する関心を高めるとともに、それぞれの分野の専門家が日本の芸術紹介事業を企画したいと考えた場合に役立つ情報を提供するため、スペイン語による日本の文化芸術関係情報の発信のためのホームページを運営
【本部事業受入】						
9	今村昌平監督特集	メキシコ市	メキシコ国立 シネマテーク	メキシコ国立 シネマテーク	07.07.12～ 07.07.22	メキシコ国立シネマテークとの共催により今村昌平監督作品特集上映を実施
10	日本文学に関する講演会	メキシコ市及び グアダハラ市	ベジャ・エポ カ文化センター 及びエキスポ・ グアダハラ	フォンド・ デ・クル トゥーラ・エ コノミカ出版	07.11.25～ 07.12.03	グアダハラ国際図書展において、日本の作家による文学の講演会を開催。メキシコシティでも講演会等を実施
11	第21回グアダハラ国際図書展	グアダハラ市	エキスポ・ グアダハラ	フォンド・ デ・クル トゥーラ・エ コノミカ出版	07.11.25～ 07.12.03	中米地域で影響力のある国際図書展において、中米スペイン語圏全体に向けて日本の出版文化の情報を提供

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
12	第3回メキシコ中部地方日本語弁論大会	グアナファト大学語学学校	07.10.07	メキシコ中部地方の日本語教育機関で学ぶ日本語学習者による日本語弁論大会をグアナファト大学にて開催
13	第5回ベラクルス州日本語弁論大会	ベラクルス日本語教師会	07.10.27	ベラクルス州の日本語教育機関5校が参加して、日本語学習者による日本語弁論大会をクリストバル・コロソ大学にて開催
14	キューバ沖縄移民到着100周年記念事業	箏箏会(かそうかい)	07.10.24～ 07.10.28	キューバ沖縄移民到着100周年記念事業として実施された、メキシコ在住の箏演奏グループの旅費を助成
15	ショート・ショート・フィルム・フェスティバル・メキシコ2007	プロモフィルムフェスト	07.09.06～ 07.09.13	フェスティバルにおいて特集された日本の短編映画を上映するための経費を助成
16	第12回ラテンアメリカ・アジア・アフリカ研究協会(ALADAA)総会	ラテンアメリカ アジア・アフリカ学会	07.10.17～ 07.10.19	ラテンアメリカ地域のアジア、アフリカ研究者の学会であるALADAAの国際大会に参加し発表を行う日本研究者の旅費を助成
17	ポエシア・エン・ボス・アルタ2007	カサ・デル・ラゴ	07.09.27～ 07.10.13	メキシコ市で開催された国際的な詩の祭典に日本から参加した詩人の旅費を助成

	事業名	助成団体	期間	事業内容
18	MUTEK MEXICO	MUTEK フェスティバル2007実行委	07.10.08～ 07.10.13	メキシコ市で開催された電子・デジタル音楽の国際フェスティバルに参加した日本人アーティストの旅費を助成
19	国立芸術院におけるダンス公演	メキシコ国立芸術院	07.10.25	国立芸術院がメキシコ市内の劇場で実施した日本のコンテンポラリーダンス公演に際して、劇場側通訳の経費を助成
20	戦後日本の美術に関する講演会	エル・コレヒオ・デ・メヒコ	07.10.29～ 07.10.31	エル・コレヒオ・デ・メヒコにて開催された戦後日本の美術に関する講演会の通訳経費を助成
21	ホンジュラスにおける剣道デモンストレーション	メキシコ剣道連盟	07.11.01～ 07.11.03	在ホンジュラス日本大使館、ホンジュラス剣道連盟等が主催した剣道のデモンストレーションに、メキシコ在住の剣道家が参加するための旅費を助成
【文化備品・視聴覚資料貸出】				
22	日本生活写真パネル	グアダラハラ日本文化交流学院、銀行・商業大学校	07.04.01～ 08.03.31	グアダラハラ日墨文化交流学院（グアダラハラ市）が主催した日本文化週間等のイベントに日本生活写真パネルを貸し出し
23	日本玩具セット		07.04.01～ 08.03.31	（テウアカン市役所が主催した日本文化週間等のイベントに日本玩具セットを貸し出し）
24	京都写真	文化人道発展総合センター	07.04.01～ 08.03.31	日本文化週間等のイベントに京都写真を貸し出し
25	茶道セット	グアダラハラ日本文化交流学院、メキシコ国立高等学校	07.04.01～ 08.03.31	グアダラハラ日墨文化交流学院（グアダラハラ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催する日本文化週間等のイベントに茶道セットを貸し出し
26	原田泰治画伯絵画	ソシエダ・シビル・エン・マルカ、メキシコ国立高等学校	07.04.01～ 08.03.31	ソシエダ・シビル・エン・マルカ（サン・ミゲル・デアジェンデ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催した日本文化週間等のイベントに原田泰治画伯絵画を貸し出し
27	原研哉現代ポスター	メキシコ国立シネマテーク、カフェ・フィルム、サン・ルイス・ポトシ大学、文化人道発展総合センター	07.04.01～ 08.03.31	プエブラ大学（プエブラ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催した、日本文化週間等のイベントに日本の世界遺産写真パネルを貸し出し
28	ふろしき	パン・アメリカン大学	07.04.01～ 08.03.31	パン・アメリカン大学（メキシコ市）が主催した日本文化週間等のイベントにふろしきを貸し出し
29	日本の世界遺産	プエブラ大学、メキシコ国立高等学校	07.04.01～ 08.03.31	プエブラ大学（プエブラ市）、メキシコ市内の国立高校等が主催した、日本文化週間等のイベントに日本の世界遺産写真パネルを貸し出し

ロンドン事務所

合計額 201,809,998円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【展示】					
1	事務所備付展示セット運営	ウォキング ワットフォード ロンドン	RHS Garden Wisley ワットフォードカレッジ 在英国大使館		07.04.01～ 08.03.31	「日本の世界遺産」の写真パネルセットを外部機関に貸し出し、展覧会を実施
	【公演】					
2	在欧州専門家派遣プログラム：華道専門家派遣（イエメン）	サナア	イエメン大使館	在イエメン大使館	07.11.10～ 07.11.14	英国在住の華道専門家芳野 敬子他1名を、在イエメン大使館の要請によりサナアに派遣、活け花レクチャー・デモンストレーションを実施
3	在欧州専門家派遣プログラム：和太鼓専門家派遣（UAE）	アブダビ／ドバイ	アブダビ文化財団オーディトリウム／ドバイコミュニティシアター	在アラブ首長国連邦大使館／在ドバイ総領事館	07.11.24～ 07.11.27	英国在住の太鼓演奏者廣田 丈自他2名を、在アラブ首長国連邦大使館の要請により、アブダビならにドバイ公演出演を目的に派遣
4	『東京ノート』ドラマリーディング	ロンドン	国際交流基金ロンドン事務所	チャプターアーツセンター	08.02.09	平田 オリザ作の『東京ノート』のリーディングを、チャプターアーツセンターの協力で実施。また、リーディング後には、演出家のジェイムス タイソンと平田 オリザとの対話、また観客を交えての質疑応答の時間も設定
	【講演・シンポジウム】					
5	鴻上 尚史対談イベント	ロンドン	国際交流基金ロンドン事務所	ブッシュシアター／エイミーカサイリミテッド／第三舞台	07.06.26	ブッシュシアターでの『トランス』の英語版上演期間に、関連事業として、鴻上 尚史とニコラス バーター（前ロイヤルアカデミーオブドラマティックアーツ校長）の対談会を開催
6	Design Nippon イベント	ロンドン	国際交流基金ロンドン事務所	トップドローワー/テントロンドン/アイコノクラスム	07.09.12	トップドローワー、テントロンドン、アイコノクラスム、という3つのデザインショーの協力を得て、若手日本人出品作家7名による、プレゼンテーションならびに質疑応答の会を開催

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
7	日本映画講座シリーズ	ロンドン	ブリティッシュフィルムインスティテュート/国際交流基金ロンドン事務所	ブリティッシュフィルムインスティテュート	07.10.10～ 07.12.05	日本映画がたどってきた軌跡を60年代から現代までを6回にわけて概説する連続講座シリーズを開催。また、ブリティッシュフィルムインスティテュートの協力を得て、「日本映画とは何か」をテーマに、講座の総まとめともいえるセミナーを12月に実施
8	【映画】 主催映画祭	エディンバラ シェフィールド ブリストル ベルファスト ロンドン	フィルムハウス ショールーム ウォーターシェッドメデアセンター クイーンズフィルムシアター インスティテュートオブコンテンポラリーアーツ	フィルムハウス ショールーム ウォーターシェッドメデアセンター クイーンズフィルムシアター インスティテュートオブコンテンポラリーアーツ	08.02.09～ 08.03.22	日本映画を特徴づける要素として受け取られがちな暴力やセックスなどを故意に強調せず、現代の複雑な日本社会に生きる人々の生き方や思想を丁寧に描いた秀作6本を集め、巡回上映会を実施。上映作品は、『いつか読書する日』、『ストロベリーショートケイクス』等
9	【日本語教育】 日本語教育関連セミナー・会議参加	マンチェスター	マンチェスター・コンファレンスセンター他		07.04.30～ 08.03.01	情報収集及び関係者とのネットワーク構築を目的とし、WJEC会議（4月）、IBOミーティング（4月）、Language Bridgeミーティング（6、9月）、ALLセミナー（6月）、オリエンタル・ランゲージコンファレンス（6月）、BATJ発表大会（9月）、プライマリー・ランゲージショウ（2月）へ参加。又、各地の学校で開催されたJapan Dayも訪問
10	アイルランド日本語教師会共催セミナー	ダブリン	ダブリン市立大学	アイルランド日本語教師会／ポスト・プライマリー・ランゲージ・イニシアティブ（PPI）	07.05.19～ 08.02.23	アイルランド日本語教師会の要請により、支援活動として日本語アドバイザーが研修会を開催。3回開催

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
11	日本語教育研修会・出張指導(主催)	ロンドン	国際交流基金 ロンドン事務所 所他		07.06.06～ 08.03.03	日本語を導入していない学校長等に日本語教育についてレクチャーを行うHead Start、これら学校にボランティアによる日本語紹介を行うStep Out Net事業及び当該ボランティア育成のためのTraining Dayを実施。また、Talking Contemporary Japanと題して1シリーズ(全4回)の上級者向けの日本語講座を3シリーズ行った他、ロンドン事務所独自開発のGCSE用教材「CHIKARA」を取り上げたワークショップを3回実施。
12	日本語カップ(中等教育レベル向け日本語スピーチコンテスト)	ロンドン	在英国大使館	ジャパニーズランゲージコミティ(JLC)／在ロンドン大使館	07.06.23	中等レベルの日本語スピーチコンテストをJLC(Japanese Language Committee)、在英国大使館と共催で実施。
13	BATJ共催セミナー	ロンドン	国際交流基金 ロンドン事務所 所他	英国日本語教育学会(BATJ)	07.09.06～ 08.03.16	英国日本語教育学会と、ヨーロッパ日本語教育シンポジウムが合同開催され、内外の講師による講演や発表が行われた。又、英国日本語教育学会との共催で3回ワークショップを開催。いづれも会場を提供
14	日本語教育関係展示イベント	ロンドン	ロンドンオリ ンピア	国際観光振興 機構ロンドン 事務所 JP-BOOKS	07.11.02～ 07.11.04	3日間に渡って開催される外国語教育に関する総合的な見本市の「Language Show 2007」に参加。JPブックスと、国際観光振興機構との三者共催で出展した
15	日本語教育研修会・出張指導(共催)	ロンドン	国際交流基金 ロンドン事務所 所	Edexcel等	07.11.12～ 08.02.15	英国における言語に係る試験の関係機関と共に、EDEXCEL/GCE Training Day、A-Level Day、WJEC Information Dayを実施。
16	大学生のための日本語スピーチコンテスト	ロンドン	ロンドン大学	英国日本語教育学会(BATJ)	08.02.02	大学レベルのスピーチコンテストを英国日本語教育学会と共催で実施。
	【図書館運営】					
17	日本語教育図書館運営	ロンドン	国際交流基金 ロンドン事務所 所		07.04.01～ 08.03.31	日本語教育に関連する資料(教科書・教材・参考図書)を中心とする専門図書館を運営。年間の来館者、レファレンスおよび図書貸出実績は、それぞれ1979人、1079件、2341点。図書館の日本語教育リソースセンター化を目指して環境を整えつつある。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
18	【出版・広報】 広報費				07.04.01～ 08.03.31	事務所ウェブサイト内容更新・メンテナンス、Eメールニュース改訂、雑誌への事業広告掲載、日本語教材作成等を行った
19	【その他】 英国日本研究 機関調査				07.04.01～ 08.02.29	英国内で日本研究または日本語履修コースを提供している大学を対象に実態調査を実施。調査結果及び分析をウェブサイトで公表予定。平成13年度に実施した調査のフォローアップ事業
20	アイルランド 国立博物館専 門家派遣	ダブリン	アイルランド 国立博物館	アイルランド 国立博物館	07.08.13～ 07.08.20	アイルランド国立博物館に日本の太田記念美術館学芸員を派遣。同博物館所蔵の浮世絵を中心とする日本美術作品について鑑定及びカタログリング作業を実施

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
21	文化事業協力助成： Top Drawer-Japanese Pavillion+Japanese Design Seminar	Japanesey	07.09.09～ 07.09.12	オリンピックで行われたデザイン見本市において「アートとデザインの融合」をテーマに日本人若手デザイナーやバイヤーの作品を紹介する特設会場を設置。これにあわせて、招へいデザイナー数名にデザインコンセプトを語ってもらうセミナーを基金において開催
22	文化事業協力助成： Ghost	Viewfinder Photography Gallery	07.08.23～ 07.09.27	ロンドン在住の若手アーティスト、山本 圭子の写真展
23	文化事業協力助成： The Face of Jizo	Ichiza	07.06.11～ 07.11.11	英国をベースとする日本人の演劇集団一座が、『父と暮らせば』の英語上演と広島に関する関連ワークショップを実施
24	文化事業協力助成： Music Lovers' Field Companion	Sage Gateshead	07.05.11～ 07.05.13	世界の実験音楽を集めたフェスティバルで、日本から、三上寛、浦邊雅祥、高橋 幾郎といったミュージシャンを招へいし、英国プレミア公演を実施
25	文化事業協力助成： Art Summer University	Tate Modern	07.09.21～ 07.09.24	次世代を担う才能ある美術学生を対象に4日間の特別講座を実施。小泉 明郎ならびに森 弘治を含む世界各国より招へいされた18名の作家が、自身の作品や制作方法の紹介。また学生を指導

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
26	文化事業協力助成： Secret for Snow Leopard, Yutaka Sone	Parasol Unit	07.09.18～ 07.12.16	現代美術作家曾根裕のロンドン初個展。大理石のランドスケープ作品の他、ジャングルを模したインスタレーションなどを展示。また英国美術作家グライソン ペリーによる展覧会ツアーも実施
27	文化事業協力助成： Hiroaki Umeda Presenting 'Accumulated Layout' and 'While Going to a Condition'	New Move International	08.02.06～ 08.02.10	ライブアートのフェスティバル、ナショナルレビューオブライブアートに梅田 宏明を招へいし、公演を実施
28	文化事業協力助成： Utagawa Hiroshige	Ikon Gallery	07.11.28～ 08.01.20	英国の現代作家ジュリアン オーピーのキュレーションによる、浮世絵師、安藤 広重の作品展を、大英博物館の協力を得て実施
29	文化事業協力助成： Pavilion Politics at the Serpentine Gallery	Goldsmith College, London Univeristy	07.11.02	ロンドン、サーペンタインギャラリーの外庭に設営された仮設パビリオンに関連づけ、日本、英国、ドイツから仮設建築の専門家を招へいし、その意義と社会的役割についてシンポジウムを実施。日本からは、アトリエワンの貝島 桃代を招へい
30	文化事業協力助成： Laughing in a Foreign Language	Hayward Gallery	08.01.24～ 08.04.13	現代美術における笑いとユーモアの役割を検証する企画展を実施。日本からは、木村 太陽、鳥袋 道浩、会田 誠の3名の作品を出品
31	文化事業協力助成： Out of Body	Open Eye Gallery	08.01.25～ 08.03.22	人間の体をテーマとした、北浦 凡子を含む5人の英国内外アーティストによる写真と映像展を実施
32	文化事業協力助成： A Season of Contemporary Japanese Films 2008	Japan Desk Scotland	08.02.15～ 08.03.07	過去5年間にわたり実施された国際交流基金欧州フィルムライブラリーの作品を使っての上映会で、人気の高かった作品5本を集めて上映会を実施。上映作品は『のだ自慢』や『ナビィの恋』等
33	文化事業協力助成： Bairdcast Media: a history of machine translation	Sunderland Digital Media Research Lab	08.01.28～ 08.02.28	若手メディアアーティスト、毛利 悠子を招へいし、アーティストインレジデンス事業を通して作品制作と関係者との対話を奨励するとともに、完成作品をメディアアートフェスティバルであるAVフェスティバルで紹介
34	日本研究者旅行支援 プログラム：Akiko Shimada		07.08.28～ 07.09.14	調査研究のための訪日旅費の一部を助成。対象者（所属機関）：Akiko Shimada (University of Warwick)、研究テーマ：Representation of Girls and Constructions of Gender Identity in Japanese Magical Girl Animations since 1966
35	日本研究者旅行支援 プログラム： Christopher Hood		07.08.08～ 07.08.13	調査研究のための訪日旅費の一部を助成。対象者（所属機関）：Christopher Hood (Cardiff University)、研究テーマ：Flight JL123 Air Crash in 1985

	事業名	助成団体	期間	事業内容
36	日本研究者旅行支援プログラム：Sandy Black		07.10.21～ 07.10.31	調査研究のための訪日旅費の一部を助成。対象者（所属機関）：Sandy Black (London College of Fashion)、研究テーマ：A Fashion History of Knitting - Leisure, Industry and Livelihood
37	日本研究・知的交流事業協力助成：The Children's Book Show 2007	The Children's Bookshow	07.10.10～ 07.10.11	海外児童文学の作家・翻訳家や芸術家などを招き、国内10都市で合計40回の青少年向けイベントを展開する大型の児童文学啓発事業。このうち2都市のイベントに日本から参加する作家の湯本 香樹実の渡航費及び謝金の一部を助成
38	日本研究・知的交流事業協力助成：Early Career Reserchers' Conference	University of Edinburgh	07.10.24～ 07.10.26	スコットランド地方の博士課程在籍者や若手研究者を対象に、東アジアに対する関心を高めてもらうことを目的とする学際的な会議「Early Career Researchers' Conference on East Asian Studies」に対し、参加者の滞在費の一部を助成
39	日本研究・知的交流事業協力助成：2nd White Rose European Roundtable in Japanese Studies and 2nd White Rose Distinguished Lecture	University of Sheffield	08.03.07	シェフィールド大学日本学研究所が主催する第2回日本研究円卓会議及び第2回特別ゲスト講演会（講師：北岡伸一東京大学教授）に関する助成。講演のテーマは、北東アジアにおける安全保障について
40	日本研究・知的交流事業協力助成：The Power of Ritual: interdisciplinary perspectives on medieval Japanese practices	SOAS	07.08.01～ 08.02.28	日本の宗教儀礼に関する会議の成果としての書籍「The Power of Ritual: interdisciplinary perspectives on medieval Japanese practices」の出版に必要な、和文英訳費の一部を助成
41	日本研究・知的交流事業協力助成：Opportunities and Challenges for the G8:Lessons for the UK and Japan	University of Sheffield	08.02.29～ 08.03.01	シェフィールド大学日本学研究所が主催する会議に対する助成。G8洞爺湖サミットを控え、G8の枠組で日英両国が果たす役割について議論する2日間の会議。英国、日本のみならず、北米、ヨーロッパから参加者が集い、また、研究者だけでなく、実務担当者も出席
42	日本研究・知的交流事業協力助成：Research Seminar - Creativity and Cultural Policy in East Asian Contexts	King's college London	08.03.01～ 08.03.29	キングスカレッジが主催する東アジアにおける創造性と文化政策に関する会議に対する助成。今回は、日本、台湾及び中国の比較研究を行った。同大学が行う、アジアにおける文化産業に関する調査の一環

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
43	【会場提供】 英国内日本協会ネット ワーク会議	ロンドン日英協会	07.05.09	英国内の日本協会等日英交流推進団体の連携協力を図る 年次のネットワーク会議の開催に際し、会場を提供

ブダペスト事務所

合計額 45,210,469円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【講演・シンポジウム】					
1	講演会シリーズ「本が開く日本の扉」	ブダペスト	国際交流基金 ブダペスト事務所		07.05.11～ 07.06.08	日本関連書籍の出版者、翻訳者を講師として講演会を行うシリーズで、村上春樹の著作を翻訳したエルデーシュ・ジョルジュ、金原ひとみの著作を翻訳したナジ・モーニカの講演会を実施。
2	講演会シリーズ「知的交流フェロー」	ブダペスト	国際交流基金 ブダペスト事務所		07.10.26	知的交流フェロープログラムで日本の都市計画について訪日研究を行ったフェロー、クラヴァリク・ジュジャンナを講師として、一般を対象に研究テーマについての講演を実施。
3	講演会シリーズ「アイヌの民話」	ブダペスト	国際交流基金 ブダペスト事務所		08.02.22	ハンガリー日本友好協会会長で日本文学専門家のビハール・ユディット氏を講師に招き、民話の朗読を交えたアイヌ文化の講演を実施。
4	講演会シリーズ「なまはげ」	ブダペスト	国際交流基金 ブダペスト事務所		08.03.21	エトヴェシ・ロラード大学博士課程に在籍し、日本の民俗学を専攻するレスチャン・アニタ氏を講師とし、なまはげや日本の民衆文化についての講演を実施。
	【映画】					
5	日本フィルムクラブ	ブダペスト	ウルクモズ ゴー映画館	ハンガリー国立フィルム アーカイブ	07.04.01～ 08.03.31	ハンガリー国立フィルムアーカイブと共催し、『父と暮らせば』『大阪物語』等の日本映画19作品を月二回、定期的上映。
6	シゲットフェスティバル	ブダペスト	ハヨージャー リ島	Sziget Cultural Management 社	07.08.08～ 07.08.13	ブダペスト市内の島全体で毎年開催されるフェスティバル「シゲットフェスティバル」にて、日本のパフォーマー三組（和太鼓グループGOCOO、梅田宏明/ダンス、レニ・バツソ/ダンス）の公演を実施。
7	アニメーション映画フェスティバル（アニローグ）	ブダペスト	ウラーニア映画館	Szimpla Film 社	07.11.29～ 07.12.02	アニメーションフィルムフェスティバル「アニローグ」において、フェスティバル事務局と共催し山村浩二監督の特集上映（『頭山』『カフカ田舎医者』等）を実施。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【日本語教育】					
8	日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家活動				07.04.01～ 08.03.31	日本から派遣される日本語教育アドバイザー、ジュニア専門家により、日本語教育関連の調査や日本語教師、日本語教育に対する支援活動を実施。
9	日本語教育研修会	ブダペスト	国際交流基金ブダペスト事務所	ハンガリー日本語教師会	07.04.01～ 08.03.31	日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひとつとして実施される日本語教育支援の一プロジェクトとして、ハンガリー日本語教師会の運営協力を得て、現地日本語教師に対する研修会を実施。
10	フォーラム事業				07.04.01～ 08.03.31	日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひとつとして実施される日本語教育支援を実施。
11	教材作成				07.04.01～ 08.03.31	日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひとつとして実施される日本語教育支援の一プロジェクトとして、ハンガリー向けの日本語教材(2010年刊行予定)の製作を開始。
	【図書館運営】					
12	図書館運営	ブダペスト	国際交流基金ブダペスト事務所		07.04.01～ 08.03.31	事務所に併設された図書館において、図書収集、公開および貸出、レファレンス等の図書館運営業務を実施。蔵書数約12,000冊、視聴覚資料数約300、会員数2,819。一日の平均来訪者数は約20名。日本語学習者のための教材や日本の最新の雑誌、英語・ハンガリー語で書かれた日本に関する図書を中心に集書。
	【出版・広報】					
13	ホームページ運営				07.04.01～ 08.03.31	事務所のホームページを作成し、事業情報等を広報。
	【教室事業】					
14	日本語講座	ブダペスト	国際交流基金ブダペスト事務所		07.04.01～ 08.03.31	学習時間約50時間の初級者から中級学習者まで7レベルのクラスを設置し、日本語講座を実施。
	【本部事業受入】					
15	日本の現代写真(巡回展)	ブダペスト	国際交流基金ブダペスト事務所		07.04.01～ 07.04.28	巡回展「日本の現代写真」を実施。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
16	第14回国際 ブダペスト図 書展	ブダペスト	コンGRESSセ ンター		07.04.12～ 07.04.15	第14回国際図書展に参加。
17	海外日本映画 祭	ブダペスト	ウルクモズ ゴ映画館	ハンガリー国 立フィルム アーカイブ	07.06.14～ 07.06.20	『アカルイミライ』『GO』など現代日 本映画7作品を上映する映画祭を実 施。
18	日本文化紹介 「映像民族誌」	ブダペスト	エトヴェシ・ ロラード大 学		07.11.15～ 07.11.19	大森康宏立命館大学教授による民族学 映画の上映及び講演会を実施。

(2) 助成・協力事業

	事業名	助成団体	期間	事業内容
	【助成事業】			
19	演劇交流「結婚の申 し込み」上演	マジヤール劇場	07.05.03	チャーホフ「結婚の申し込み」をハンガリー側のイレー シュ・ジュラ国立劇場による演出と、日本側の劇団文芸 座(富山県)による演出で連続上演する事業に対し助成。
20	『日本学の現在』、 『日本の政治』出版 記念講演会(助成)	サバージャグ政治 学校財団	07.05.30	事務所が助成し出版された論文集『日本学の現在』およ び猪口孝『日本の政治』翻訳出版を記念して開催された 講演会に対し助成。
21	多文化フェスティバ ル(助成)	アラニヘジ財団	07.08.18	アラニ・ヘジ・ファウンデーション主催の第三回多文化 フェスティバル(武道の紹介、盆栽、生け花等の展示) に対し助成。
22	日本語講座給与助成 (フォーラム事業)	ゲーザ・キライ高 校他4校	07.09.01～ 08.03.31	日本ハンガリー協力フォーラムのアクションプランのひ とつとして実施される日本語教育支援として、日本語教 育を実施する教育機関4校に対し講師の謝金を助成。
23	Fish Pullover公演 (助成事業)	アート・セクター財 団	07.09.07～ 07.09.27	日本からのダンサー、音楽家を招へいして実施するコン テンポラリーダンス、ビジュアルアートの共同制作事業 に対し助成。
24	盆栽クラブ25周年展 示会(助成事業)	ミシュコルツ盆栽ク ラブ	07.09.15～ 07.09.16	ミシュコルツ盆栽クラブの創立25周年を記念した盆栽展 の実施に対して助成。
25	口琴フェスティバル (助成)	ケチケメート青少年 センター	07.09.22	日本人口琴アーティストを招へいして実施される第三回 口琴フェスティバルに対して助成。
26	パパ・タラフマラ公 演(助成)	TRAFO 現代芸術 センター	07.10.18～ 07.10.20	ブダペストオータムフェスティバルの一プログラムとし て実施されるパパタラフマラの公演実施に対し助成。
27	ソイル・アンド・ピ ンプ・セッション公 演(助成)	ブダペスト・フェス ティバルセンター	07.10.20	オータムフェスティバルの一プログラムとして実施され る日本のジャズバンド、ソイル・アンド・ピンプ・セッ ションの公演実施に対して助成。

海外事務所

	事業名	助成団体	期間	事業内容
28	日本ハンガリー友好コンサート（助成）	シュディ・アンド・カンパニー	08.03.18	リスト音楽院に留学中の日本人とハンガリー人学生による、クラシック音楽を通じた両国の交流を目的としたジョイントコンサートに助成。

カイロ事務所

合計額 43,083,415円

(1) 主催・共催事業

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【公演】					
1	トランペット演奏会	カイロ	カイロ・オペラハウス小ホール	エジプト文化省国立文化センター	08.01.19	曾我部清典（トランペット奏者）による、「伝統とテクノロジーの狭間で」をテーマにしたクラシックからコンピュータサウンドのコンサートを実施。阿部加奈子（ピアニスト）が共演。
	【講演・シンポジウム】					
2	日本研究講演会	カイロ	カイロ事務所		07.12.10	アインシャムス大学客員教授の浦田義和佐賀大学文学部教授による講演会。「沖縄の現代文学」をテーマにカイロ大学、アインシャムス大学の学生、講師などが聴衆として参加。
3	エジプト文化講演会	カイロ	カイロ事務所		07.05.22	カイロ・エジプト学協会との共催により、エジプトで活動する世界各国の著名な考古学者を講師に招いて講演会を開催。平成19年度は「西の町の物語：ピラミッドの泥封と行政」をテーマに、ジョン・ノーレン（ギザ台地マッピング・プロジェクト、碑文研究者）の講演を実施。
	【映画】					
4	日本映画祭	カイロ	アーティスティック・クリエイティブティ・センター		08.02.04～ 08.02.07	中東FL（アラビア語字幕付き）より『スウィングガールズ』（矢口史靖監督）、『父と暮らせば』（黒木和雄監督）、『豪姫』（勅使河原宏監督）『駅』（降旗康男監督）、『銀河鉄道999』（りんたろう監督）の5作品を上映。
	【日本語教育】					
5	日本語講座運営	カイロ	国際交流基金 カイロ事務所		07.04.01～ 08.03.31	一般講座中級、上級、社会科学系大学生・院生向けの日本語講座を実施。
6	中東日本語セミナー	カイロ	フラメンコホテル		07.08.24～ 07.08.25	中東地域の日本語教育関係者のネットワーク強化と教授能力向上のため、中東域内の日本語教師を対象に、日本語教育に関する集中セミナーを実施。平成19年度の講師は、迫田久美子（広島大学大学院教授）。参加者は、13カ国58名。

海外事務所

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
7	初級日本語講座「ことばと文化講座」	カイロ	国際交流基金カイロ事務所		07.04.01～ 08.03.31	平成19年度から、旧大使館講座である初級コース（受講生約200名規模）を基金一般講座に移管し、従来の中級・上級等コースとあわせ、包括的な日本語講座の運営を開始。
8	日本語教育アドバイザー	カイロ	国際交流基金カイロ事務所		07.04.01～ 08.03.31	国際交流基金カイロ事務所に日本語教育専門家を派遣し、エジプト国内、近隣諸国における日本語教育関係者のネットワーク形成促進とコンサルティングの実施、カイロ事務所における日本語講座の運営などを実施。
9	アレキサンドリア日本語講座	アレキサンドリア	ファロス大学	ファロス大学	07.04.01～ 08.03.31	平成18年度に、エジプト人実業家から教室スペースの無償提供を受け、日本語講座の開講が実現し、19年度も継続実施。平成19年度の受講生は34名。
【図書館運営】						
10	図書室運営	カイロ	国際交流基金カイロ事務所		07.04.01～ 08.03.31	所蔵冊数：日本語1040冊、外国語1173冊、DVD30点、ビデオ192点、その他285点、来館者数は年間2,254人。CD・ビデオデッキ3台およびインターネット接続のコンピューター2台を設置し、視聴覚による日本文化紹介にも注力。
【出版・広報】						
11	広報誌『アマワグ』（WAVES）	カイロ	国際交流基金カイロ事務所		07.04.01～ 08.03.31	アラビア語と英語の併用（対訳形式）による、国際交流基金カイロ事務所の広報誌『アマワグ』（WAVES）の発行。各号3000部。平成19年度は、第7号（2007年8月）、第8号（2008年1月）を発行し、エジプト及び他のアラブ諸国に配布。
12	ウェブサイト運営	カイロ	国際交流基金カイロ事務所		07.04.01～ 08.03.31	アラビア語、英語による国際交流基金カイロ事務所の事業情報等の提供を継続的に実施。
【教室事業】						
13	生け花コース	カイロ	国際交流基金カイロ事務所		07.04.01～ 08.03.31	初級コース2回、中級コース2回の計4回実施。1コース5レッスン。各コースの定員は20名。

	事業名	都市	会場	共催団体	期間	事業内容
	【その他】					
14	お茶会（茶道同好会）	カイロ	カイロ事務所／日本大使公邸	茶道同好会	07.11.22～ 08.03.13	エジプトの人々に茶道文化を体験してもらうことを目的とし、邦人を中心メンバーとする茶道同好会が手前を披露。11月22日と3月13日の2回実施し、それぞれ60名程度を招待。
15	和紙ワークショップ	アレクサンドリア／カイロ	アレキサンドリア・ワークショップセンター／エル・ナフィザ・ペーパーファクトリー	アレキサンドリア・ワークショップセンター、エル・ナフェザ・ファウンデーション	07.11.13～ 07.11.17	和紙アーティスト伊部京子氏を派遣し、アーティスト、大学美術学部学生等の専門家を対象にしたワークショップを実施。11月13日～14日アレキサンドリア (Alexandria Workshop Center)、11月16日～17日カイロ (El Nafeza Paper Factory)にて実施。
16	凧作りワークショップ	カイロ	日本人学校、ダルブ・エル・アハマル	在エジプト大使館、ジャパン・エジプト・コミュニティ	08.02.06～ 08.02.08	凧専門家の大橋栄二氏を派遣し、日本人学校生徒、エジプト人生徒に対して凧作りの指導を実施。あわせて、ピラミッド地区とアズハル公園で凧揚げ大会を実施。
17	日本語優秀者表彰	カイロ	カイロオペラハウス		08.03.15	日本語学習者の学習意欲向上を図るため、日本語能力試験の結果通知をかねて、成績優秀者を表彰し、スピーチの機会を提供。